

TOYO UNIVERSITY

東洋

2016 平成28年度



東洋大学雨水会報
Vol.156

目次

平成二十八年度 雨水会会長挨拶	1
東洋大学雨水会会長	唐木 重典
雨水会役員名簿	2
本部役員・評議員・顧問	
未来に挑戦する東洋大学	3
学校法人東洋大学理事長	福川 伸次
創立三〇周年を迎えるにあたって	4
東洋大学学長	竹村 牧男
新キャンパス開設に向けて	5
学校法人東洋大学常務理事	
雨水会常任理事	大熊 廣一
平成二十八年度「父母懇談会」に参加して	6
父母懇談会(長野会場)に参加して	
東洋大学副学長	神田 雄一
父母懇談会(福島会場)に参加して	
東洋大学副学長	北脇 秀敏
沖縄会場に参加して	
東洋大学副学長	松原 聡
父母懇談会(新潟会場)に出席して(報告)	
東洋大学副学長	高橋 一男
父母懇談会(札幌会場)に参加して	
東洋大学副学長	小林 秀年
学部だより	11
文学部における国際性・学際性の伝統と新たな挑戦	
文学部長	矢口 悦子
ゼミ活動で社会へ出る総合力を	
経済学部長	小川 芳樹
経営学部は開設50周年を迎えました	
経営学部長	長島 広太
法学部における学生支援について	
法学部長	井上 貴也
女子学生入学100年目を迎えて	
社会学部長	紀 葉子
ニッポンを支える理工系プロフェッショナルの育成	
理工学部長	寺田 信幸
総合情報学部の近況	
総合情報学部長	杉本 富利

来年度改組の国際地域学部	
国際地域学部長	坂元 浩一
生命科学部だより	
生命科学学部長	金子 律子
新設4年目を迎えた「食環境科学部」の近況	
食環境科学学部長	林 清
ライフデザイン学部の近況	
ライフデザイン学部長	白石 弘巳
平成二十八年度 四校舎「父母懇談会」を実施して	22
平成28年度父母懇談会を終えて	
卒業生・雨水会連携推進室	
川越キャンパス父母懇談会を実施して	
川越事務部教学課課長	須田 文子
板倉校舎父母懇談会に参加して	
板倉事務部板倉事務課課長	野口 清司
朝霞キャンパス父母懇談会の開催にあたって	
朝霞事務部朝霞事務課課長	山崎 勉
平成二十八年度 支部総会および父母懇談会に参加して	26
東洋大学雨水会副会長	櫻井 昌代
東洋大学雨水会常任理事	恩田 実
東洋大学雨水会常任理事	砂賀 栄次
東洋大学雨水会常任理事	峯松 益幹
東洋大学雨水会常任理事	小田 直子
東洋大学雨水会常任理事	奥澤 敬子
雨水会高知県支部長	伊藤 智
雨水会北海道北見前支部長	大坪 昌広
大学事務局から	34
大学の教育・学習の仕組み(白山・川越・板倉・朝霞)	
教務部	
川越事務部教学課課長	藤田 正彦
板倉事務部板倉事務課課長補佐	笠倉 康司
朝霞事務部朝霞事務課主任	和井田 清香

学生部の窓口から	52
東洋大学スポーツをみなさんと一緒に盛り上げましょう	
学生部学生支援課課長補佐	瀧谷 健
就職関係	53
就職・キャリア支援部部長	石井 健一
納付金(学費等)について	54
経理部財務課	
入学試験情報	55
入試部	
雨水会活動	56
平成27年度雨水会活動報告	
平成27年度事業報告	
平成27年度会計報告	
平成28年度雨水会活動計画	
平成28年度事業計画	
平成28年度予算書	
平成28年度父母懇談会 支部総会報告	65
平成29年度父母懇談会 支部総会日程(案)について	67
平成二十八年度雨水会「会員の集い・就職フォーラム」を開催して	68
東洋大学雨水会副会長	阿部 雅道
学生総合補償制度のご案内	69
キャンパスガイド	70
白山キャンパス	
川越キャンパス	
板倉キャンパス	
朝霞キャンパス	
体育後援会だより	74
体育会強化部の活動状況	
クラブ・サークルの活動状況	75
「箱根駅伝で優勝させる会」入会をお願い	76
雨水会よりのお知らせ	



平成28年度 甫水会会長挨拶

東洋大学甫水会会長 唐木 重典

甫水会会員の皆様、こんにちは。会長の唐木重典です。皆様には平素より甫水会の活動へのご理解とご参画をいただきまことにありがとうございます。

お蔭様で、甫水会は来年1月に創設58年を迎えます。ご存じのとおり、東洋大学の学祖・井上円了先生の雅号「甫水」の名を冠してからも22年目になりました。全国に56支部、2万6千人余りの会員により構成されている歴史ある組織です。その重みを十分に受け止め、有意義な活動を推進するために役員一同全力で取り組んでいます。

中でもこの2年半の間力を入れてきたことは、大学とより密接な信頼関係を築き、連携して事業を進めることです。私たちはこれを「協働」というキーワードに定め、これまでの事業運営を見直しました。会員にとって今まで以上に大学を身近に感じていただくとともに、会員の声に真摯に耳を傾けることにも注力しました。

例えば、全国で大学主催により開催する「父母懇談会」では甫水会の本部・各支部の役員が運営支援を行い、一体感の醸成に努めています。一方、甫水会主催の「会員の集い・就職フォーラム」では大学のキャリア支援課の協力を仰いで情報提供の充実に努めてきました。さらには、学部行事

やキャンパスごとのイベントへの協賛、文化部発表会への支援、運動部の試合応援なども積極的に進め、学生との接点を大きく増やしてきたところです。

これらの活動を通じて、会員の皆様の総意として、学生の学究意欲の向上や社会的成長への側面的サポートを強化してきました。甫水会の存在意義を高めることの一助にもなると期待しています。

また、大学と協調して、学長や理事長との定期的な意見交換の場を設定していただき、双方の問題意識の摺り合わせやヴィジョンの共有にも取り組んでいます。より高いレベルで甫水会の方向性を確かなものにしていきたいと考えています。

前述のスポーツ応援に関しては、今年はリオデジャネイロ五輪の開催年にあたり、東洋大学からも現役卒業生が8名も出場しました。その成果を称賛するだけにとどまらず、同時に、母校の誇りを掲げてたくましく戦った彼らから私たちは大きな勇気を得ることができました。甫水会としても彼らの日頃の努力や試練をずっと見守ってきましたし国内試合での応援も続けてきましたので、国際舞台での活躍を心から喜び光栄に感じました。会員の皆様や学生たちにとつ

ても、きつと輝かしい思い出になったものと存じます。改めて選手ならびに監督、コーチ、関係者の皆様に深く感謝いたします。

ところで、会員の皆様のもう一つの関心事としては学生たちの卒業後の進路にあるものと存じます。就職戦線はこの2年、スケジュールの変更や企業の採用姿勢の多様化などの影響を受け、いささか複雑な状況になっています。東洋大学では他大学に勝る綿密なサポートを実施していますので、是非そのしくみをご活用されるようお勧めします。甫水会においても、先日白山キャンパスで開催した「就職フォーラム」に限らず、支部単位での「就職説明会」開催など、情報提供やアドバイスに努めています。学生たちが正しい状況分析と確かな自信を持つて就職活動を乗り切ってくれることを念じています。

東洋大学では来年度には新たな学部の設置、赤羽台の新キャンパスの開設を控えています。年々志願者が増えるなかでさらに注目度が高まっています。大学が進める「イノベーション」がさらに高度化し、質の高い教育環境が整っていくことが期待されます。私たちはその指針に共鳴し、「協働」を進化させていきます。

甫水会は、学生たちが実りあるキャンパスライフを送れるよう、一層の活動の充実を目指していきます。最後になりましたが、会員各位のますますのご健勝をお祈りいたします。引き続き皆様のご支援ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

● 南水会役員名簿 ●

平成二十八年年度本部役員

役職名	氏名	支部名
会長	唐木 重典	中央
副会長	阿部 雅道	城南
副会長	櫻井 昌代	埼玉中
常任理事	大熊 廣一	大学推薦
常任理事	恩田 実	多摩
常任理事	砂賀 栄次	埼玉東
常任理事	峯松 益幹	神奈川
常任理事	小田 直子	千葉東
常任理事	奥澤 敬子	栃木
監事	岩間 克裕	茨城
監事	西村 豊子	千葉西
理事・地区長(北海道)	小松 直子	札幌・函館
理事・地区長(東北)	鈴木 浩	福島
理事・地区長(関東)	高野 雅道	群馬
理事・地区長(甲信越)	白鳥 新一	長野
理事・地区長(北陸)	渡邊 淳一	富山
理事・地区長(東海)	上田 紀子	静岡
理事・地区長(近畿)	宝楽 紀世久	大阪
理事・地区長(中国)	周藤 徹	島根
理事・地区長(四国)	畑中 眞奈美	徳島
理事・地区長(九州)	大川内 弘紀	佐賀

評議員(支部長)

会則第20条2項(支部長)

氏名	支部名
小松 直子	札幌・函館
上西 嘉雄	旭川
因 洋史	北見
出口 亜矢子	室蘭
柴田 裕嗣	釧路
伊藤 史子	青森
岩崎 保	岩手
渡邊 高志	宮城
加賀谷 龍二	秋田
横山 貴洋	山形
鈴木 浩	福島
小川 茂生	茨城
荻原 秀之	栃木
高野 雅道	群馬
武田 英男	埼玉北
黛 裕子	埼玉中
松岡 一雄	埼玉東
山下 淑子	埼玉南
山本 稔	千葉東
西村 敦	千葉西
網代 光子	千葉東
堀 法子	千葉西
後藤 康恵	千葉中
松崎 ずづ代	千葉北
岸田 華子	多摩

氏名	支部名
柴 章	神奈川
三浦 徹	新潟
保坂 幸彦	山梨
白鳥 新一	長野
渡邊 淳一	富山
平野 豊	石川・福井
早瀬 里美	岐阜
上田 紀子	静岡
山田 健一	愛知
居川 公太郎	三重
吉田 晴彦	京都・滋賀
宝楽 紀世久	大阪
大野 隆之	兵庫
山本 佳之	和歌山
西崎 真一	鳥取
周藤 徹	島根
池田 裕子	岡山
横山 俊夫	広島
榎野 好憲	山口
畑中 眞奈美	徳島
越田 達夫	香川
京河 一臣	愛媛
伊藤 智	高知
衛藤 辰男	福岡
大川内 弘紀	佐賀
西岡 政道	長崎
大林 司朗	熊本
阿部 陸夫	大分

氏名	支部名
黒木 真一郎	宮崎
山之内 健	鹿児島
下地 紀靖	沖縄

会則第20条2項
(1,000名を超える支部)

氏名	支部名
鹿見 山 隆	茨城
坂本 太一	埼玉中
北村 修一	埼玉東
稲生 一美	埼玉南
附木 茂和	千葉東
丸山 知恵美	千葉西
高田 洋子	千葉東
高橋 明彦	千葉北
大角 勝紀	多摩
田中 守	神奈川

顧問

氏名	支部名
茂木 明男	栃木
鳥越 剛	神奈川

(平成二十八年十二月末日作成)



未来に挑戦する東洋大学

学校法人東洋大学 理事長 福川 伸次

東洋大学浦水会会員の皆様には、日頃から東洋大学の発展に暖かいご支援を賜わり、心から感謝申し上げます。

2016年8月にリオデジャネイロで開催された第31回オリンピックには東洋大学の学生及び卒業生8名の選手が水泳及び陸上競技に参加し、それぞれに素晴らしい活躍をされました。

とりわけ水泳の萩野公介選手は、金銀銅の3つのメダルに輝き、桐生祥秀選手は4×100メートルリレーで銀メダルを獲得しました。日本代表選手団の中で在学生5人の選手参加は、全国の大学で東洋大学が3番目ですし、在学生が4つのメダルをとったのは全国の大学で1番という快挙でした。選手の皆様方に心から賞賛の拍手を送るとともに、4年後に開催される東京オリンピックでは本学の関係者が更なる活躍をされることを皆様とともに期待したいと思っています。

さて、国際構造が多極化して合意形成が困難となり、むしろ世界秩序のガバナンス・リスクは高まってきています。資源も、エネルギーも、食糧も、市場も海外に依存する我が国としては、グローバルイズムの定着なくしてその存立は不可能であり、日本としては、何としても世界でグローバルイズムの定着を説得し、これをリードするエリートや世界の舞台で活躍する人材を育成しなければ

なりません。

東洋大学は2014年9月「TOYO GLOBAL DIAMONDS」構想が文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援に採択されました。これに基づき国際地域学部を母体として再編成する国際学部を2017年度に設置し、その中にグローバル・イノベーション学科と国際地域学科を設け、世界の舞台で、或いは国際地域で活躍するニューリーダーと中核人材を育成する方針を固め、改革に取り組んでいます。

同時に、海外の日本観光への関心の高まりや2020年のオリンピック・パラリンピックの開催を契機に、国際観光事業の成長が期待されることを考慮し、現在国際地域学部にある国際観光学科を国際観光学部として独立させ、強化する計画も進めています。同時に全学にわたるグローバル教育を充実強化してまいります。

最近の情報通信技術は目覚しく、海外ではビッグデータやクラウド技術が歩を進め、イノベーションの展開に有力な手段を与えています。こうした先端技術は、グローバル化の定着に十分な基礎を与えるものでもあります。そこで、東洋大学としては、同じく2017年度に情報連携学部を赤羽の新キャンパスに設置する計画を進めています。

こうした一連の改革も、いよいよ明年4月にはスタートすることになっており、全学で鋭意準備を進めています。これは必ず成功させなければなりません。浦水会の皆様の支援を心からお願いするものであります。

我々が挑戦しようとしているグローバル教育の展開や情報連携学の推進には、オープン・イノベーションの発想と手法を取り入れることが必要であります。内外の先進的な知と経験と人材を幅広く取り入れ、最高水準の教育と研究を実現したいからであります。

本学創立者の井上円了博士は、哲学研究はもとより日本社会の特質の分析に骨身を削るとともに、広く世界の動きに関心を抱き、生涯で3回にわたって世界を旅しています。そして国際化が進めば進むほどその新たな創造、発信が必要であることを強調し、学力のみならず、人物とともに養成するという考えを説いています。東洋大学のグローバル化とイノベーション推進に向けた改革は、日本の将来を左右すると言っても過言ではありません。

東洋大学をめぐる環境は、18歳人口の減少、激化する大学間競争などで今後さらに厳しいものになると考えております。我々は、役員、教員、職員を通じて危機意識を共有しつつ、新しい時代の要請を取り入れ、本学の未来を拓こうと考えております。

浦水会会員の皆様が、本学の発展にご支援とご協力を賜りますようお願いして、私のご挨拶とさせていただきます。



創立一三〇周年を迎えるにあたって

東洋大学 学長 竹村 牧男

早いもので、平成二四年（2012年）に創立二五周年を迎えてから、早くも四年の歳月が経ちました。その創立一二五周年を機に、「哲学教育・国際化・キャリア教育」の旗を掲げ、以来、そのすべての充実に取り組んでまいりました。中でも「哲学教育・キャリア教育」につきましては、二〇一六年度からの基盤教育カリキュラムにおいて、七つの目標と五つの領域に基づく新カリキュラム「東洋大学スタンダード」を策定、さらに充実させています。また、特に「国際化」に関しては、平成二四年の国際地域学部による「グローバル人材育成推進事業」採択によって大きな弾みがつき、さらに平成二六年（2014年）の「スーパーグローバル大学創成支援」採択によって、全学的に決定的な流れを構成するに至りました。

創立一三〇周年を迎える平成二九年度には、本学がスーパーグローバル大学への道として掲げた「TOYO GLOBAL DIAMONDS」構想における平成二八年度までの実績が厳しく評価されることになりますが、教職員一丸となつての尽力により、当

初の目標をほぼ達成するものと思っております。特に、平成二九年度以降は、白山キャンパスにおける、国際学部（グローバル・イノベーション学科・国際地域学科）、国際観光学部（国際観光学科）、文学部国際文化コミュニケーション学科および赤羽台キャンパスにおける情報連携学部（情報連携学科）の新学期・学科の設立もあいまつて、キャンパスの国際化はこれまで以上にいっそう進展するものと思います。このいずれの新学期・新学科も、きわめて意欲的で先端的なものです。

そこで、平成二九年度は、これまでの実績をふまえ、創立者・井上円了先生の、日本の伝統尊重の立場と、時代とともに歩む国際化志向の立場とを深く顧み、その理想をキャンパスの日常の中に具現すべきであると考えます。留学生受入れの大幅な増大、外国語による授業のさらなる展開、海外協定校との教育・研究交流の活性化、海外からの研究者の招聘と交流、教員の海外研修等に基づく交流の拡充、および日本・アジア研究の深化等々、を着実に実現していくべきだと考えていますし、その

一方、伝統的な学問・思想・芸術・文化のより深化した研究・教育を通じて、東洋的な価値観にもとづくグローバル・スタンダードの追究・提案に取り組むべきだと思っております。そこではまさにグローバル・イノベーションを考えるということが必至となることでしょう。

そもそも東洋大学の名前には、日本人が西洋の学問を学ぶには欧米の大学に留学するように、欧米の人々が日本や東洋の学問を学ぶにはぜひ本学に来て学んで欲しいという願いがこめられています。ただし今日では、東洋の学問のみならず、あらゆる学問分野において、世界から学びに来る大学となるべきでしょう。現に、新設する情報連携学部は、アジア各国において非常に人気を集めており、海外からの多数の留学生が見込まれています。

学校法人東洋大学は、新学期・学科を開設する来年度以降を見据えて、「遠大な目的を立て、遠大な方法を取る」ビジョンの確立を準備しています。それは、ここ一〇年ほどのうちに、国際的にも高水準の大学となることを目指すものとなることでしょう。しかしその実現への着実な歩みは、ここ三年ないし四年の教育・研究改革を遂行していくことによって可能となるはずで、来年度の創立一三〇周年は、そのように、ワールドクラスの大学への道の第一歩を踏み出す年と位置づけることにしたいと思っております。



学校法人東洋大学常務理事・浦水会常任理事 大熊 廣一

新キャンパス開設に向けて

浦水会会員の皆様には、日頃から東洋大学の発展にご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。また、平成28年度東洋大学地区別父母懇談会では各支部の皆様のご協力をいただき、無事終了することができました。改めてご協力いただいた浦水会の皆様方に感謝申し上げますとともに、各支部のご父母等の皆様からの貴重なご意見を大学運営に反映させて参ります。

本学は文部科学省が平成26年度から新たに実施した「スーパーグローバル大学創成支援」事業のもと「TOYO GLOBAL DIAMONDS グローバルリーダー」の集うアジアのハブ大学を目指してを展開しております。英会話力、コミュニケーション能力、異文化理解などを基盤教育、専門教育の中で強化し、新たな価値を創造する「グローバル人材」の育成を目指しております。この構想のもと平成29年4月、新たな学部・学科が設置されます。白山キャンパスではこれまでの国際地域学科と国際観光光学科からなる国際地域学部を国際学部に変更し、国際地域学科と新たなグローバルイノベーション学科を設置します。このグローバルイノベーション学科は、国際的なコラボレーションやビジネスのあり方を学ぶことでグローバルな社会でイノベーションを起こしうる人材を育てるため、学生の30%を外国人留学生とし、授業は原則として英語で行います。一方、国際観光光学科は、国際観光学部国際観光光学科とし、観光産業において国際的な知識やスキルを身につけた実務家や観光政策の策定に携わることができる人材を養成します。

また、同年、JR赤羽駅から10分程度の赤羽台に新キャンパスを開設します。ここには情報連携学部

情報連携学科を設置し、基本的なスキルとしてコンピュータ・プログラミングの上に、2年次からは「情報連携ビジネスコース」「情報連携シビルシステムコース」「情報連携エンジニアリングコース」「情報連携デザインコース」の4コースを設定し、志向や得意とする領域に合わせた専門知識を取得し、アイデアと知識、技術、アイデンティティを持った様々な人々とグローバルに連携し、アイデアを素早く形にできる能力を持った人材を育成していきます。全キャンパス内でのICT基本インフラの整備、多様な共同利用設備「メイカーズ・ファイブ」を設け、工作実習や試作品作りのために3Dプリンタや工作機械、測定機器などを配置します。また、多用途に利用できる小規模実習室を中心に設置し、チーム実習やインキュベーションに活用します。授業も反転授業の手法を取り入れ、インターネットで事前学習し、分らないところを少人数の授業の中で個別指導する方法で行います。紙のない図書館「メディアセンター」ではデジタルライブラリーを設置し実習やレポート作成、研究面で学生を支えていきます。また、同時に大学院も開設し、現代において最も革新スピードの早い情報技術の分野に対応するため、「情報基盤技術」「コンピュータアーキテクチャー」「コンピュータネットワーク」「デジタルデザイン」「ユーザー・エクスペリエンスデザイン」「ビジネスインキュベーション」「データサイエンス」「インフラサービス」「クオリティ・オブ・ライフ」の9つの研究分野を設定しています。学部長には、坂村健東京大学大学院教授(2015年ITU150周年賞受賞)を予定しています。



赤羽台キャンパス・情報連携学部の外観



紙のない図書館「メディアセンター」

平成二十八年度「父母懇談会」に参加して

平成28年度 父母懇談会（長野会場）に参加して

東洋大学 副学長 神田 雄一

甫水会会員のご父母ならびに保護者の皆様には

日頃より本学の教學活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申しあげます。大学が新たな形で父母懇談会を実施する2年目となります平成28年度の地区別父母懇談会・長野会場に参加させていただきました。

父母懇談会は大学にとって最も重要なステークホルダーでもあるご父母や保護者の方々に大学が主体となって学長をはじめとする大学代表者が現状をご報告することは重要な責務であると考えております。ご承知のように長野県は大変教育に関心の高い県として知られておりますが、そのためでしょうか毎年参加者の多い開催県であります。今年は50組67名の皆様にお集まりいただきました。南北に長い県ですが今年度開催の松本市はほぼ中央に位置しますが早朝より遠路お越しいた

いた皆様には大変ありがたく感謝申し上げます。

会は最初に出席した教職員の紹介に始まり、その後筆者から大学の近況について40分ほど報告させていただきました。スーパー・グローバル大学創成支援事業、平成29年度からの新たな取り組み、就職関係そして最後に夏に行われるリオ・オリンピックでの本学学生の活躍への期待など、スライドを利用しての報告でしたが非常に熱心に耳を傾けていただき本学の様々な取り組みに対して大きな関心を持っておられることをひしひしと感じました。続いて本学就職キャリア支援部萩原課長補佐より本学の就職状況と学生の就職への対応について報告をいただきました。ご父母の関心の高いテーマだけに参加された皆様には大変有益な報告でありました。

個人面談では成績の現状、就職のことなど個別に担当職員と面談いただきました。やはり低学年では成績やグローバル化に対する留学や語学研修あるいは資格等などについて、高学年では就職に高い関心をお持ちのようでした。幾つになっても親としての心配事は絶えません。

個人面談の待ち時間を利用してご参加の皆様方と親しくお話しすることができ、本学へのご希望など貴重なご意見を多くいただきました。教職員にとりましてはとてもありがたく感謝申し上げます。この待ち時間は個人面談とは異なり大学へのご要望などを広く伺う大変良い機会と思います。が、そのやり方などについては今後一考を要する感を持ちました。次回以降ご期待に沿えるよう改善してまいりたいと存じます。私自身、大変意義深い父母懇談会であったと感じました。引き続きご父母の皆様と教職員が親しく対話できる場を大事にしたいと改めて感じました。松本駅で蕎麦を食し「あずさ」で帰京いたしました。

平成28年度 父母懇談会(福島会場)に参加して

東洋大学 副学長 北脇 秀敏

平成28年6月26日(日)午後、郡山ビューホテルで行われました地区別父母懇談会(福島会場)に参加させていただきました。今年度は、昨年度に引き続き大学主催の父母懇談会という形式で行いました。会場が県内で一カ所と少なく、ご不便をおかけしているにも関わらず、大勢のご父兄の皆様は足を運びいただきましたことに対し大変感謝申し上げます。

会場では、まず大学代表として「東洋大学の現在と未来」と題して発表を行いました。東洋大学の現在の組織と平成29年度に新設される学部、3年目を迎えたスーパーグローバル大学創成事業の進捗に加え、リオデジャネイロオリンピックに出場する学生の様子などを説明しました。ご父母の方々には最近の元気な東洋大学の様子の一端をお伝えすることができたのではないかと思います。

次に大学の就職・キャリア支援部から、「昨今の就職活動の実情と保護者の関わり方」と題

し、学生とご父母の大きな関心事である就職についての講演が行われました。保護者世代と現在の学生とでは選考方法が大きく異なっています。現在の学生は在学中の企業へのインターンシップを行うなど、複雑な就職活動の流れを乗り切らなければなりません。講演では大学としての学生への支援、保護者にも行なって欲しい支援などが詳細に説明されました。特にUTターン就職におきましては方向性を早期に決定し、ご両親や親戚の人脈を活用するとともに地元企業の情報収集を積極的に行わなくてはなりません。ご父母の皆様へのお願いですが、是非学生の皆さんが大学の就職・キャリア支援部署へコンタクトをするようご指導ください。キャリア教育等に関しましては、大学のホームページ(<http://www.toyo.ac.jp/life/5/5/>)を参照いただければと思います。

その後成績表や履修登録確認表などの見方の説明の後、ご父母と大学関係者との個別面談

に移り卒業に必要な単位の取得状況などについて担当者から個別に説明をさせていただきました。また個別面談を待たれている間、ご父母の席にお伺いして多くの方からご意見を頂戴しました。大学のキャンパスでの説明会に出てみたいとのご意見もありましたし、ご自宅を離れて生活されている学生さんの生活状況についてご心配されている方もいらっしゃいました。もし一人暮らしの生活に何かご不安を抱えているような様子がおありでしたら、学生相談室(<http://www.toyo.ac.jp/site/soudan/>)にご連絡をいただければと思います。

東洋大学の教職員は、今後もご父母の方々らのご要望を取り入れながら、グローバル化社会で生き残れる人材を育成するために努力を続けて行く所存です。今後も父母懇談会を始め、さまざまな場面で情報交換をさせていただければと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

沖縄会場に参加して

東洋大学 副学長 松原 聡

東洋大学父母会、沖縄会場に副学長として参加し、本学の説明をご参加のご父母の方にし、その後個別に相談の機会を持ちました。

まず、離島から飛行機でいらした方を含めて、遠方からお集まりいただいております。ご父母の方の教育への関心の高さに触れることができ、いい経験になりました。また、浦水会役員の方々もこの行事に熱心にとりくんでおられていたことに感動いたしました。

私の父母の方への説明は、最初に本学が男女共学100周年を迎えていることを述べ、今から100年前に日本の私立総合大学としては初めて、女子学生を受け入れ、その後男女共学、男女共同参画の実現に積極的に取り組んできたことをお話しました。

さらに、大学の経営環境について、少子高齢化が進行する中で本学が積極的な経営戦略をとり、私の本学就任時の20年前には6学部であったのが、今や11学部になったことを述べ、2017年度からは国際学部、国際観光学部、情報連携学部、の3学部を設置し、13学部を擁するまでになることを示しました。

また、文部科学省のスーパーグローバル大学

創成支援事業に採択され、国際化に挑んでいることを述べ、来年度からいくつかの講義が英語で開講されることも紹介しました。

本学が積極的な事業展開を進め、社会からも評価されており、安心してご子息をお預けいただくたいとお話しました。

その後、就職・キャリア関連のお話しが担当からあり、こちらもご父母の方は熱心に聞いておられました。ご参加いただいたご父母の方の数は、そんなに多くなかったのですが、教員とご父母の方が直接意見を交わす大切な機会であり、今後もしっかりと継続させていくべきだと感じました。

平成28年度甫水会地区別父母懇談会(新潟会場)に出席して(報告)

東洋大学 副学長 高橋 一男

平成28年7月3日(日)に新潟地区の甫水会地区別父母懇談会が、新潟市内の万代シルバーホテルを会場に開催された。午後1時からの開始予定であったが、雨天にもかかわらず父兄の皆様の出足は早く、大勢の方の出席を得て熱気ある懇談会であった。

就職講演会「就職戦線の現状と取り組み方について」に先立って、大学を代表して大学近況報告を行ったが、いずれも父母の皆様は熱心に聞いておられた。

東洋大学の近況報告については、「東洋大学の現在と未来」と題して講演を行った。本学が2014年に採択された「スーパードグローバル大学創成支援」事業、それに伴う学内のグローバル化にむけた取り組み、就職活動とその成果、そして平成29年4月に設置される新学部・学科(国際学部、情報連携学部、文学部国際文化コミュニケーション学科)と赤羽台新キャンパス等について報告を行った。

どの話題についても興味をもって聞いていただけたと思います。父母懇談会に出席された皆さま

んにおかれては、学生の成績と今後の就職活動に特に関心を持って来場されていると思われますが、それと同時に学生が学ぶ大学の現状やキャンパス環境についても強い関心を持っていることが理解できました。「スーパードグローバル大学創成支援」(TOYO GLOBAL DIAMONDS)に採択され全学をあげてグローバル化を進めていること、リオデジャネイロのオリンピックに現役の学生5名、卒業生3名を送り出していることなど、東洋大学が国の内外で認められていることを聞いて安心していただけたとも考えています。

国際担当の副学長として、グローバル化への取り組みについて詳しく述べる時間を取りました。海外の大学との大学間協定、今年度からは部局間協定、すなわち学部間での協定、大学院研究科間での協定が交換できるようになり交換留学の機会が増えていることにも言及しました。学生に直接かかわる語学力の向上、広い視野を持つことができるチャンスとして交換留学、認定留学、協定校語学留学、国際ボランティア・インターンシップなど各種プログラムについて大変興味を持って

いただけました。またこれらの留学機会を促進するための奨学金が用意されていることも説明いたしました。詳細については国際教育センターが窓口になっていることも申し添えました。そのほかに英語による正規授業数を増やしていること、受け入れ交換留学生数が増えていること、日本語禁止の英語コミュニケーションスペースとしてECZ(English Community Zone)の設置、英語能力試験(TOEFEL、IELTS)に特化したLEAP授業、TOEIC課外授業の開講など学生にとって学内留学の環境整備が進んでいること、グローバル化に向けたプログラムが充実していることに触れました。

全体を通しての質疑応答では、学生生活、成績、就職、留学などの質問が集中しました。特筆すべき点としては、学生が学ぶキャンパス環境を知りたいので父母向けのキャンパスツアーの機会を作ってほしい。また、学生が参加している海外研修の内容と実態について質問があったのと、機会があれば父母にも学生が経験しているような海外研修の機会が提供されるといいのではないかと要望がありました。

こうした質問、要望を貴重な声として受けとめ、今後の教学運営に反映させていきたいと考えています。

平成28年度 父母懇談会(札幌会場)に参加して

東洋大学 副学長 小林 秀年

このたびの台風10号により被害に遭われました皆様そして本学学生の御父母の皆様方に心からお見舞いを申し上げます。

九月四日(日)、地区別父母懇談会(札幌会場)に職員六名(教職課程・共通教育支援課担当者をチーフに、教務課、板倉事務課そして就職・キャリア支援課および卒業生・甫水会連携推進室)と共に、会場である札幌プリンスホテル・国際館パミールに伺いました。この札幌会場は札幌、室蘭、旭川、北見の四地区の御父母を対象に設けられ、当日は三二名の御父母が参加して下さいました。

今年度の地区別父母懇談会は、Ⅰ父母懇談会Ⅱ甫水会支部総会 Ⅲ支部総会懇親会という構成で企画され、私ども教職員はⅠ父母懇談会に参加し、甫水会関係は卒業生・甫水会連携推進室の職員(中村氏)が参加するというスタイルでした。

父母懇談会は、全体会として①教員による「大学の今」②就職キャリア職員による説明(栗原氏)③成績表・履修登録確認表の説明(柄澤氏) 次いで個人面談(柄澤・相馬・大和・宮崎の四氏)という構成で行われました。父母懇談会の目的は、御父母を含む学生の保証人各位に対して東洋大学の取組について紹介をして、その説明責任を果たすこ

とにあることから、大学代表者として小林から大学の現況説明をさせて頂きました。会場での配付資料二点(平成二八年度父母懇談会ガイドブック)〈卒業生・甫水会連携推進室作成〉と「東洋大学は

いま 二〇一六」広報課作成)が、会場に届かず皆様にはご迷惑をおかけいたしました。資料なしの状況でパワーポイント(卒業生・甫水会連携推進室作成)を用いながら、東洋大学がスーパーグローバル大学創成支援 Bタイプに採択されたこと及び推進事業内容(1グローバル人材の育成を目指す二〇一六年度スタートの新カリキュラム、英語教育、学習支援体制、海外研修プログラム 2学生支援体制・奨学金 3就職支援そして二〇一六年度トピック「男女共学一〇〇周年記念事業」およびスポーツ)について説明をさせて頂きました。

リオデジャネイロ五輪には在学生五名・卒業生三名の八名が競技選手として参加したこと、そして多くの皆様からご声援を戴いたことへの御礼を申し上げ、あわせて大学でのパブリックビューイングを白山キャンパス井上円了ホールにて挙行し、水泳競技四〇〇M個人メドレーで萩野公介君(文学部英語コミュニケーション学学科四年)が金メダルを獲得した瞬間に会場での熱気が最高

潮に達したことを伝えさせて頂きました。

「就職キャリア」では、就職・キャリア支援課職員からパワーポイントを用いて就職プログラムの説明をはじめ、就活におけるエントリーシートの書き方(大学生活四年間を如何に主体的に取り組んだか)について述べることに、グループディスカッションの意味(採用側は、グループ内で勝ち抜く人を探すのではなく、いろいろな人とチームを組み仕事をする事ができるか否かを見るために行う)、内定が出ない人はどのような学生かなど多岐に渡り有益な説明がなされ、参加者は必要に応じて熱心にメモを取られていました。

「個人面談」を待つあいだ、父母を含む保証人と個別面談に関する学修以外の意見交換をする機会を設けて頂きましたが、その時間帯はあまり活発に利用されなかったことが気に掛かりました。そこで例えば、学生が通う四キャンパスの設備を含むビデオなどを放映することも良いのではと思われました。

お知らせで恐縮ですが、大学では災害救助法の適用地域に保護者の住所がある学生で公的機関発行の被災証明書および被災届の提出により一律の見舞金と被災状況に応じて半期授業料減免の経済的支援をさせて頂いておりますので、該当される場合には白山キャンパスでは学生部、川越・朝霞・板倉の各キャンパスでは教学課まで申請をお願い申し上げます。

学部だより



文学部における国際性・学際性の 伝統と新たな挑戦

文学部長 矢口 悦子

文学部教授

お茶の水女子大学卒業、同大学院人間文化研究科(博士課程)満期退学。
博士(人文学)。専門は社会教育学・生涯学習論。
著書に『イギリス成人教育の思想と制度―背景としてのリベラリズム
と責任団体制度―』等。

この夏のリオ・デ・ジャネイロオリンピック・パ
ラリンピックは、忘れられない大会となりました。
オリリンピックには在学生5人、卒業生3人が
出場し、それぞれに素晴らしい姿を見せてくれ、
私たちに大きな感動を与えてくれました。文学部
からも、英語コミュニケーション学科4年の萩野
公介さんが出場し、皆さんご存じのように、金・
銀・銅メダル獲得という快挙を成し遂げました。
「世界の頂点で活躍する選手が、学部の授業を履
修しているというのは、何とも不思議な感じがす
ね」と何人もの先生が話しておりました。歴史的
な瞬間に立ち会えた幸運を感じます。その後に行
われた、日本学生選手権では、萩野さんとともに
教育学科4年の天井翼さんも大活躍、2種目で学
生日本一を獲得、1年生の中野未夢さんも1種目
でチャンピオンとなりました。他にもたくさんの方

学生たちが活躍しております。「この夏休みには、
親戚中から『東洋大は凄いね』と褒められて……。自
分が頑張っているわけではないのに、何とも誇ら
しく、いい夏を過ごしました。」との報告が、学生
たちより相次ぎました。

日本の、そして世界のトップで活躍する学生た
ちが「普通に」暮らしている、そんな大学に東洋大
学はなっているのだという言葉は、東洋大学の日
常の豊かさを物語ってくれているともいえます。
そうした本学の文化に対する期待でしょうか。夏
のオープンキャンパスには、悪天候にも拘らず、
これまで最高の人数となる受験生が参加してく
れました。本学に寄せられている期待の高さを実
感することができました。

文学部では、英語コミュニケーション学科をさら
に発展させて、国際文化コミュニケーション学科を
設置することになりました。文部科学省の認可も
得て、すでに学生募集を開始しています。英語を
基本としつつも、さらに複数言語での比較文化・
文学や外国人へ日本語を教える日本語教員の養

成プログラムを兼ね備えた新しい教育課程を提
供します。

こうした動きの背景には、平成26年に文部科学
省によるスーパーグローバル大学創成支援の対
象として本学が選択されたことがあります。同
時にグローバル化する時代であるからこそ、自
らの文化について深く学ぶ必要があるとの文学部
としての認識があります。自分の暮らす国や地域
の歴史や伝統的に引き継がれてきている文化、そ
の多様で多彩な豊かさを知ることなくして、激し
い世界の波を乗り切ることは難しいと思います。
自分の存在の基盤に現実としてあり続けてきた
文化との対話が、文学部での学修であります。その
対話を通じて、学生たちは自分のものの考え方を
鍛えるための根を深く地中に延ばし、豊かな幹と
して自己を確立していくことができるのだと思
います。

大学の4年間はあつという間の時間です。しかし、
1年生と4年生とでは、格段の変化が見られます。
基盤教育や各学科でのゼミナール、卒論作成を経
て確実に学びを深めていると思います。もちろ
ん、部活動やサークル活動、そして各種実習や課
外活動によって、さらにはアルバイト経験によっ
て身につける力もあると思います。それでもやは
り、大学での学びのハイライトは、学問を通じて
の自己との対話であると信じ、学生たちと向き
合っております。



ゼミ活動で社会へ出る総合力を

経済学部長 小川 芳樹

経済学部教授

東京大学大学院理学系研究科科学博士課程修了 理学博士（東京大学）
（財）日本エネルギー経済研究所勤務を経て2004年から経済学部教授、
環境経済学専攻
趣味は歴史もののファンタジーものの読書 スキー、クラシック音楽鑑賞

経済学部では、1年から4年までのゼミ活動が、卒業して社会へ船出するのに必要ないろいろな力を学生が身につけるための1つの大きな基盤となっている。経済学部では、1年次の基礎ゼミを必修とし、2年次以降の専門ゼミは学科によって異なる（総合政策学科は必修が、学生に専門ゼミもできるだけ履修するように勧めている）。

（1）就職に影響するゼミ活動の有無

「一見にしかず」であるので、ゼミ履修の有無が就職活動に及ぼす影響を示す経済学科のデータを図1に示す。正規雇用が履修有の89%から履修無の64%へ低下する一方、非正規雇用が履修有の10%から履修無の25%へ、未決定が履修有の1%から履修無の11%へ上昇している。

このように、ゼミ履修の有無が、学生の就職活動にかなり大きな影響を及ぼしていることは明らかである。ここではデータを示さないが、ゼミ履修の有無は、学生が卒業できなくなるいわゆる留年率の増大にも深く関与する要素となっている。

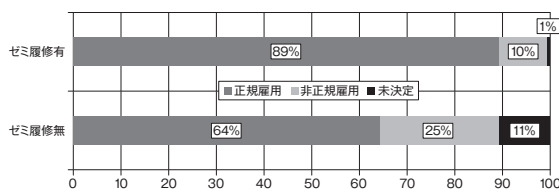


図1 ゼミ履修の有無が就職活動に及ぼす影響（経済学科の分析例）

（2）ゼミ活動で養う社会人基礎力

経済学部の1年次の基礎ゼミは40人弱の人数、2年次以降の専門ゼミは20人程度の人数で1クラスを形成している。いわゆる講義とは違ってゼミ活動は少人数クラスで行うので、学生自身が主体的に他の学生とコミュニケーションを取りながら進める必要がある。

ゼミ活動を通じて学生に身につけてもらいたい力は、社会人基礎力と呼ばれる「課題発見力」「計画力」「主体性」「実行力」「発信力」「傾聴力」「柔軟性」「コミュニケーション力」といった能力である。

経済学部では、ゼミに関しても授業評価アンケートを行っており、上述の社会人基礎力に関連する質問をアンケートで用意して、学生がどのように自身の活動を評価しているか、観測を行っている。図2は、学年進行に伴って学生が回答した結果を取りまとめたものである。

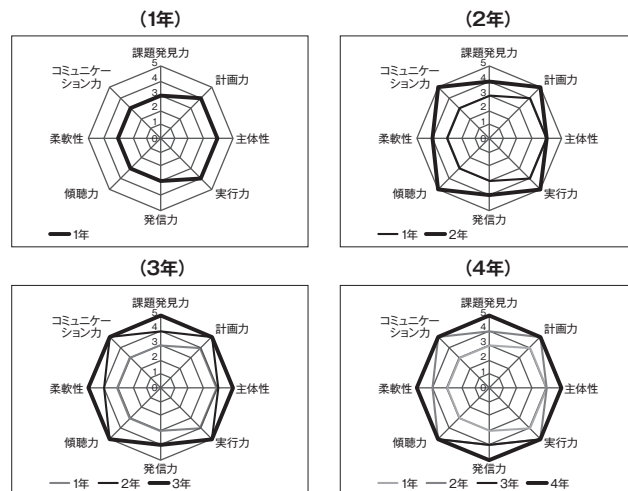
東洋大学では、4～5年前からGPA（グレイド・ポイント・アベレージ）という学業成績を統一的にみる指標を作成している。GPAによる成績の位置づけも、就職活動に影響を及ぼす要素の1つではあるが、実はゼミ活動の効き方の方がはるかに大きいことがわかつている。

このようにみてみると、大学4年間の学生生活でゼミ活動に参加していると参加していないとは、社会への船出という学生のアウトプットに少なからず大きな違いが出てくるといえる。残念ながら学生は、このようなゼミ活動の効果を深く認識しているとは言い難い。

（3）終えるにあたって

甫水会の地区別父母懇談会で、8月20日、21日と徳島、松山をお訪ねして香川、徳島、高知、愛媛4県の保護者等の方々と意見交換を行う機会があった。最も印象に残ったのは、保護者の皆様が学生の将来に深く関心をもつて就職活動の最新動向に耳を傾けておられたことである。

学生は自分の総合力を高めるために、各自がいろいろな経験を積み重ねるべく大学内でチャレンジしているが、ゼミ活動がこのように就職活動に影響を及ぼすことを必ずしも深く認識していない。保護者の皆様から何らかの機会にゼミ履修を学生に勧めていただけたらと思う。



（注）項目は上から時計回りで、課題発見力、計画力、主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、コミュニケーション力である。

図2 授業アンケートによる学生自身のゼミ活動評価の進展（学生評価の一例）



経営学部は開設50周年を迎えました

経営学部長 長島 広太

経営学部教授

早稲田大学商学部卒業・同大学大学院商学研究科博士課程満期退学
早稲田大学商学部助手、東京国際大学教授を経て

マーケティング専攻

インターネットを活用したマーケティングを研究している
日本ダイレクトマーケティング学会副会長

平成28年に経営学部は開設50周年を迎えました。それを記念して、11月26日に記念式典、記念講演会、祝賀式を行いました。記念式典には、理事長、学長から祝辞をいただきました。記念講演会は、株式会社日立製作所元会長川村隆氏、株式会社セブン銀行代表取締役会長安斎隆氏、株式会社三越伊勢丹代表取締役社長執行役員大西洋氏に「明日の消費者 明日の経営」という全体テーマのもとご講演して頂きました。これと合わせて、学生及び卒業生を対象とした記念論文コンテストを実施し表彰いたしました。さらに各学科の最新の研究内容を3冊の記念出版物として発行いたしました。経営学部が開設50周年を迎えることができましたのも、今まで長きにわたる甫水会のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

経営学部は「幅広い視野に立つて、経営学諸分野の学習および研究を通じて培った専門的知識と能力を活かし、急速に進展する経済社会において活躍する『有為な人材』を育成すること」を教育理念、目標としています。それを実現するため

に、学生の声を聞き、先進事例を参考にしながら、改善を進めています。経営学部の特徴を少し記していきます。

キャリア教育・資格取得支援

「有為な人材」は、経営の専門家であると同時に、経営の専門の枠にとられない幅広い視野をもち、健全な社会人としての自覚を有し、自主性をもつて経済・社会に活躍する人材のことです。このような人材を育成するために、多様な授業科目を有しています。それとともに、各学科において、キャリア支援のための情報提供や講座などを企画して、本人に適した進路となるよう指導しております。また、経営学に直接関わる資格がいくつかあります。最難関資格の一つと言われる公認会計士に昨年度は現役学生4名、卒業生を合わせて合計13名が合格いたしました。正課の授業科目に加えて、段階をおって進む課外講座を充実させて、合格を支援しております。このほか、税理士、ファイナンシャルプランナー、証券アナリスト、中小企業診断士、統計検定などの資格取得を支援する課外講座を開設して、成果をあげてきております。

考える教育

有為な人材を育成するには、本学の建学の精神である「諸学の基礎は哲学にあり」の哲学の力(考える力)を伸ばすことが大事です。経営学部は従

来から演習(ゼミ)教育を重視しています。教員が知識や方法を講義するのではなく、学生が講義で身につけた力をもとに、自ら設定した課題について自ら解決していく授業形態です。まさに、学生が主役となって考える場です。個人だけではなく、グループで研究することによって社会人基礎力がさらに高まることになります。

スーパーグローバル大学構想

一昨年、本学はスーパーグローバル大学に採択され、語学教育、海外研修などの制度が充実してきています。経営学部においては、英語の能力試験のTOEIC730点相当以上の学生を他の資格に加えて表彰する制度を整え、さらに、一定以上の得点上昇者も表彰することを予定しています。また、タイにある泰日工業大学への研修を予定していて、英国への研修も検討しています。

新たな取り組み

経営学科においては、入学直後の基礎実習講義から2年次の基礎演習の間の橋渡しをする基礎演習入門という科目を開設しました。マーケティング学科は、ビッグデータ時代に対応できるように、「マーケティングデータ分析入門」を必修科目として新設しました。会計ファイナンス学科は、国際ビジネスコースを開設して、グローバル時代に応じるようにしています。

最後になりますが、夏に山梨県の父母懇談会に出席いたしました。同県の懇談会には昨年引き続き出席いたしましたので、役員の方をはじめ多くの方と再会することができました。またはじめの方とも交流することができました。今後ともこうした場をご活用いただき、お子様の学生生活と将来に向けた温かいサポートを心からお願い申し上げます。



法学部における学生支援について

法学部長 井上 貴也

法学部教授

東洋大学大学院法学研究科私法学専攻博士後期課程満期退学、
法学部講師、助教授、准教授を経て二〇〇八年四月より教授。
趣味は、鉄道を利用した旅行、法律史めぐり。

専門は、商法、会社法

(1)はじめに

法学部では、毎年四月の日本武道館での入学式終了後に白山キャンパスにおいて保護者の皆さまを対象に学部独自の取り組みや学習支援について説明をさせていただく機会を設けております。本稿では改めまして、東洋大学の教育の三つの柱である「国際化」「キャリア教育」「哲学教育」に関する法学部生支援の取り組みについて紹介をさせていただきます。

(2)国際化について

学部独自の取り組みとして三つ海外研修を実施しています。まず、イギリスのロンドン大学が実施する「夏季英語音声学セミナー」です。このセミナーは、英語の発音・聴き取り技術の向上に主眼を置いた二週間集中プログラムで、英語音声学の理論と実践を学ぶことができる内容となっています。つぎに、ドイツ・ミュンヘンで行われる語学研修です。異文化コミュニケーション協会のミュンヘン大学と合同で設置する語学研修への参加を通してドイツ語の能力を高めるプログラムです。ドイツの裁判所や政府官房などの見学も行い、ドイツ語と併せて法律の学びも深めることができますのが特徴です。最後に、二〇一六年度から実施をするノルウェーのトロムソ大学における平和学研修を紹介します。現地大学における英語の講義を通して、教育・社会経済発展お

よび平和に関する幅広い知識、視野を身に付けることを目的としています。トロムソ大学での研修は、前二つの研修とは異なり、一定の語学スキルを有する学生を対象とし、国際関係に関する専門的かつ実践的研究に触れ、グローバル化社会が抱える課題について発展的な学びの機会を提供することが特色です。

(3)キャリア形成について

学部独自のキャリア支援の取り組みとしては、「公務員対策講座」があげられます。法学部を目指す学生には将来、公務員を志す者が多くいます。学生の経済的負担を軽減しつつ、勉学の環境を整えるために予備校と提携した対策講座を設けています。本講座では、二年次コースとして、公務員受験に必要な基礎知識を学習し、三年次コースで演習問題を解き、本番試験での実践能力を鍛えて行きます。法学部の学生が公務員合格というゴールを目指し、時には互いに励まし合いながら、切磋琢磨する環境が整えられています。

これ以外にも、法学部の教員、卒業生および内定を獲得した四年生による面接対策指導、実務家(卒業生)による講演会、就活始動セミナー、進路希望面談、卒業生・内定者によるアドバイス、などを行い、就職活動を迎える在校生のサポートしています。

(4)哲学教育について

法学部では、「井上円了と建学の精神」という科目を第一部、第二部ともに一年次必修科目として開講しています。創立者である井上円了博士の思想と建学の精神を学ぶことを目的としています。教室での学習だけではなく、円了博士が「哲学をテーマにした精神修養」の場として創立した中

野区にある哲学堂公園を見学し、哲学に直接、肌で触れて考える機会も設けています。

(5)14(とーよー)メールについて

法学部では、法学部と保護者の皆さまとつながりコミュニケーションツールとして、毎月十四(とーよー)日に連絡用のメールマガジンを配信しております。このメールは、①その時々大学のイベントや白山の風景を紹介する「大学の風景」のコーナー、②試験期間、履修登録期間、法学部教務課からの連絡事項からなる「事務室より」のコーナー、③法学部独自の取り組みやイベントを紹介する「法学部の今」のコーナー、という三つのコーナーがあります。保護者の皆さまへホットな話題をお届けしています。

メールマガジンの登録については以下のアドレスから手続きを行ってください。
<http://toyodaigakuhougakuburenak.mobi/>

(6)その他

法学部ではこれ以外にも成績優秀者、検定試験や資格試験で一定の成績を修めた学生を表彰する学部長表彰制度があります。一方で、一定の単位取得基準を充たせなかった学生を対象にした単位僅少者面接を各セメスターに行っています。もちろん、教員はオフィスアワーを設定し、日頃から学生からの勉強方法や質問に答えられるように環境を整えております。大学生活においては、疑問が生じた場合には問題解決を先送りせず、相談されることをお勧めします。身近に相談する先生がいらないという場合は、一年次の法学基礎演習の先生または法学部教務課にご相談下さい。

(7)おわりに

今年度、白山キャンパスおよび島根・鳥取支部において保護者の皆さまと直接お話をさせていただきました。大学に対するご期待の大きさを実感させていただき、身の引き締まる思いでありました。

今後とも雨水会会員の皆さまの暖かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。



女子学生入学100年目を迎えて

社会学部長 紀 葉子

社会学部教授

立命館大学社会学研究科博士後期課程応用社会学専攻修了。社会学博士。1992年東洋大学社会学部社会学科専任講師より今日に至る。主要著作「日仏社会学叢書3 プルテュー社会学への挑戦」、恒星社厚生閣他。欧州ではフランスを中心に南米ではブラジルを中心に若者に広がる新しい日本文化愛好について研究中。

東洋大学が日本の私立の大学として初めて女子学生を受け入れてから100年目を迎える今年、様々なイベントを通してその先見性について広報に努めております。生活空間が男の領域、女の領域と切り分けられていた時代にあつて、教育も男性向けの教育と女性向けの教育に区別があり、女性が高等教育を受ける機会を提供していたのはもっぱら女子大学でした。男性と同じ課程を女性でも学べる機会をつくった東洋大学は「すべての女性が輝く社会」の基礎となる理念を100年前から有していたというのは誇るべきことです。

東洋大学に初めて入学した女子学生は文学部の栗山津彌さんですが、社会学部の教育課程と最も関連性の深い同時代の入学生として女性民俗学の大家、瀬川清子(キヨ)先生がいらっしやいます。秋田県鹿角郡に生を享けたキヨは「二十歳の自伝」に尋常小学校4年生の時に「邪気なく遊び、

戯れる事ができない代わりに一生懸命勉強してえらくなるんだと決心した」と書き残しておられますが、その言葉のとおり、一足先に東洋大学に入学し、のちに東京学芸大学の教授となる夫、三郎氏の後を追うように姑を伴って上京。東洋大学が「女も入学できる」との情報に接し、大正11年に27歳で東洋大学専門部倫理学東洋文学科に入学しています。

卒業後、教職に就きますが、第一東京市立中学で教鞭をとっていたときの教え子には家永三郎氏もいらしたとのこと、たつたひとりの女性教員としてキヨとその後方に坊主頭の家永氏が写る集合写真が鹿角先人顕彰館に保存されています。教員としての生活をはじめたのちも学びへの意欲を失わないキヨは、夫の三郎氏が憧れの地ギリシアを訪問中、石川県輪島市の海女のもとを訪ねます。この今日というフィールドワークは3週間にわたり海女と寝食を共にしながら行われました。この調査報告が日本民俗学の鼻祖である柳田國男氏の目に留まり、キヨは女性として初めての門下生となります。日本全国津々浦々に足を運び女性の伝統的な労働を中心に精力的に臨地調査を

行い、その成果をまとめ、日本における女性民俗学の基礎を築きあげました。昭和55年に85歳でエイボン「女性年度賞」を受賞し、その永年にわたる功績が称えられています。「私は田舎まわりの好きな人になっただけで研究者にはなれなかった」などと愛弟子の岡田照子さんにはがきで書き送っているものの、樺太から沖縄まで足を運んだキヨの現地調査が研究者としてのそれでないとしたならば、研究者と称することが出来るものは誰もいなくなってしまうことでしょう。

東洋大学における最初の女子学生の入学は、あるいは、偶々であつたかもしれず、また、その後も継続して積極的に女子学生を受け入れていたわけでは必ずしもないかもしれませんが、男性だけであることが「あたり前」であつた世界の窓に吹き込んできた一陣の風は同時に豊かな種も運んできました。その種のひとつがキヨであり、その種が見事に咲き、たわわに稔ったことはその活躍からも明らかです。多種多様な種から新しい芽を育ててゆく場が大学であるとするならば、東洋大学は女子入学の先鞭をきつたように大学の多様性に果敢に挑戦する大学であり続けることを再認識するためにも、この100年の意義があるように思います。東洋大学のこうした美点を対外的に知らしめてゆくのみならず、東洋大学の関係者にもよりよく理解していただいて、大学に誇りをもつていただきたいと強く願うものです。



ニッポンを支える 理工系プロフェッショナルの育成

理工学部長 寺田 信幸

東洋大学理工学部生体医工学科教授

1952年大阪に生まれる。1976年に東邦大学理学部生物学科を卒業。1976年信州大学医学部附属病院、1978年国立循環器病センターを経て、1982年山梨医科大学生理学講座に助手として赴任。1992年に博士(医学)取得(山梨医科大学)。同年山梨医科大学医学部助教授。大学統合で2002年より山梨大学総合分析実験センター助教授。2005年4月より東洋大学工学部機能ロボティクス学科教授、2009年4月東洋大学理工学部生体医工学科教授。2012年学校法人東洋大学理事、2015年4月より理工学部長。
専門分野：生体医工学、環境生理学、循環生理、宇宙医学、医療情報

高等教育を担う大学の役割は、大きな変換点を迎えています。これから益々少子高齢化が進み、労働人口が減少して行く日本において、国際競争力を維持・向上させ、活力ある地域経済社会を構築し、医療・介護サービスの持続的かつ効率的な提供を実現していくためには、数多くの課題を克服していかなければなりません。新しい価値の創造や技術革新など、イノベーションを果たし、新たな価値を生み出していく人材の育成が必要不可欠です。東洋大学理工学部は、時代のニーズに即した理工系人材を輩出するため、大学院理工学研究科と連携し一体となって、「創るって楽しい」その想いを大切に育み、ものづくり、地域づくり、国づくりの根幹を担うエンジニア、サイエンティスト、アーキテクトの育成を目指しています。

理工系グローバル人材の育成

文部科学省は、2014年度から大学改革により徹底した国際化を進める大学を支援する「スーパーグローバル大学創成支援」を開始し、

37大学を採択しました。本学も、タイプB(グローバル化牽引型)として採択されました。国内外で活躍できる次世代リーダー等の育成を目指す大学として、高い目標が設定されています。理工学部では、グローバル展開をしている企業に対して、学生自身が感じている数居の高さを払拭して、海外への興味を持つて頂き、世界に目を向けてもらい、異文化理解や協調性を獲得して頂きたいと考えています。上場企業のみならず、それぞれの学科・専攻で扱う研究領域のパイオニアとなっている地元企業など、企業を支えるミドル層でトップを張れるエンジニアを育成することが、理工学部・理工学研究科の使命だと考えています。

そのためには、理工学領域での基礎・専門・応用において、やるべきことをきちんと押さえることが、まずは肝要です。併せて、東洋グローバルダイアモンド(TGD)構想を活用し、世界を意識できるエンジニアへと育成します。「わくわくしながら目的意識をもって熱中できるものに学生の皆さんが出会えるよう、いろいろな興味・関心を持った学生さん達の心に響かせるため、さまざまな取り組みでアプローチし、「わくわく感溢れるキャンパスの創成」を目指しています。

インターンシップや海外留学など、多様な体験による就業力の強化

多様な体験を通じた就業力の強化を目的に、インターンシップや海外留学への参加を促進しています。通常授業での科目単位取得に留まらず、

学外へ学修の場を求めるように、意識的に誘導し、学部・大学院を問わず、それぞれの研究に沿ったチームでの研究インターンシップや中期インターンシップを勧めています。スーパーグローバル創成事業を意識して入学した学生の皆さんにも満足して頂けるよう、海外留学が出来る水準へと引き上げられる学習の場を提供しています。全学TGLプログラムに連動した各種プログラムやイベントを実施するとともに、川越キャンパスの3か所に用意したグローバルコミュニケーションスペース(GCS)では、ディスカッションクラブ、英語初級ミニ講座など独自講座を開講し、留学生との交流イベントや海外の記念日に関連したイベントを開催しています。MOCSやTEDなどインターネットで配信されている優れた英語での教材を利用した学習環境を整備し、適切にフォローすることで自主学習の定着を図る支援体制も整えました。

また、授業科目を通じて、初年次教育からキャリア教育へのスムーズな接続を図り、大学での学修において必要なスタディスキルの修得と日本語でのコミュニケーション能力を向上させる取り組みも開始しました。低学年時に就職対策試験を意識させ、各自の実力を把握させると共に準備を促します。「数的処理」や「論理的思考」など、就職試験(SPI試験等)の基礎力を、低学年次から意識的に取り入れて、反復練習でしっかりと固めてもらうことを期待しています。

以上、川越キャンパスにおける理工系プロフェッショナル人材、理工系グローバル人材育成への取組について述べさせて頂きました。これらの取組には各方面の多くの皆様の叡智が不可欠です。何卒、ご指導、ご協力、ご支援賜りたくお願い申し上げます。



総合情報学部 の近況

総合情報学部長 杉本 富利

総合情報学部教授

1951年、宮崎県日南市に生まれる。1975年に電気通信大学電気通信学部電波通信学科を卒業、1978年に同大学院電気通信学研究科経営工学専攻修士課程を修了。1998年に東洋大学大学院工学研究科より博士(工学)取得。1978年から2008年までに東洋大学工学部情報工学科の助手、講師、助教授、教授を経て、2009年東洋大学総合情報学部教授となる。2013年4月総合情報学部長就任。専門領域はヒューマンインタフェース、認知心理学である。

総合情報学部は2009年度4月に新設され、昨年度7年が経過しました。今年度から新しいカリキュラム(2016カリキュラム)がスタートし、それに伴う幾つかの改革が実施されています。大学では4年ごとにカリキュラムの見直しを行い、時代の流れにいち早く対応するために開講科目の構成や内容を修正しております。総合情報学部のカリキュラム改定は本来ならば2017年度に行われる予定でしたが、1年前倒しして今年度から2016カリキュラムをスタートさせました。新カリキュラムへの移行を1年早めた理由は、なによりも第一に考慮したのは、スーパーグローバル大学創成支援プログラムに採択された東洋大学のグローバル戦略に貢献できる体制の構築と学生の満足度を向上させるために学生の学業の専門性を高めて達成感のある学修が出来る体制の構築でした。2016カリキュラムの大きな特徴は、(1)コース制を設けた、(2)クォーター制を実施する、(3)クラス担任制を必修化した、の3点です。それぞれについて以下で簡潔に説明します。

(1)コース制

総合情報学科の中にシステム情報コース、スポーツ情報コース、メディア文化コースの3つのコースを設けました。コース制では2学年から学生は一つのコースに属して、そのコースで要求さ

れる履修基準を満たさなければ卒業できません。このコース制によって学習目標を定めやすくなり、各自の専門領域を深く学べるようになります。同時に他コースの科目も履修できますので学問領域の幅を広げることも可能です。それぞれのコースの教育内容については大学のWebサイトを参照してください。

(2)クォーター制

これまでの日本の大学の一般的な学期は春セメスタと秋セメスタの二学期制です。しかし、この学期制では欧米の大学の学期と始まりと終わりが同期しておらず留学をする際には大きな障壁となっていました。クォーター制はセメスタ(16週)を半分のクォーター(8週)に分割し、一つの科目の講義を週2回行つて8週間で一科目の履修を終える制度です。この制度を利用すると、履修科目のないクォーターを作り出し、それを海外留学、インターンシップ、ボランティア活動、あるいは運動部選手の合宿・大会参加などに利用できます。海外留学をする際には海外の大学の春、夏、秋セメスタの始まりから参加することが可能になります。クォーター制は密度の高い学生生活を可能にします。

(3)クラス担任制

クラスは一人の教員に10名程度の学生を割り当てて編成します。1学年、2学年においてはクラス担任が学生の学習状況・生活状況を把握して適切な指導を行います。一昨年度と昨年度はトライアル期間としてクラス担任制を運営してきましたが、学生と教員が共有できる時間を確保することが非常に困難だったために期待通りの成果をあげることが出来ませんでした。そのために、2016カリキュラムでは必修科目の基礎ゼミナールⅠ、Ⅱのなかで運営することになりました。このことによって、必ず毎週90分間は一人の教員と少人数の

学生が時間を共有し、さまざまなアクティブラーニングを行っていますので、学生同士の絆、教員との一体感が醸成されて来ているように見受けられます。

カリキュラム改定以外にも、学部独自に2件の海外研修プログラムを企画しました。一つは既に9月に実施した上海工程技術大学への1週間の研修で、もう一つは来年の3月に実施されるハワイ大学での3週間の語学研修です。上海工程技術大学での研修では、参加学生が中国の学生達との円滑なコミュニケーションも図るようになり交流を深めることができたようです。また、中国の学生たちの英語力や技術に触れ、国際化に取り残されたいようにしてはいけないという気持ちを持つたようです。

我々総合情報学部の教員は熱心に学生を「育てる教育」に取り組んでおります。保護者の皆様におかれましても機会あることにご助言を頂ければ幸いです。

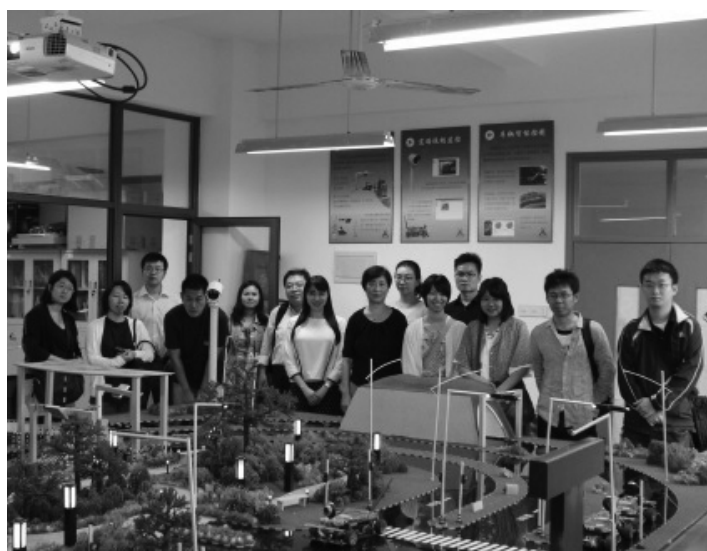


写真:上海工程技術大学での施設見学ツアーの様子



来年度改組の国際地域学部

国際地域学部長 坂元 浩一

国際地域学部教授

慶應義塾大学経済学部卒

同大学経済学研究科後期課程修了

博士(経済学)

2001年国際地域学部着任

専攻は開発経済学

1. 国際地域学部の実績と現状

国際地域学部国際地域学科は1997年4月に創設されました。その完成年度の2001年に短大の観光学科が国際観光学科として加わり、2学科の学部となりました。観光学科はそれまでの50年間にわたる実績を踏まえて4年制の学科へ発展しました。

その目的として、国内外の地域との連携による「地域づくり」や「観光振興」の政策・技術・手法の広い範囲での活用など、グローバルな視点で時代を見据えながら、世界および社会に対して大きな貢献をもたらすことが期待されました。

そして「Think globally, Act locally」を理念とし、地球規模の視点で問題をとらえ、国際的視野に立った地域づくりや観光振興など、地域の創造的活性化に貢献してきました。

その後、国際地域学部は2009年4月には、修学キャンパスを白山第2キャンパスへ、そして2013年4月、白山キャンパスへと移転しました。

また、2010年4月からは都心の地の利を活かし、白山の他学部他学科と同様に、国際地域学科を2専攻体制とし、イブニングコースである地

域総合専攻を開設しました。

さらに、2012年～2015年度に渡る文部科学省「グローバル人材育成推進事業(タイプB)」「(GGJ)」に採択を受けました。それまでの実績やノウハウを整理した新しいグローバル人材育成プログラムをスタートさせました。

国際地域学部グローバル・オフィスを設けて、学生の英語能力の向上を具体的に支援する体制を整えました。また、タイのトップ大学であるチュラロンコン大学内にバンコク・オフィスを設立して、海外研修を抜本的に拡大する体制を樹立しました。

こうした体制は、次に説明する大学全体の国際化のベースとなりました。

2. 国際地域学部の将来

東洋大学は、文部科学省が2014(平成26)年度より10年間実施する「スーパーグローバル大学創成支援タイプB(グローバル化牽引型)」に、構想名「TOYO GLOBAL DIAMONDS グローバルリーダーの集うアジアのハブ大学を目指して」を申請し、9月26日付で採択を受けました。全国の私大12大学のうちのひとつに選定されました。本学採択のひとつの大きな要因は、上記の国際地域学部受託のGGJにありました。国際地域学部はスーパーグローバル大学創成支援において東洋大学を先導する役目を果たすことが期待されておりますが、既に英語力の向上、海外研修の拡大、インターンシップの充実などの面で確かな実績を収めています。

これに伴い、2017年に向けて、東洋大学全体の体制の改革が検討されました。その結果、現国際地域学部の国際地域学科は、新たに設立される国際学部の一学科となることが決まりました。新学部のもうひとつの学科は、グローバル・イノベーション学科ですべての授業が英語で行われます。国際地域学科もこれまでのミッションを強化して、英語能力の向上や現地研修の拡大を進めることとしています。現国際地域学部のもうひとつの学科である国際観光学科は独立した国際観光学部となります。東京オリンピックに向けて、外国語能力の向上、インターンシップを10以上の国に展開するなどさらなる発展を目指していきます。

2017年4月には、東洋大学と国際地域学部の2学科の発展が日本の大学界で最も注目を集めることとなるでしょう。

3. 父母懇談会の感想

8月下旬に、山形市と仙台市の父母懇談会に出席しました。懇談会においては、東洋大学の全体現状、そして今後の方向性について、30分程報告しました。特に、スーパーグローバル大学創成支援と海外研修について詳しく説明しました。

説明の後の質疑応答の時間には多くのご質問をいただきました。スーパーグローバル大学に関しては、国際化の方向性における勉学の在り方がどうあるべきであるかという質問がありました。国際系の学部だけでなく、理科系の学部の保護者の方も、ご子息の今後の方向性に対する関心を持っていました。付随して、海外研修の危機管理がどうなっているかという質問もありました。

また、通常の勉学に対するご関心も高く、学習支援体制やゼミの選抜など具体的な状況の説明を求められました。

さらに、就職状況について事例を使って説明しましたが、関心を持っているように感じました。



生命科学部だより

生命科学部長 金子 律子

生命科学部教授

東京大学理学部生物学科動物学教室卒業。同大学院修士課程修了。医学博士。山形大学医学部・助手(現・助教)、カナダ・アルバータ大学医学部・博士研究員、聖マリアンナ医科大学・助手・講師、助教(現・准教授)を経て、本学生命科学部教授。専門分野は、神経生物学。

生命科学部では、生命科学に関する幅広い知識と技術を獲得すると共に、自ら考える力を育成し、高い生命倫理観・技術者倫理観を身につけられるよう、授業(座学)や学期毎の実習、1年～1年半の研究室配属、工場／研究所見学や学外研修などを行っています。研究室配属後はほぼ毎日教員と学生が顔を合わせて卒業実験に取り組み、また季節の良い時にはキャンパス内でバーベキューを皆で楽しみますので、教員と学生の距離が近いというのも、板倉キャンパスの学部ならではの特徴だと思っています。以下に、生命科学部が現在取り組んでいる教育について簡単に紹介します。

生命科学分野の知識や技術の修得

近年発展の目覚ましい「生命科学分野」の基礎知識と専門知識、および様々な「バイオテクノロジー」に対する知識と技術を学生が修得できるように、講義と実習を組んでいます。

必修科目や選択科目の実習では、生き物の体を構成する様々な分子(DNA・酵素)および環境を扱う実験技術を学ぶと共に、生命現象への理解

を深めます。更に各実習では、1～2週ごとにレポート提出が義務付けられており、論理的思考力や文章構成力という学力の根幹となる力を育成しています。卒業研究では、これまでに得た専門知識や技術を応用して、自分の研究課題に取り組みます。また高度なバイオテクノロジーを習得できるよう、高度機器類の講習会を3年生以上の学部生や院生を対象に開いており、卒業／大学院研究や理系就職に役立てています。

生命科学分野の資格修得支援や就職支援

就職活動を見据えた数々の資格修得支援にも取り組んでいます。例えば、バイオ技術者試験(中級、上級)や公害防止管理者等国家試験のための集中講座により資格取得を支援しています。「胚培養士」(医療機関で人工授精を行う技術者)育成講習会および医科大学付属病院での見学会を毎年実施しています。研究所見学や工場見学、実務研修／インターンシップにも多くの学生が参加しており、それぞれの見学や研修先には教員も出向き、学生の活動をサポートしています。こうした様々な講習や体験学習を通して、講義で学んだ専門知識を実践する場を経験し、学生が自分に合った道を選べるよう支援しています。

さらに就職活動にあたっては、「就活のためのセミナー」や「民間企業の会社説明会」を板倉キャンパス内で毎週のように実施しています。公務員試

験や教職志望の学生に対する対策講座等も充実しており、特に教職については、教職支援室によるきめ細かな採用試験対策、小論文対策、面接対策が受けられ、都道府県教員採用試験の合格者実績を着実に伸ばしています。

グローバル化に向けた英語力向上支援

英語による講義の導入、TOEIC全員毎年受験(無料)、イングリッシュラウンジ、「英語でクッキング」キャンパス内英会話講習、夏休み中のTOEIC講座、英語によるプレゼンテーションレッスン、カナダ語学留学など、学生の英語力向上に向けた様々な支援を行っています。この他、国際学会への学部生の参加／発表も推奨しています。

父母懇談会に参加させて頂いて

8月に山口市で開かれた山口県と広島県の父母会懇談会に参加させて頂きました。懇談会では、東洋大学全体の現状や今後の方向について、30分ほどお話をさせて頂きました。説明の後、質疑応答を20分ほどさせて頂き、白山キャンパスの食堂についてのご要望や、学部で習得できる資格についてのご質問や、公務員試験に対する準備やサポートについての質問など頂きました。父母懇談会の場で、ご要望やご質問を直接伺うことができ、どのようなことに保護者の方々がご関心をお持ちであるか改めて知ることができました。短い時間ではありましたが、大変有り難い父母懇談会でした。お忙しい中お集まり頂きました保護者の皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。

生命科学部では講義／実習等のカリキュラムの他に、学生が利用できる様々な支援活動を行っています。これらのサポートを是非積極的に利用するよう、ご家庭でも御子息にアドバイス頂ければ幸いです。



新設4年目を迎えた 「食環境科学部」の近況

食環境科学部長 林 清

食環境科学部 教授

1952年愛知県刈谷市に生まれる。名古屋大学農学部農芸化学科卒業、農林省 食品総合研究所研究員、農林水産省首席研究開発企画官、(独)農業・食品産業技術総合研究機構 理事、食品総合研究所 所長を経て、2013年4月より現職。

専門は食品科学、微生物利用、酵素利用、博士(農学)。
主な著書は、食品技術総合事典(朝倉書店)、「総合 調理用語辞典(社団法人 全国調理師養成施設協会)」、Biocatalysis and Agricultural Biotechnology(CRC Press)等多数。

1. 食環境科学部の概要

板倉キャンパスに1997年に創設された生命科学部は、当初は生命科学科のみでスタートし、2009年には、応用生物科学科と食環境科学科が創設され3学科となりました。そして2013年には、新たに「健康栄養学科」を新設し、生命科学部から分離した食環境科学科とともに、2学科で構成される「食環境科学部」が創設されました。

平均寿命の延伸と出生率の長期的な低下による超高齢社会を迎えるとともに、食生活の多様化による食習慣の乱れや運動不足等により生活習慣病が増加し、食と健康に関わる問題がクローズアップされています。こうした「食と健康」に関する社会的な関心の高まりを受け、「食環境科学部」が創設されました。

食環境科学部では、食品の機能科学や栄養・健康科学を総合的に探究し、これを高度な栄養指導に発展させ、生命と健康、食の安全に係る分野で活躍できる人材を育成し、国民が生涯にわたり健康で明るく、活力ある生活が送れる社会づくり、国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現(健康寿命の延伸)に貢献して行きます。

2. 食環境科学科の近況

食環境科学科(入学定員120名)は、社会で活躍することのできる人材を育成することを目的として、フードサイエンス専攻(入学定員70名)とスポーツ・食品機能専攻(入学定員50名)の2専攻で教育を行っています。

フードサイエンス専攻では、食に係わる分野で活躍できるグローバルな技術者の育成を目的として教育を行っています。消費者が安心して食べられる、安全な食品を提供するための食品成分分析や品質管理の技術や、食糧の生産や加工および流通などに関する高度な知識、生命と健康に関する食品機能科学や栄養・健康科学などについての専門能力を学修し、加えて健康の視点から食をコーディネートする総合力、食育を通じた食文化の維持・向上につながる指導力をもつ学生を育成します。



食育作文コンテスト表彰式。「食に対する感謝」あるいは「地域を支える地産地消」を課題として作文を募集しました。27高校から3,404件の応募があり、表彰式には学長も出席されました。

スポーツ・食品機能専攻では、健康寿命の延伸が国民の重要課題であることを踏まえて、食品機能

能や運動が人体におよぼす影響を科学的に探究できる、食品機能科学やスポーツ栄養科学を熟知した食品技術者を養成します。このために、生命科学を基礎に、人体の構造と機能、栄養学、食品学、身体活動に伴う食事・栄養の摂り方などの専門知識を修得し、健康増進のための方策について学習していきます。また、この専攻では、板倉キャンパスにある体育会運動部とも連携し、スポーツ活動の中での教育についても実践しています。

3. 健康栄養学科の近況

健康栄養学科(入学定員100名)では、健康を維持増進させるための食事や栄養に関する専門的知識と技術を習得し、行政、医療、福祉、健康の分野で活躍できる専門職、ならびに快適な活動的生活を支援できる人材を養成しています。

具体的には、生活習慣病である高血圧、糖尿病、高脂血症などの病気の発症を未然に防ぐ食習慣や生活習慣に関して、実験・実習・座学で基礎的内容を学んでいます。また、スポーツ選手の健康管理や競技力向上に資する食事のあり方についても学んでいます。これらは、今後、東洋大学を卒業した管理栄養士の発展と活躍につながるものと確信しています。

開設4年目となり、来春には初めて、管理栄養士国家試験を受験することになります。学生、教員が一丸となり高い合格率となるように頑張っています。

4. やしむ

食環境科学部は、板倉キャンパスに併設されている生命科学部との協働により、再生医療、革新的医療診断システムの開発など、総合大学の強みを生かして健康格差を生まない社会創りに貢献できる人材を育成しています。さらに、板倉キャンパスにある陸上競技部女子長距離部門及びサッカー部女子部とも連携し、スポーツ栄養学をスポーツ活動の中で実践し、発展させていきます。

今後とも、甬水会の皆様の暖かいご支援・ご協力をお願いいたします。



ライフデザイン学部の近況

ライフデザイン学部長 白石 弘巳

ライフデザイン学部生活支援学科教授

1979年東京医科歯科大学医学部卒業。同大学院修了(医学博士)。専門は精神医学、精神保健学。2005年4月ライフデザイン学部開設に伴い着任。2013年4月から学部長。精神疾患に罹患した人の地域生活支援、家族支援、精神保健福祉法制度などに関する研究の傍ら、国や東京都等自治体の精神・障害分野の各種委員を歴任。

ライフデザイン学部は、昨年11月25日に福川伸次理事長や富岡勝則朝霞市長などご来賓ご列席のもと、学部創設10周年記念式典を挙行了しました。式典において学部の更なる発展を期し、「教職員、学生が一体となって、建学の理念を踏まえ、ライフデザイン学の発展を通じて、地域の関係者の方々と緊密な連携を図りながら、人を育て、地域を支え、国境を越えて時代を創造する、確固たる担い手となる」との「ライフデザイン学部未来宣言」を行いました。

学部卒業生の進路

本年3月の第7期卒業生は520名、就職率は98%でした。主な進路は、生活支援学専攻は社会福祉介護事業43%、医療業13%、子ども支援学専攻は保育園等32%、幼稚園等18%、健康スポーツ学科はスポーツ関係等の一般企業14%、教育関係12%、地方公務10%、人間環境デザイン学科は建築関係27%、小売業14%となっていました。最初で最後の箱根駅伝で第10区を走った健康スポーツ学科4年生渡邊一磨君は「努力が必ず報われるとは限らないが、結果を残す人、目標を達成する人は必ず努力

している」とのコメントを残しました。多くの卒業生もそれぞれの学部生活を振り返って、この言葉に共感を覚えたことでしょう。卒業生のみさんののさらなる活躍を期待したいと思います。

在学生の近況

毎年3年生に実施されている知識活用力や行動実践力を見るPROGというテストに対する回答の中で、「自己の進路を意識している」と答えた学生の割合と、「大学生活に満足している」と答えた学生の割合は、ライフデザイン学部が全学部中1位でした。ライフデザイン学部の学生の多くが、将来を見据えつつ、着実に学修に励んでいることがうかがわれます。ただ、同時に「より就職難易度の高い企業に就職するためにはさらに知識とその活用力をつける」「課題発見力を高め、計画的に課題に取り組む能力をつける」「プレッシャーのかかる場面を経験し、対人基礎力を引き上げる」などの課題があることも明らかにしました。それぞれの目標達成をめざし、さらに努力を重ねて欲しいと思います。

各学科専攻の取り組み

ライフデザイン学部では、社会貢献を通じて学習効果を高めることを重視しています。生活支援学専攻では東京都北区での街歩きと高齢者支援、認知症サポーター養成支援などの活動をしています。

子ども支援学専攻では子育て中の母親を支援する「子育て広場」というプログラムを行っています。本年は外国にルーツのあるお母さんも参加するなど国際色が加わってきました。健康スポーツ学科が主催する健康スポーツ倶楽部得ASAKAでは、学生が中心となって小学生向けのスポーツ教室や中高齢者の健康維持増進教室を展開しています。人間環境デザイン学科では、強化ダンボールを使った被災地支援活動、朝霞キャンパスに近い黒目川へのマナー看板の設置など、さまざまな企画を実施しています。

また、海外の大学や研究者と連携した教育研究活動にも力を入れています。従来からの韓国、中国、ドイツなどへの短期研修に、カナダやフィリピン、セブへの海外研修プログラムが加わり、さらにミラノ工科大学との協業による教育研究、オリンピック・パラリンピック関連の国際シンポジウムも実施されます。スーパースターグローバル大学創生支援事業の一環として留学生の受け入れを開始し、逆に海外に留学する学生も少しずつ増加しています。ご家庭でも語学力の向上や、グローバル人材認定プログラム(Toyo Global Leaderプログラム)などへの積極的参加をお勧めいただけると幸いです。

保護者の皆様へ

各学科専攻の近況を、学部ホームページで逐次公開しておりますのでご覧ください。毎年6月に朝霞校舎で開催される父母懇談会では、学部の近況や個別相談の他、就職関連の情報提供も行っております。各地の父母懇談会でも学修状況や就職に向けた個別相談の機会を設けておりますので、お気軽にご利用ください。特に、卒業後地元での就職を希望される場合など、是非御相談においで下さい。

平成28年度父母懇談会を終えて

卒業生・浦水会連携推進室

浦水会主催による会員各位を対象に実施されていた父母懇談会が、大学主催の行事として、ご父母を含む保証人各位を対象に実施されるようになり2年目となりました。

大学主催の行事として実施にあたって、大学の各キャンパス実施の「学部別父母懇談会」におきましては、関東地区1都6県の浦水会会員各位を中心に、1,409名の参加をいただきました。

さらに、関東地区を除く全国26会場で実施の「地区別父母懇談会」においては、実施地区内での交通の便を考慮して、午前中に開始して終日実施していた日程を、午後開始にして懇談会と支部総会の連続実施による効率的運営を図りました。また、今年度は、地区によっては、支部総会終了後に、複数の支部合同の懇談会を開催するなど、浦水会会員各位におかれましては、円滑な実施にご協力いただきました。その結果、756名の参加をいただき、盛会のうちに無事終えることができました。

全体の参加人数は、前年度に比で、21.6%の減少となりましたが、その主な理由として、申込書

と父母懇談会ガイドブックが別々に送付されるなど、申込方法及び手続きの確認がしにくかったこと、申込書が白色の普通紙で判別しにくかったとの意見をいただきました。

次年度は、申込書を色紙にして識別し易くする、ガイドブックの一括送付による手続きの簡潔な通知を図るよういたします。

今年度は、4月に発生した熊本地震により、熊本県支部と鹿児島県支部合同の父母懇談会の実施を、7月から11月に延期するなどの変更がありました。また、両支部の会員各位のご理解とご協力により盛会のうち無事懇談会を終えることができました。この間、東洋大学より被災地区に対して、学生ボランティアの派遣等の支援活動がありました。が、派遣学生に対しまして、浦水会本部及び被災地区の浦水会会員各位より多大なるご支援ご協力をいただきました。

改めまして、深くお礼申し上げます。

卒業生・浦水会連携推進室は、浦水会会員のみならず、附属高等学校等を含めた学校法人東洋大学

全体のご父母を含む保証人各位の連携を図ると共に、学校法人設置の学校内、学校間のご父母を含む保証人各位と卒業生との連携を確保し、大学における在学生のみならず、法人全体の設置学校における在校生等に対してご支援いただけるよう環境整備を図ることを業務としております。

具体的には、父母懇談会の実施に際して、校友会など卒業生団体との連携支援体制を確保して在学生の就職支援を強化する。大学の陸上競技、水泳、硬式野球、相撲などの体育関連競技の応援に際して、浦水会と校友会などの卒業生組織のみならず、附属高等学校の父母会及び卒業生組織を交えた共同の応援体制作り支援する、卒業生や父母に対して、大学の教育研究活動についてご理解いただきご支援いただけるよう、さまざまなイベントを企画して実施いたします。

このような方策の実施を通じまして、在学生に対する応援や就職支援など体制を確保すると共に、寄付金募集などの資金援助につきましてもご賛同いただけますよう体制を整備して参ります。

今後とも、浦水会会員各位におかれましては、卒業生・浦水会連携推進室の活動にご理解をいただきますとともに、東洋大学の教育研究活動と在学生の活動に対しまして、ご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

川越キャンパス父母懇談会を実施して

川越事務部教学課 課長 須田 文子

平成28年6月19日(日)川越キャンパスにおいて、300名を超える父母をお迎えし、父母懇談会を実施いたしました。

川越キャンパスは、昨年度まで午前中からの開催でしたが、スケジュールを12時30分からの開催に変更し、大学代表者、理工学部長、総合情報学部長、浦水会会長の挨拶の後、就職講演を行いました。

株式会社ソーシャルデザイン研究所人事コンサルタントである、櫻井照士氏による「昨今の就職活動の実情と保護者の関わり方」と題し、就職活動への関わり方を講演していただきました。新卒採用の現状、就職活動の3つの準備、就職活動をするということ、大学との関わり方について講演していただきました。

就職活動については、最も心配なことであり熱心に聞かれていました。

講演会終了後、14時から30分学科別ガイダンスを行い、14時30分より個別面談が行われ、理工学部、総合情報学部に分かれて、各学科の教員による面談が行われました。教員の面接を受け、また心配

なことを質問したりと面接時間を超えてしまう事もありました。

個別面談の待機時間を利用して、自由見学を行い、川越キャンパスの広大な敷地にある機械工学科製図室、応用化学学生実験室、図書館、バイオ・ナノセンターβ棟などを自由に見学していただきました。緑豊かな学習環境を見ていただけたと思います。

今年度から午後開始となり、全国会場と同様のスケジュールで行われ、昨年度までの反省事項、課題事項を振り返りますと

① 大学関係者の挨拶が長い
大学代表者、理工学部長、総合情報学部長、浦水会会長の4名の挨拶を20分で行いました。
就職講演会の時間を約1時間確保し充実した話を聞けたと思います。

② 学生食堂の混雑
今まで昼食の時間帯をはさんでいたため、昼食会場である学食の混雑の問題がありました。

今年度より午後開催となりましたので、昼食をとる必要がある方は先に学食で済ませてから参加の形となり、大きな混雑はありませんでした。

③ 個別相談の待機時間

当日の面接の目安時間はお伝えしてあるのですが、出向教員の熱が入り面接時間が長いこともありました。それについては、時間を超えないよう次年度の課題とします。

待機している間は、校舎の自由見学などしていただき、時間を有効に使っていただけたと思います。

川越キャンパスでは、更に英語について学びたいという要望に対応するため「グローバルコミュニケーションスペース」を2016年1月に開設しました。「スタディ&リサーチスペース」「国際ニュースコーナー」「ミーティングスペース」「グループディスカッションスペース」を設けて、アドバイザーが常駐し個別学修のためのブースやグループ学修のためのスペースが設置され、英語学習の各種資料、語学留学、海外インターンシップ、留学に関する奨学金の情報の収集、留学生との交流などグローバル人財育成の支援をしています。

父母懇談会は、学生の学習状況、学習環境を知る機会です、ぜひ多くの参加をお待ちしております。

板倉校舎父母懇談会に参加して

板倉事務部板倉事務課 課長 野口 清司

板倉キャンパスで6月18日(土)に実施された、平成28年度父母懇談会は、天気にも恵まれ、多くの参加者で賑わいました。内容につきましては、大学紹介DVDを全体会の前に見ていただき、就職講演会、学科説明、個別面談、キャンパス見学会と12時30分～16時までの短い時間ではありましたが、ご参加いただきましたご父母の皆様方には、満足していただけたのではないかと考えております。

全体会は、板倉キャンパス1号館1階にあります、1101教室(収容300名)にて行なわれ、大学代表者として大熊廣一常務理事、金子律子生命科学部長、林清食環境科学部長、甫水会代表として阿部雅道副会長が挨拶されました。続いてご父母の関心が非常に高い就職講演会では、株式会社エービーシーエデュケーションイメージコンサルタントの山本みどり氏をお招きし、「昨今の就職活動の実情と保護者の関わり方」と題してご講演をいただきました。近年の採用スケジュールの変化など、企業の採用活動をサポートするなど企業側の立場にいる山本様からの貴重なお話は、ご

父母の皆様の今後の指針になったのではないかと推察いたします。

就職関係の補足となりますが、板倉キャンパスには、キャリアアカウンセラー2名を配置した、キャリア形成・就職支援室が設置され、低学年からの就職相談に備えるとともに、各業界を知るためのバスツアーや学内インターンシップ体験など、各種セミナーを多数用意しておりますので、是非とも利用・参加するようお伝えいただければ幸いです。

近年、ご父母の皆様の注目度が高くなっているのが、キャンパス見学会です。板倉キャンパスは、生命科学部・食環境科学部の2学部と生命科学研究所・食環境科学研究所の2大学院を有する理系キャンパスであり、実験・研究施設が充実している事が必要ですので、ご父母の関心が高いのも当然かと思われまます。

見学コースといたしましては、地上3階建ての板倉キャンパスのランドマークである5号館(36の実験室と10の共通機器室に最新の機器を備えて

います。)を中心に、講義室と実験室を併せ持つ2号館、学生実験室のある3号館、理系の蔵書を豊富に備えた図書館、食堂棟となっています。

平成27年度は、1グループ×2回、平成28年度は、2グループ×2回と見学回数を増やして対応をさせていただきましたが、毎回多くの方にご参加していただいております、次年度以降は更に細やかな対応をしたいと考えております。

板倉キャンパスは、本年度に食環境科学部が完成年度を迎え、学生数は学部・大学院を合わせ2000名を超えるキャンパスとなりました。今まで以上に学生・教員・職員の距離が一番近く、学生一人ひとりに細かなサポートができるキャンパスとしていく所存です。

平成28年度の父母懇談会が無事、開催できましたことを心より感謝申し上げます、今後もご父母の皆様には、積極的に父母懇談会へご参加をいただき、大学への意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

朝霞キャンパス父母懇談会の開催にあたって

朝霞事務部朝霞事務課 課長 山崎 勉

平成28年度の朝霞キャンパス父母懇談会は、6月18日(土)に100名を超えるご父母の皆さまをお迎えし、盛況のうちに無事終了することができました。ご父母の皆さま、関係者の方々に改めまして感謝申し上げます。

当日は、懇談会会場である講314教室前の廊下に、昨年、ライフデザイン学部開設10周年記念事業の折に製作した各学科・専攻のパネルを展示しました。多くの方がパネルの前に立ち止まってご覧になり、スマートフォンで撮影されている方もいらっしゃいました。

懇談会は、大学代表として松原聡副学長の挨拶、ライフデザイン学部白石弘巳学部長の挨拶に引き続き、唐木重典浦水会会長よりご挨拶をいただきました。その後、株式会社ソーシャルデザインング研究所の人事コンサルタント・櫻井照士氏による就職講演が開催されました。「昨今の就職活動の実情と保護者の関わり方」と題し、就職スケジュールや具体例を取り上げながら採用現場の現状を伝えていただくとともに、保護者としての就職活動への関わり方について、ユーモアを交え

て詳しくお話いただきました。ご父母の皆さまにおかれましては、疑問点について適切に応えられた講演であったと思います。大学側としても、様々な就職支援行事、資格取得のための講座、教員採用試験対策講座、公務員対策講座など学生をサポートできる体制を整えております。就職・キャリア支援室や就職支援室へ早い段階から足を運んで情報を得ることで、納得のいく就職活動ができるようご父母の皆さまからもアドバイスいただけますようお願いいたします。

講演終了後は、各学科・専攻毎に、教員による学科・専攻の説明および個別面談を実施いたしました。ご子息の大学生活や授業での様子、成績、資格取得、就職に関する質問など、教員との面談を通して様々な情報を共有いただけたと存じます。また、キャンパスツアーでは、ライフデザイン学部の特色の一つでもある介護実習室、入浴実習室、保育実習室、音楽実習室、実験工房棟や図書館また体育館、テニスコート、人口芝グラウンドなどの体育施設等、学習環境や学生生活の場をご覧いただきました。

ライフデザイン学部では、東洋大学のスーパーグローバル大学創成支援事業の採択を契機に、グローバルな感性を身につけるため、学部独自の海外研修を実施しています。夏季休暇中に実施した韓国、ドイツでの研修には30名以上が参加していました。外国へ行って異文化に触れることで、日本という国を再認識し、新たな自分の課題も見えたのではないかと思います。また、平成28年度より春季休暇に3週間を使った短期海外語学研修(カナダ、セブ)を計画しています。秋学期には、外国語で行う授業科目を多く開講します。英語に触れる機会が減ってしまう3年生・4年生には特に積極的に履修してもらいたいと思います。

ライフデザイン学部は、「21世紀の生活を考える知と技術の体系」であるライフデザイン学を発展させるため、「学生への教育」「教員の研究」「社会貢献」を三位一体として展開するとともに、専門分野だけでなく幅広く学力を養い、社会に貢献できる人材の育成を目標に取り組んでいます。今後も、少しでも多くのご父母の皆さまに浦水懇談会にご参加いただけるよう、教員・職員ともに浦水懇談会を盛り上げてまいりますので、ご父母の皆さまにおかれましては引き続き、ご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十八年度 支部総会および父母懇談会に参加して

各地の父母懇談会・支部総会に参加して

東洋大学浦水会副会長 櫻井 昌代

今年度の父母懇談会について

父母懇談会は昨年の浦水会改革で、浦水会と大学との「協働」を重要な指針として盛り込み、その中で浦水会と大学との「連携」をより強化するひとつとして浦水懇談会が大学主催の父母懇談会に変わりました。

今年度も6月18日は朝霞・板倉校舎、6月19日は川越校舎、6月26日は白山校舎の三日間に渡りキャンパスでの父母懇談会が実施され、たくさんの会員の皆様にご参加いただきました。平行して行われたキャンパスツアーもキャンパス内の諸施設をご覧いただく良い機会となり好評でした。

6月25日から9月11日にかけては、全国の会場で父母懇談会と同時開催の支部総会が行われ、また単独開催の支部総会も行われました。

今年度は同時開催の父母懇談会・支部総会の昨年の実施状況を見直し、より参加し易いように実施時間帯の変更を行い、今年は午後からのスタートで父母懇談会から開始されました。

各地の会場にはそれぞれ学長、副学長はじめ学部長以上の教授が配置され、個別面談に対応する職員も面談の人数に応じて派遣されました。

父母懇談会は、前半が全体会で大学代表教員による大学の現況説明、続いて就職講演会、成績表履修登録確認表の見方についての説明会がありました。後半には個別面談が実施され、その待ち時間には各教授が積極的にご父母との交流をして下さったり、国際化の推進を積極的に行っている本学の留学制度に関してのお話や、校友会の方の地元就職事情のお話、井上円了先生のお話等、それぞれの形ではありましたが、支部ごとに有意義な時間となっておりました。

参加した支部総会と父母懇談会について

私は、新潟会場（新潟県支部）、宮崎会場（宮崎県支部）、松本会場（長野県支部）、甲府会場（山梨県支部）、熊本会場（熊本県支部、鹿児島県支部）で行われた父母懇談会と同時開催の支部総会、埼玉県中央支部の支部総会に参加させていただきました。埼玉県中央支部は、自分の所属する支部で川越で行われました。

どの会場でも大学職員、浦水会事務局、支部役員の皆様の手際の良い準備、進行により滞りなく実施することができました。また、個人面談も昨

年より細かいところで改善され、スムーズな流れで進めることができました。

支部総会では、出席したどの支部でも支部長の交代がありました。一年生の新役員については、すでに決定している支部、その場で時間を取って新役員の決定をしている支部とありましたが、どの支部も新役員の獲得にはご苦労なさっているということでした。

会員の方の出席は子供を自宅から通わせている会員の支部より、自宅から離れて子供を大学に通わせている会員の支部の方が出席率が高かったようです。やはり、学校の情報、子供の生活の様子も離れていると、何をしているかわからない、大学の成績や就職活動などいろいろな心配や不安を感じていることをお話しを聞いて感じました。

また、今年4月の熊本地震のために熊本会場（熊本支部、鹿児島支部）は予定を変更し、最後の開催となりました。五ヶ月過ぎても復旧、復興途中で、不便な中、また遠くからたくさんの方が出席して下さったこと感謝致します。改めてお見舞い申し上げます。そして、新役員選出でもそんな中快く引き受けて頂いたこと嬉しく思いました。

浦水会改革2年目でまだ見直しをするところがありますが、来年3年目に向けて、更に改善できるところは努力していきたいと思っております。

最後に、会員の皆様には、今回の父母懇談会・支部総会にご理解ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。今後とも、浦水会活動に対して温かいご理解ご協力を賜りますようお願い致します。

三重県・香川県・高知県支部総会および父母懇談会に参加して

東洋大学浦水会常任理事 恩田 実

今年の夏は、リオデジャネイロオリンピックの話題で大変盛り上がったのではないでしょうか。東洋

大学からは5名の選手が日本代表として出場しました。5名の代表選手のうち3名が陸上競技でした。桐生祥秀(100m・400mリレー)ウォルシュ・ジュリアン・ジャミイ(400m・1600mリレー)松永大介(男子20km競歩)の3名です。また、陸上競技部OBから石川末廣・北島寿典(共に男子マラソン)設楽悠太(男子10000m)の3名が出場しました。私は、東洋大学陸上競技部の卒業生です。桐生祥秀選手の400mリレー銀メダル、松永大介選手の7位入賞など、TVのニュース等興奮して見ていました。後輩の活躍を誇りに思います。また競泳、萩野公介選手の男子400m個人メドレー及び内田美希選手の4×100mフリーリレーは、白山校舎井上田了ホールのパブリックビューイングで応援しました。大変興奮しながら応援しました。とても素晴らしい夏の思い出となりました。選手の皆さんご苦労様でした。

さて、大学主催の父母懇談会も2年目を迎える事になりました。父母懇談会は午後1時から午後4時まで。浦水会支部総会は、午後4時15分から午

後5時15分まで、午後5時30分から午後7時まで懇親会としました。

私が参加させて頂いた名古屋市(岐阜、愛知、三重)・徳島市(徳島、香川)・松山市(愛媛、高知)での父母懇談会は、大学現況報告・就職講演・成績表の見方などコンパクトで分かりやすく説明されていました。その後個別面談に入りますが、徳島市、松山市では、個別面談と並行して、教授が1年生から4年生までの履修の仕方や学部としての目標などを細かく分かりやすく説明していただけたのは、とても参考になりました。学生も在学学部の目標や取組をしっかりと理解し、自分の目標目的に合わせた履修習得を目指して大学生活を過ごすことが大切だと思います。

名古屋市では、三重県支部総会に参加しました。東瀬嘉章支部長の挨拶から始まりました。また、東洋大学三重県校友会会長渡辺和己様の挨拶と卒業生の地元就職についての課題や協力についてお話し頂き、参加者は大いに参考になったのではないのでしょうか。総会の議事は滞りなく進行し、全会一致で承認されました。新支部長に居川光太郎様が承認されました。今年一年間よろしく願います。

総会終了後、懇親会が行われました。新支部長の挨拶に始まり、参加者全員の自己紹介と近況報告やお子様の大学生活など情報交換を行いました。大変盛り上がった懇親会で時間があっという間に過ぎてしまいました。

徳島市では、香川県の支部総会に参加しました。越田達夫支部長が引き続き今年度の支部長を引き受けて頂く事になりました。越田支部長よりしくお願ひいたします。総会の議題は滞りなく進行し、全会一致で承認されました。懇親会は徳島県、香川県合同で行われました。

松山市では、高知県支部総会に参加しました。伊藤智支部長が引き続き今年度の支部長を引き受けて頂く事になりました。伊藤智支部長よりしくお願ひいたします。高知県支部から参加されている皆様は、帰るのに大変時間がかかるので懇親会には行いませんでした。参加された高知県支部の皆様、ご苦労様でした。

限りある予算の中で、大学主催の父母懇談会と支部総会を行うことには、無理があります。父母懇談会及び支部総会が少しでも良い取り組みになりますよう、皆様のご協力とご意見を賜りながら今後進めてまいりたいと思います。浦水会会員の皆様のご指導ご鞭撻よりしくお願ひ申し上げます。

各支部総会（岐阜県、鳥取県、群馬県、埼玉県東） および父母総会に出席して

東洋大学浦水会常任理事 砂賀 栄次

6月26日（日）岐阜県支部総会、7月2日（土）埼玉県東支部総会、7月10日（日）鳥取県支部総会、7月31日（日）群馬県支部総会に参加いたしました。父母懇談会、支部総会の同時開催地区では、午後の半日に短縮して実施となりましたが、多くの浦水会の皆様が出席されました。支部役員、浦水会事務局、大学職員の皆様の準備並びに進行により、滞りなく開催できましたことを喜び申し上げます。

父母懇談会では、配布資料とプロジェクトによる大学近況報告に熱心に耳を傾けられていました。

就職講演会については、就職活動のスケジュールが昨年の見直しにより2か月前倒しの8月からと今年度も変わったこともあり、保護者の方々の真剣な様子が伺えました。就職活動における現状の企業側の採用活動に対する大学側の取り組み等、大変参考になりました。

成績表、履修登録確認表の見方の説明の後、個別面談となりましたが、成績だけでなく、就職についても、相談したい方がいらして、大学職員の方々が臨機応変に対応していました。

今年の就職活動、企業側の採用活動は、学生の

業界研究や企業分析が満足にできなかった等の声はありましたが、内定等は早くから始めていたようです。就職活動の準備は、まず自分自身を知り、業界研究や企業分析により学生自身が満足のいく結果が得られるように早めの準備を進められたらと願います。そのためにも、白山、川越、朝霞、板倉の各キャンパスに就職支援、学生生活支援の窓口もありますので、上手に活用していただけたらと思います。

支部総会におきましては、各支部役員の皆様、早くから集まり支部総会の準備を進められ、平成27年度事業報告、決算報告、平成28年度事業計画（案）、予算（案）、新役員（案）等が滞りなく賛成多数により承認されました。

各支部の事業報告・計画において全日本大学駅伝大会応援（岐阜県支部）、出雲駅伝応援（鳥取県支部）、箱根駅伝応援（埼玉県東支部）等、各支部が地域に根差した駅伝応援をされています。

就職説明会（鳥取県支部、群馬県支部、埼玉県東支部）、校友会との交流等、様々な活動を推進されています。

また、大学行事への参加や浦水会役員募集等についても、様々な取り組みをされています。限ら

れた予算の中で浦水会活動を推進され、ありがとうございます。今年度、諸規定集の改定により就職講演会等についても、援助金が申請できるようになりましたので、学生のための支援（各種スポーツ応援）、就職支援について、お役立て頂ければ幸いです。

ところで、今年の父母懇談会、支部総会への出席者が昨年に比べて減っているように思われます。私の所属する埼玉県東支部でも、減っています。

参加率向上や役員増員のため、支部行事の広報誌、各行事におけるアンケートや各行事案内と併せて役員募集等に取り組んでいます。支部総会、各行事への参加者や支部役員の参加者も少なく、特に1、2年生の保護者の役員が増えていません。まずは、支部総会、各行事への参加者の増員が急務かと思われれます。アンケートや支部総会への参加者の声からは、支部総会に、就職講演会を同時開催する事により、集客力が高まるようです。

Webやメールによる申込方法はコスト、集計・名簿作成等の作業効率からみて主催者側には有効であると思います。しかし、参加者側から見た時に、返信葉書による申込も含めて多くの選択肢があつたほうが良いのではないかと思います。

最後に支部総会、父母懇談会について、地域により様々な特徴や事情があり、開催場所の選択然り、開催日時の選択然り、全員が納得のいくものはなかなか難しいと思います。皆さまとの協働のもと、より良い支部総会、父母懇談会となることを願っております。

甫水会支部総会及び父母懇談会に参加して

東洋大学甫水会常任理事 峯松 益幹

本年度の甫水会支部総会、父母懇談会は、大学教職員、支部役員の皆さまの並々ならぬご協力が有って、無事に終了できましたことを、まず感謝申し上げます。

昨年より父母懇談会は大学主催に変わり、初年度の試みということもあり、「午前中から夕方まで拘束時間が長過ぎる」「個人面談の待ち時間が長い」などのお叱りも受けました。

今年は懇親会を持つ支部はその直前に支部総会、そしてその前に父母懇談会と、スケジュールを連接させることで、半日「拘束」で済ませることが出来るよう改善した支部が多くなりました。

その一方、関東近辺と地方とでは父母懇談会の持ち方に違いがあり、参加申込先に混乱が有りましたことをお詫びしつつ、来年度への改善課題として取り組みたいと考えております。

本年度の甫水会支部総会・父母懇談会に私は計5支部に出席させていただきました。

特に、地方開催3支部の父母懇談会では、個人面談の待ち時間に、本学教員の先生方が参加され

た保護者全員に、個々に名刺をお渡しして御挨拶されておられた、そのお姿には頭の下がる思いでした。

保護者の皆さんにとつての関心事といえば、大学の近況、就職関連、お子様の学業に関することと言えるでしょうか。

父母懇談会では、特に就職に関する面談も設定されており、好評にご利用されておられました。

1年に1度の父母懇談会ではありますが、大学も懸命に、学生と私も保護者のことを考えて動いておられることが、出席して初めて体感出来ます。

今回、実際に私も参加させていただいて、特に地方支部の親御さんの、親元から離れて暮らしておられるお子様へのご心配を持たれる愛情溢れるお気持ちがよくわかりました。

学費(奨学金)、下宿費用、食費、健康状態、学業、クラブ等諸活動、交友関係とご心配ことも多く、親心とは申しても、たいへんなご苦勞をされておられるご様子です。

併せて、本学での大学生活への大きな期待を強

く身に染みて感じた次第です。

甫水会支部総会には、校友会・卒業生の方もご参加いただいております場合が多く、お子様の地元での就職についてぜひ応援したいという熱意を感じました。

各県の支部総会は、総じて、総会参加者の確保・役員継承・日常的な甫水会活動のありようについては、お悩みも多々有るよう受けとめましたので、支部活動の活性化に向けて本部と共にいっそう奮闘してまいりましょう。

甫水会後の懇親会では、学年を越えて、参加者同士のコミュニケーションを図る貴重な機会になつておりますことがとても印象深かったです。

さて、今年は間近に開催が迫るリオ五輪(本学関係8人出場)への期待に、胸膨らむ場ともなりました。後に、萩野選手、桐生選手らの大活躍で、参加された皆さまにとつても今年の父母懇談会・支部総会は忘れえぬものとなったように思います。ぜひ、来年度も、多くの方々に、父母懇談会・甫水会支部総会にぜひ、ご参加いただきますよう、心からお誘い、お勧めいたします。

最後に、支部長をはじめ支部役員の皆さま、大学教職員の皆さまのご尽力・ご苦勞にあたためて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

甫水会支部総会および父母懇談会に参加して

東洋大学甫水会常任理事 小田 直子

私は、7月3日(日)大阪会場・和歌山県支部、7月16日(土)千葉県東支部、8月21日(日)山口会場・山口県支部の父母懇談会(個別面談)・支部総会に参加させていただきました。

父母懇談会が大学主催となりました2年目、昨年とは時間の使い方が変更となり、お昼過ぎに会場入りし、まずは大学主催の父母懇談会、就職説明会、個別面談と続き、それらが終了した後、甫水会支部主催の総会が行なわれる、というスケジュールでした。和歌山支部も山口支部も学生数・会員数が少ない中、遠方より時間をかけてお集まりいただき、感謝の念に堪えません。

大阪会場となりましたホテルでは(阪奈支部、京都滋賀支部との3支部合同)、男・女とも化粧室に「東洋大学関係者の皆様へ：猛暑の中、利用して下さり感謝します。より良い会議となりますように。」というステキなウェルカムカードが飾られ、心癒されました。

大学現況説明・就活について等、ご父母の方々

は皆メモを取りながら熱心に聞いておられました。個別面談は、パーテーションで仕切られた中で複数の方が順番に一度に面接し、ご子女の成績や履修状況等、詳しく話を聞いたり、質問し回答を受けたりなさっていました。和歌山県支部総会に移りますと、活動や会計報告、新役員の選出、新年度の活動や予算発表等、議事進行もテキパキとなされました。東京まで飛行機で1時間ほどの和歌山、本部主催の「会員の集い・就職フォーラム」への参加意識が高いように思いました。

山口会場でも猛暑の中、広島・山口の2支部合同で大阪会場と同様に開催され、ご父母の方々は熱心に聞かれたり、ご子女の学生生活について納得されたりしていました。支部総会も同様に議事進行がスムーズでした。山口県は本州で一番西端で東京からはかなり離れています。親子が実際に会うことは少なく、パソコンのスカイプ等、無料TV電話で連絡を取り合うこともあるそうです。また、中国地方は各県支部同志や校友会との交

流・連携も密で深く、「出雲駅伝応援ツアー」等を通じて更に関係が濃いものとなっているようです。

千葉県東支部は首都圏ですので独自のスケジュールで支部総会・就職説明会が開催されています。ここ2年ほど就活時期が動いていてご子女もご父母も不安や心配が尽きません。「親として就活にどう向き合っていけばいいのか」という思いで参加されていました。

いずれの会場もアットホームな温かい雰囲気、支部役員の方々とは事前準備・当日の会場での支援・資料配布を含む議事進行等々、活躍されていました。個別面談希望の方も多く、また就活についての面談も当日その場で申し込み、行われましたが、そちらも希望者が多かったです。どこに居住の地があるかと、ご子女に関する心配や悩みは親心として同じです。共感します。同様に、スーパーグローバル大学に採択された本学への期待感・関心も高いこと、甫水会へのご協力の思いの大きいことを実感し、改めて「私はいろいろな方と出会い、話をし、成長させていただいて」幸せに感じています。感謝致します。

これからも、本部と各支部との皆様の関係が深くなるための「懸け橋」となれるよう、微力ではありますが努力していきます。よろしくお願い致します。

甫水会支部総会および父母懇談会に参加して

東洋大学甫水会常任理事 奥澤 敬子

本年度、初めて常任理事として、甫水会各支部総会、大学主催の父母懇談会に参加させていただきました。

私には子供が三人おりますが、各々大学が異なり、東洋大学に通っており、法学部2年生であります。まず、東洋大学には、甫水会という五十七年の歴史のある父兄会があることに驚きました。他の二人の大学にも歴史ある校友会はありましたが、ここまで大学と連携し積極的に活動する父兄会はありませんでした。

甫水会の目的は、『東洋大学学生の父母または、保護者相互間の連絡を密にし、大学の興隆発展に協力するとともに、大学と協力して学生の心身の健全な発達を図ること』その為に、甫水会は、大学との協働、連携を基本方針として事業を展開している。

冊子等で、この内容を読んでも、詳しい活動内容までは1年間の栃木支部役員としても活動だけでは、見えてはいませんでした。

今年、常任理事として5支部の支部総会等に参加させていただき、改めて、甫水会存続の意義の素晴らしさに感銘を受け、と同時に、子どもを東洋大学に入学させて本当に良かったと思いました。各支部総会や、支部懇親会、大学主催の父母懇談会に参加させていただいた事で様々な事に気づか

され、貴重な体験をさせて頂きましたので、そのご報告を致します。

今回は、7月2日に岡山県支部、7月3日に京都府・滋賀支部、7月24日に栃木県支部、8月28日に釧路支部、9月4日に青森県支部に出席致しました。

各支部とも事業報告、決算報告、事業計画、事業予算がしっかりとなされていました。又、会員の事業への参加率を上げる為に、色々な工夫がありました。交通費の援助をしたり、支部役員だけで、ラインなどで、グループを作り、情報の共有をしたり、インカレや駅伝等の応援ツアーや白山キャンパス等の校舎見学などを企画したり、地域のキャリア支援課とタイアップして、就職説明会を企画したりと、地域の特色を活かした魅力ある事業の展開をしていました。熱心に活動なされている姿が印象的でした。会員数には開きがあるものの役員様方のきめ細やかな配慮がなされ、そのご苦労には、誠に頭が下がりました。

また、総会は、地元での開催にして欲しいとの意見もございました。他、今回の総会の案内がわかりづらかったとの指摘を受けました。成績表と一緒に郵送された点、字が細かすぎる点等々。面談を待っている時間をもう少し有効利用

ができないか？との意見もありました。これらのご意見は、来年の課題として、真摯に受け止め、検討して参りたいと思います。

大学主催の父母懇談会は、卒業生・甫水会連携推進室の方の司会進行のもと、大学の代表者より大学の現状紹介があり、就職・キャリア支援課の職員の方からは、就職戦線の現状と取り組み方について、教務部の方からは、成績表と履修登録確認表の見方の説明がありました。どの内容も手元に資料が配られ、プロジェクターを使用し、とてもためになる内容でした。その後、個別面談となるわけですが、予め、出席申込書に記載したご子息に関する相談内容を教職員の方々が、詳しく丁寧に調べて頂いたようです。どの会場でも大好評でした。特に遠方に下宿させていると、食事や健康状態、交友関係や学業の事など、心配は尽きる事無く、その件についても調べて頂いたと感服してお話してくださいました。

今回ご出席頂けなかったご父兄の皆様、次回は、是非ご出席下さい。大学やご子息の様子等、色々な情報を体感する事ができます。会員の皆様との交流も深まります。それが、何より安心につながるのではないのでしょうか。

最後になりますが、運営をして頂きました教職員の方々、各支部総会に参加されましたご父兄の皆様、沢山の事を教えて頂きました。本当にありがとうございました。

高知県支部総会および父母懇談会に参加して

甫水会高知県支部長

伊藤 智

平成二十八年度高知県支部総会は、甫水会高知県支部初めての愛媛県松山市における総会となりました。平成二十六年度の東洋大学甫水会の大改革にともなう二県合併での総会となったからです。

以前に、衆議院選挙における0増5減の対象となった高知県、参議院選挙で徳島県と初の合区となった高知県、東洋大学甫水会には、愛媛県と合区とされてしまいました。人口の少ない県、甫水会会員の少ない県は、さみしいものです。ただし、大規模支部でも合同開催が流行りのようです。

自宅から、車で四時間かけて松山市の総会会場まで足を運ばなくてはならなくなった、一會員の愚痴も聞いてもらいたいです。

三番目の子供が東洋大学でお世話になった時、この大学も楽しい父母会はあるのかなと、思いつつ初めての総会に参加させていただきました。

長男、長女とも東京の大学に進み、それぞれの父母会の活動に参加させていただきました。多くの方と知り合いとなることが出来、今だに連絡を取り合っている方もいます。

初めて甫水会高知県支部総会に参加した時、会長さんが役員候補の選任に苦労していました。私も同じ思いで、結局、高知県支部長として三年目を迎えてしまいました。今回も新会長を迎えられず、私の不徳の致すところです。

平成二十八年八月二十一日に松山市のホテルサンルート松山におきまして、高知県支部総会は開催されました。現会員数は五十一名ですが、参加したのは、四世帯六名でした。少しでも参加しやすいようにと、一世帯につき七千円の往復バス代金の助成を行いました。それでも遠方のせいか四世帯にとどまりました。

午後一時より予定どおり地区別父母懇談会が開催されました。進行は甫水会・卒業生連携推進室の深沢課長に進めていただき、東洋大学の概要及び現況説明は小川教授が行いました。キャリア支援室からは、「昨今の就職活動の実情と保護者のかかわり方」について多くの情報をいただきました。

総会は父母懇談会終了後に開始しました。支部長のあいさつの後、来賓として常任理事の恩田実

さんからご挨拶をいただきました。恩田さんは、ご自身も東洋大学卒業生で、今回は徳島県での総会と松山市での総会に参加されたとのことでした。

総会議案書の通り、平成二十七年事業報告、決算報告を承認いただきました。続いて、平成二十八年度事業計画案、予算書案を承認いただきました。役員改選につきましては、六月二十六日に開催した役員会におきまして原案を作成しておりましたので、事務局案として提案を行い、原案どおり承認いただきました。来年度は、副支部長さんが会長を務めていただくことが決まりましたので、一安心しております。

六月の役員会には、新一年生の父母を事業説明会として、案内をかけました。一名しか出席できませんでしたが、役員を引き受けていただきましたので、先の役員候補者が増えたことが何よりの収穫となりました。

高知県は遠方で小さい支部ですので、学生のための独自の事業を行うことが出来ないのが現状ですが、駅伝や野球、吹奏楽等文化活動に応援に行かれるご父兄に対しては、僅かながらの助成を行って、少しでも参加しやすい環境づくりに取り組んでいます。

今後とも、学生のためになる応援と甫水会のさらなる発展をご祈念申し上げます。

北見支部総会および父母懇談会に参加して

甫水会北見支部前支部長 大坪 昌広

今年の七月に支部総会を開催し、無事甫水会を卒業させていただきました。甫水会の会期が年度をまたぐため、娘は三月に卒業しましたが、私は七月まで支部長を務めさせていただきました。

一年目に名前だけで妻に任せっきりの監査、二年目に副支部長、三年目に支部長、四年目も図々しく？支部長と、ふり返ってみますと四年間何かしら役員を務めていました。しかし、本当に名前だけの役員で何もできず、支部会員の皆様や甫水会本部の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。誌面をお借りしてお詫び申し上げます。

支部総会と父母懇談会に参加した報告をとのことですが、今年度の報告というよりも四年間を通しての感想や意見を述べさせていただきますと思います。

はじめて甫水会のことを知った時、大学にもいわゆるPTAのような会があることに大変驚きました。けれども、支部総会や父母懇談会に参加して、会員同士が交流することができ、また大学の先生や担当者や娘のことや就職のことなどについてお話しできることは大変有意義なことと

感じました。

私は私立高校に勤めているので、保護者からPTA活動の良さを伺うことがありました。近年は一世帯あたりの子どもの人数は一人から二人と少なく、子どもを育てていく上での情報に乏しく不安に思われている保護者が増えているようです。一人目の子どもを育てて行く時には、全てが初めてですから本当に大変です。ですから、学校のことや進路のこと、子育てに関することについて他の保護者や学校の先生方とお話してできることはとてもありがたいとのことでした。

大学ともなると、子どもが親元から遠く離れて一人暮らしする方が多いと思います。子どもに対しては、過干渉あるいは放任のどちらにもならぬよう適度な距離で見守るしかありませんが、その際に親同士が情報交換したり、大学の教職員の方にいろいろと聞くことができるのは、とても心強いことです。

年に一度の支部総会と父母懇談会ですが、それがあるのとないのでは大きく違います。

私が支部長になって初めて全国支部長研修会

に出席した時、いきなり甫水会の改革や支部の再編・統合のことや、大学主催の父母懇談会と甫水会主催の支部総会の開催方法が変わることなどを聞き、戸惑いを覚えたことを思い出します。

甫水会を卒業するにあたり、一つお願いがあります。道内各地に支部がありますが、以前は各支部の総会と父母懇談会を同時開催しておりました。今年度から札幌でのみの父母懇談会となり、各支部総会も札幌で開催することを基本とされました。北海道の特殊性から、札幌までの距離が遠く時間と経費がかかり、会員の負担が大きいため集まりが困難です。そのため、わがまを言っていて北見支部では今年の総会を別日に開催しました。唐木会長様や本部の皆様にはご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。私個人の考えですが、できましたら隔年あるいは三年に一度でも構いませんので、支部総会と父母懇談会を地元で開催していただきたいと思います。様々なことを考慮して現在に至ったことと思いますが、ご検討いただけると幸いです。

最後に勝手なことを申し上げますみませんでしたが、四年間、娘とともに大変お世話になりましたことを深く感謝いたします。

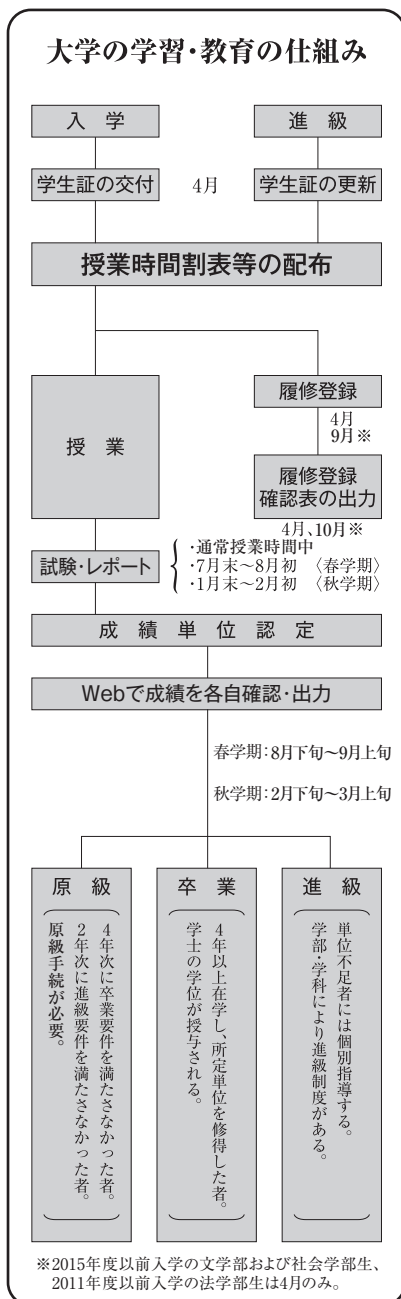
東洋大学と東洋大学甫水会のますますのご発展とご活躍をお祈り申し上げます。どうもありがとうございました。

大学事務局から

●大学の教育・学習の仕組み●

大学の教育システムは学部や学科ごとに「教育課程表」(カリキュラム)があり、学生はこの教育課程表に基づいて学修することになります。教育課程表には卒業までに修めるべき要件や1年間(1セメスタ)に履修できる単位数、条件等が設定されており、卒業にはその条件等を満たす必要があります。

教育課程表に掲げられた授業科目は、年度ごとに「授業時間割表」として大学から学生に提示されます。学生は「教育課程表」と「授業時間割表」に基づいて学修計画を立て、「自分自身の時間割」を作成することになります。学生が自由に選んで学修できる選択科目が豊富に開講されていますので、各学生の「授業時間割」は同学年・同学科の学生であつても、十人十色といつても過言ではありません。つまり、学生自身の自主性が重んじられることになります。



「文・経済・経営・法・社会・国際地域学部」

教務部

■大学の授業

大学の授業は、1年間で春学期(4月～9月)と秋学期(10月～3月)の2つの学期に分けて実施され、半年ごとに履修登録(注)を行い、成績評価を行う制度のことを「セメスタ制」と呼んでいます。現在、東洋大学もこの方式を採用しており、卒業までに8つのセメスタで授業と成績評価を受ける必要があります。

(注)2015年度以前入学の文学部および社会学部生、2011年度以前入学の法学部生は年1回。

成績評価の方法は、毎回の授業に出席することは勿論のこと、学期末の定期試験のほか、授業中にテストを行う、レポートの提出を求めるなど、授業科目及び担当教員により異なっています。

■修得単位数の目安

1年間の標準的な修得単位数は、35単位から40単位「各学期(セメスタ)で18～20単位」程度です。

白山キャンパス (2016年度)

1時限	9:00～10:30
2時限	10:40～12:10
3時限	13:00～14:30
4時限	14:45～16:15
5時限	16:30～18:00
6時限	18:15～19:45
7時限	19:55～21:25

■諸資格

大学では卒業に必要な科目のほかに、教員になるための教職課程や学部・学科の特性を生かした諸資格取得のための科目も開講しています。特に、本学では教職課程に力を注ぎ、多くの科目を開講し実力養成に努めています。教員になるための履修手続・相談等は各学部教務課で行います。

しかし、卒業要件のほかに諸資格関係の単位を修得することは、授業時間割の組み方など難しい点が多いので、希望者は1年次からしっかりと目標とそれに沿った学修計画をもって努力することが大切です。

授業科目と単位

授業科目は大別すると基盤教育科目と専門教育科目に分けられます。また、卒業単位にはなりません、教員になるための教職課程科目があります。

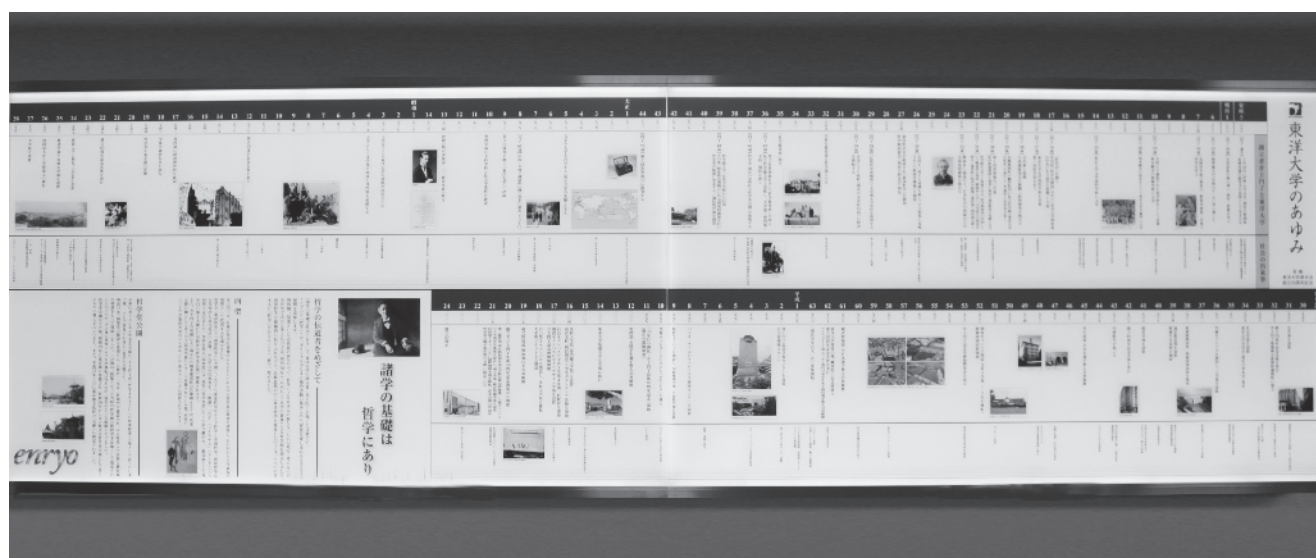
さらに、授業科目は①必修科目②選択必修科目③選択科目④他学部他学科開放科目に区別され、履修できる年次(学年)が指定されるなど、ステップアップしながら体系的な学修ができるように配慮されています。

①必修科目とは卒業要件として必ず修得しなければならない授業科目、②選択必修科目とは特定の科目群(グループ)の中から所定の科目数(単位数)を選択し修得することが卒業要件になっている授業科目、③選択科目とは任意に選択でき修得単位を卒業要件の単位数に算入する授業科目となります。

また、④他学部他学科開放科目とは『学生が所属している学部・学科の教育課程表に記載されていない他学部などの授業科目』で、卒業単位として算入されます。他学部他学科開放科目は各学科・コースの専門科目と併せて学修することで、より視野の広がった学修が可能になります。



総合スポーツセンター(板橋)



白山6号館連絡通路「年表 東洋大学のあゆみ」雨水会創立50周年記念寄贈

入学年度別課程表

文学部 2008～2011年度入学生

学 科 科目区分		第 1 部									第 2 部		
		哲	インド 哲	哲学 中国 文学	日本 文学 文化	英米 文	史	(人 間 発 達 育)	(初 等 教 育 育)	英語 コミ ュニ ケー ション	インド 哲	日本 文学 文化	教 育
共通総合科目		12～	16～	16～	16～	14～	16～	16～	16～	16～	16～	①	16～
文学部 共通 科目	文学部教育												
	文学部基礎専門科目												
	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 日本語	16	8	4	12	8 6	4 4	8 4	8 4	10～	4		4
	諸資格関連科目	①		①		①						①	
	キャリア教育												
小計		16～	16～	14～	18～	20～	18～	16～	16～	14～	16～	②	16～
専門 科目	必修科目	34	32	36	14	30	38	32	48	42	12	14	32
	選択必修科目	30～	44～	42～	56～	18～	8～	①	14～	40～	58～	56～	①
	選択科目	24～				16～	24～	42～	20～				42～
小計		88～	76～	78～	70～	64～	70～	74～	82～	82～	74～	70～	74～
卒業必要単位数		124											

●第2部日本文学文化学科:①と②の合計で34単位以上 ●①設定なし ●②留学生科目

文学部 2012～2015年度入学生

学 科 科目区分		第 1 部									第 2 部					
		哲	思想 東洋 文化	インド 哲	哲学 中国 文学	日本 文学 文化	英米 文	史	(人 間 発 達 育)	教 育 (初 等 教 育)	英 語 「ミ ニ マ ム」 ケー シ ョ ン	思想 東洋 文化	インド 哲	日本 文学 文化	教 育	
共通総合科目		12～	16～	16～	16～	16～	14～	16～	16～	16～	16～	16～	16～	①	16～	
文学部 共通 科目	文 学 部 教 育															
	文学部基礎専門科目															
	英 語	16	4	4	4	12	8	4	8	8	10～	4	4	4	4	
	ド イ ツ						6	4		4						4
	フ ラ ン ス						①									
	中 国 語	①														
日 本 語													①			
諸資格関連科目	資 格 関 連 科 目															
小 計	キ ャ リ ア 教 育															
専門 科目	必修科目	16～	16～	16～	14～	18～	20～	18～	16～	16～	14～	16～	16～	②	16～	
	選択必修科目	34	34	32	38	14	30	26	32	48	42	34	12	14	32	
	選択科目	30～	20～	44～	42～	54～	18～	20～	①	14～	40～	20～	58～	54～	①	
	小 計	24～					16～	24～	42～	16～					42～	
卒業必要単位数		88～	74～	76～	80～	68～	64～	70～	74～	82～	82～	74～	74～	68～	74～	

●第2部日本文学文化学科:①と②の合計で34単位以上 ●①設定なし ●②留学生科目

※第1部東洋思想文化学科と第2部東洋思想文化学科は、2013年度以降入学生

文学部 2016年度以降入学生

学 科 科目区分		第 1 部							第 2 部						
		哲	東洋思想 文化	日本文学 文化	英米文	史	教 育 (人間発達)	教 育 (初等教育)	英語「ミニ ケーション」	東洋思想 文化	日本文学 文化	教 育			
基礎教育	哲学・思想 学問の基礎	2～	2～	2～	2～	2～	2～	2～	2～	2～	2～	2～			
	国際人の形成														
	キャリア・市民形成	2～	2～	2～	2～	2～	2～	2～	2～	2～	2～	2～			
	総合・学際 留学支援科目														
	小計	12～	16～	16～	14～	16～	16～	16～	16～	16～	㊦	16～			
文学部基礎科目	文学部教育														
	文学部基礎専門科目														
	国際 コミュニケーション 科目	英語	16	4	4	12	8	4	8	8	10～	4	4		
		ドイツ語					6	4		4				4	4
		フランス語													
		中国語													
	日本語	㊦				㊦					㊦				
	諸資格関連科目														
	キャリア教育														
	小計	16～	16～	18～	20～	18～	16～	16～	14～	16～	㊦	16～			
専門科目	必修科目	34	34	18	36	26	32	48	42	34	18	32			
	選択必修科目	30～	20～	56～	28～	20～	㊦	14～	40～	20～	56～	㊦			
	選択科目	24～			12～	24～	42～	16～				42～			
	小計	88～	74～	74～	76～	70～	74～	82～	82～	74～	74～	74～			
卒業必要単位数		124													

●第2部日本文学文化学科:①と②の合計で34単位以上 ●①設定なし ●②留学生科目

入学年度別課程表

■経済学部 2008～2011年度入学生

学 科		第1部経済	国際経済	総合政策	第2部経済
科目区分					
一般教養科目	教 養 科 目	12	12		
	他学部開放科目				
	英 語	16	8	16	
	ドイツ語		8		
	フランス語		8 ^②		
	中 国 語		8 ^①		
小 計		28～	40～	24～	16～
専門科目	必修科目	20	22	38	6
	選択科目A	54 ^③	46	46	10
	選択科目B				56
	小 計	74～	68～	84～	72～
卒業必要単位		124			

- ①1年次配当科目→1か国語8単位
 ②2年次配当科目→1年次履修言語から1か国語8単位
 ③3・4年次配当科目36単位以上を含む

〔専門科目〕と〔一般教養科目・基盤教育科目〕で最低条件を修得した場合、卒業要件124単位までの残り単位を、選択科目A、選択科目B、一般教養科目・基盤教育科目の中から自由に選択できます。

■経済学部 2012～2015年度入学生

学 科		第1部経済	国際経済	総合政策	第2部経済
科目区分					
基盤教育科目	共通教養科目				
	社会人基礎科目	12	12		
	留学支援科目	①	①		
	他学部開放科目			16	16
	英 語	8		③	①
	ドイツ語		14		
専門科目	フランス語		②		
	中 国 語				
	小 計	20～	26～	16～	16～
	必修科目	20	20	38	8
専門科目	選択科目A	54 ^④	46	46	10
	選択科目B				54
	小 計	74～	70～	84～	72～
卒業必要単位		124			

- ①共通教養科目(哲学・思想分野から選択必修2単位を含む)
 ②1年次配当科目→「英語I」4単位および「ドイツ語I」、「フランス語I」、「中国語I」の中から1か国語4単位必修
 2年次配当科目→「英語IIA」2単位および「ドイツ語IIA」、「フランス語IIA」、「中国語IIA」の3か国語から1か国語2単位選択必修、「英語IIB」、「ドイツ語IIB」、「フランス語IIB」、「中国語IIB」から2単位選択必修
 ③語学系科目英語の必修8単位を含む
 ④3・4年次配当科目36単位以上を含む

■経済学部 2016年度以降入学生

学 科		第1部経済	国際経済	総合政策	第2部経済
科目区分					
基盤教育科目	哲 学 ・ 思 想				
	学 問 の 基 礎				
	国際人の形成				
	キャリア・市民形成				
	総合・学際	12	12		
	留学支援科目	①	①		
専門科目	他学部開放科目			16	16
	英 語	8	8	③	①
	ドイツ語		6		
	フランス語		②		
専門科目	中 国 語				
	小 計	20～	26～	16～	16～
	必修科目	20	12	36	8
	選択科目A	54 ^④	56 ^⑤	38 ^⑥	46 ^⑦
卒業必要単位		74～	72～	84～	72～
卒業必要単位		124			

- ①哲学・思想分野から選択必修2単位を含む
 ②1年次配当科目:ドイツ語、フランス語、中国語の中から1か国語4単位選択必修 2年次配当科目:ドイツ語、フランス語、中国語の中から1か国語2単位選択必修
 ③語学系科目英語の必修8単位を含む
 ④3・4年次配当科目36単位を含む
 ⑤選択必修科目12単位を含む
 ⑥選択必修科目6単位を含む
 ⑦選択必修科目10単位を含む

■経営学部 2008～2011年度入学生

学 科		第1部経営	マーケティング	会計学	第2部経営
科目区分					
一般教養科目	人間探究分野				
	英 語	8	8	8	
	ドイツ語				
	フランス語				
	中 国 語				
	スポーツ健康科学分野				
専門科目	情報分野				
	他学部他学科開放科目				
	教 職 科 目				
	留学支援科目				
小 計		24～	24～	24～	24～
専門科目	必修科目	2	2	2	
	基礎科目	10	10	10	6～
	選択科目	60～	60～	60～	78～
	経営学部内他学科科目				
小 計		80～	80～	80～	84～
卒業必要単位		124			

■経営学部 2012～2015年度入学生

学 科		第1部経営	マーケティング	会計学	第2部経営
科目区分					
基盤教育科目	共通教養科目				
	社会人基礎科目				
	英 語	8	8	8	
	ドイツ語				
	フランス語				
	中 国 語				
専門科目	情報分野				
	他学部他学科開放科目				
	教 職 科 目				
	留学支援科目				
小 計		24～	24～	24～	24～
専門科目	必修科目	2	2	2	
	基礎科目	10	10	10	6～
	選択科目	60～	60～	60～	78～
	経営学部内他学科科目				
小 計		80～	80～	80～	84～
卒業必要単位		124			

■経営学部 2016年度以降入学生

学 科		第1部経営	マーケティング	会計学	第2部経営
科目区分					
基盤教育科目	哲 学 ・ 思 想	2～	2～	2～	2～
	学 問 の 基 礎				
	国際人の形成				
	キャリア・市民形成				
	総合・学際				
	必修	4	4	4	
専門科目	選択必修	4	4	4	
	ドイツ語				
	フランス語				
	中国語				
専門科目	日本語(留学生用)				
	他学部他学科開放科目				
	教 職 科 目				
	留学支援科目				
小 計		24～	24～	24～	24～
専門科目	必修科目	2	4	2	
	基礎科目	10	10	10	6～
	選択科目	16～	10～		
	コア科目	60～	60～		
専門科目	経営学部内他学科科目				
	選択科目				
	選択科目				
	経営学部内他学科科目				
小 計		80～	80～	80～	84～
卒業必要単位		124			

入学年度別課程表

法学部 2008～2011年度入学生

学 科 科目区分		第1部		第2部
		法 律	企 業 法	法 律
一般教養科目	人間探究分野	12	12	
	文化間コミュニケーション分野(外国語)	10 *	10 *	
	スポーツ健康分野			
	情報分野	—	—	
	学部留学科目			
	小 計	28以上		
専門科目	必修科目	①24 ②32	24	12
	選択必修科目	①20 ②16	③24 ④18	4
	選択科目	①28 ②24	③24 ④30	56
	小 計	72以上		
法学部内他学科開放科目				—
法学部1・2部相互聴講科目		—	—	
専門開放科目(他学部他学科開放科目)				—
他学部他学科開放科目		—	—	
留学支援科目(英語特別教育科目)				
教職科目(一部分)				
卒業必要単位数		124以上		

①公共政策コース ②法職コース

③企業法務コース ④国際企業コース

*1年次英語4単位・第2外国語4単位必修、2年次2単位必修

※上記コースは、1年次に希望調査を実施し、2年次から各コースに分かれて履修します。(2011年度以前入学生の第1部のみ)

法学部 2012～2015年度入学生

学 科 科目区分		第1部		第2部
		法 律	企 業 法	法 律
基盤教育	共通教養科目	必修2 10	必修2 10	必修2
	情報科目	—	—	
	スポーツと健康			
	社会人基礎科目			
	文化間コミュニケーション科目(外国語)	10 *	10 *	
	学部留学科目			
専門科目	必修科目	16	16	8
	選択必修科目	32	A群24 B群8 C群4	8
	選択科目			
	小 計	72以上		
法学部内他学科開放科目				—
法学部1・2部相互聴講科目		—	—	
専門開放科目(他学部他学科開放科目)				—
他学部他学科開放科目		—	—	
留学支援科目(英語特別教育科目)				
教職科目(一部分)				
教科科目		—	—	
卒業必要単位数		124以上		

*1年次英語4単位・第2外国語4単位必修、2年次2単位必修

法学部 2016年度以降入学生

学 科 科目区分		第1部		第2部
		法 律	企 業 法	法 律
基盤教育	哲学・思想	必修2	必修2	必修2
	学問の基礎			
	国際人の形成			
	キャリア・市民形成			
	総合・学際			
	文化間コミュニケーション科目(外国語)	10 *	10 *	—
専門科目	必修科目	16	14	8
	選択必修科目	32	40 A群 B群8	8
	選択科目			
	小 計	72以上		
法学部内他学科開放科目				—
法学部1・2部相互聴講科目		—	—	
専門開放科目(他学部他学科開放科目)				—
他学部他学科開放科目		—	—	
教科科目		—	—	
卒業必要単位数		124以上		

*1年次英語2単位・第2外国語4単位必修、2年次2単位必修

社会学部 2008～2011年度入学生

学 科 科目区分		第1部					第2部	
		社 会	シ ス テ ム 文 化	社 会 福 祉	メ デ ィ ア シ ョ ン	社 会 心 理	社 会	社 会 福 祉
共通総合科目	人間探究分野	4	4	4	4	4		
	人文社会総合	4	4	4	4	4	20	20
	健康分野							
	実技講義							
	文化間コミュニケーション分野							
	英語	12	12	12	12	12	—	—
専門科目	必修	28	20	16	20	28	26	18
	選択必修	24	28	32	34	20	8	14
	選択必修	14	14	14	14	14	(選択)	(選択)
	小 計	80	76	76	82	76	62	58
卒業必要単位数		124						

社会学部 2012～2015年度入学生

学 科 科目区分		第1部					第2部	
		社 会	シ ス テ ム 文 化	社 会 福 祉	メ デ ィ ア シ ョ ン	社 会 心 理	社 会	社 会 福 祉
基盤教育	哲学・思想	2	2	2	2	2	2	2
	自然・環境・生命	4	4	4	4	4		
	日本と世界の文化・歴史							
	現代・社会							
	スポーツと健康							
	総合文化間コミュニケーション	4	4	4	4	4		
専門科目	必修	30	20	16	20	30	26	22
	選択必修	4 A 18	28	24	34	20	4 4 —	10
	選択						28	26
	小 計	52	48	52	54	50	62	58
学部共通科目		必修	14	14	14	14	—	—
学部共通科目		選択必修	14	14	14	14	—	—
学部共通科目		小 計	28	28	28	28	—	—
キャリア形成科目								
専門開放科目(他学部他学科開放科目)								
第1部・第2部相互聴講科目								
卒業必要単位数		124						

社会学部 2016年度以降入学生

学 科 科目区分		第1部					第2部	
		社 会	シ ス テ ム 文 化	社 会 福 祉	メ デ ィ ア シ ョ ン	社 会 心 理	社 会	社 会 福 祉
基盤教育	哲学・思想	2	2	2	2	2	2	2
	学問の基礎							
	国際人の形成							
	キャリア・市民形成							
	総合・学際							
	小 計	24	24	24	24	24	20	20
専門科目	必修	28	16	24	16	26	24	20
	選択必修	A 8	4	24	34	8	2	2
	選択必修	B 16	8			20	4	10
	小 計	52	48	48	50	54	62	58
学部共通科目		必修	12	8	6	12	—	—
学部共通科目		選択必修①		2			—	—
学部共通科目		選択必修②		12			—	—
学部共通科目		小 計	26	22	20	26	—	—
キャリア形成科目								
専門開放科目(他学部他学科開放科目)								
第1部・第2部相互聴講科目								
卒業必要単位数		124						

入学年度別課程表

■国際地域学部 2008～2011年度入学生

■国際地域学部 2012～2015年度入学生

■国際地域学部 2016年度入学生

学 科		国際地域 (国際地域 専攻)	国際 観光	国際地域 (国際地域 専攻)
科目区分				
共通総合領域	一般教養的教育科目	人 文	2	2
		社 会	2	2
		自 然 情 報	2	2
		総 合	2	2
	外国語科目 英語(必修)	英語(必修)	10	8
		中 国 語		
		ハン グ ル ※		
		フ ラ ン ス 語	2	2
		ド イ ツ 語		
		ス ペ イ ン 語 ※		
専攻領域	国際地域:選択必修科目 国際観光:第1選択科目	マレー・インドネシア語※		
		タ イ 語 ※		
		選択(上記外国語より)	2	—
	健康科学 選 択	必修科目	30	22
		国際地域:選択必修科目 国際観光:第1選択科目	28	24
		国際地域:選択科目 国際観光:第2選択科目	22	36
		卒業必要単位数	124	124

※地域総合専攻を除く

学 科		国際地域 (国際地域 専攻)	国際 観光	国際地域 (国際地域 専攻)
科目区分				
共通総合領域	一般教養的教育科目	哲 学 ・ 思 想		
		自然・環境・生命		
		日本と世界の文化・歴史		
		現 代 ・ 社 会	4※	4※
	スポーツと健康	スポーツと健康		
		総 合		
	社会人基礎科目	社会人基礎科目		
		留 学 支 援 科 目		
	学部共通教養科目	学部共通教養科目	4	4
		必修	9	8
専攻領域	国際地域:選択必修科目 国際観光:コース必修・選択必修科目	国際地域:選択必修科目	2	2
		国際観光:コース必修・選択必修科目	3	4
	必修科目	必修科目	28	26
		国際地域:選択必修科目 国際観光:コース必修・選択必修科目	30	28
	選択科目	選択科目	22	28
		国際観光:第2選択科目	32	
	キャリア形成支援科目	キャリア形成支援科目	2	—
		卒業必要単位数	124	124

※「哲学・思想」分野2単位含む

学 科		国際地域 (国際地域 専攻)	国際 観光	国際地域 (国際地域 専攻)
科目区分				
共通総合領域	一般教養的教育科目	哲 学 ・ 思 想	2	2
		学 問 の 基 礎		
		国 際 人 の 形 成	2	2
		キャリア・市民形成	4	
	総合・学際	総合・学際		
		留 学 支 援		
	外国語系教育科目	英語特別教育科目		
		必修	9	8
		選択必修	3	3
		選 択	3	2
専攻領域	小 計	小 計	21以上	22以上
		必修	28	26
	国際地域:選択必修 国際観光:コース必修・選択必修	国際地域:選択必修 国際観光:コース必修・選択必修	28	28
		国際観光:第2選択	32	
	キャリア形成支援科目	キャリア形成支援科目	2	—
		小 計	88以上	82以上
	卒業必要単位数	卒業必要単位数	124	124



父母懇談会学部説明(経営学部)



父母懇談会学部説明(社会学部)



父母懇談会面談



父母懇談会面談

年間履修単位の上限

学部	1・2部	学 年			
		1	2	3	4
文※1	1・2部	48春24 秋24	48春24 秋24	48春24 秋24	48春24 秋24
経済	1・2部	48春24 秋24	48春24 秋24	48春24 秋24	48春24 秋24
経営	1部	44春22 秋22	44春22 秋22	44春22 秋22	44春22 秋22
	2部	48春24 秋24	48春24 秋24	48春24 秋24	48春24 秋24
法	1部	40※2	48	48	48
	2部	48	48	48	48
社会※1	1・2部	48春24 秋24	48春24 秋24	48春24 秋24	48春24 秋24
国際地域	1・2部	44春22 秋22	44春22 秋22	48春24 秋24	48春24 秋24

※1 2015年度以前入学生は年間48単位
※2 2012年度以降入学生は48単位

進級制度

文学部

哲学科のみ進級制度があります。2年次終了までに以下の科目単位数を修得しない場合は3年次に進級できません。

2008年度以降入学生

共通総合科目8単位、国際コミュニケーション科目10単位、専門科目の必修講義科目8単位、専門科目の必修・選択必修演習科目2単位計28単位

2012年度以降入学生

共通総合科目8単位、国際コミュニケーション科目8単位、専門科目の必修講義科目8単位、専門科目の必修・選択必修演習科目2単位計26単位

経済・経営・法・社会・国際地域学部

進級制度は導入していません。

4年次生について

文学部

卒業論文は各学科とも必修科目で、4年次配当の科目として置かれています。卒業論文執筆にあたっては、3年次より論文題目(テーマ)を決めていきますので、指導教員からの指導や資料収集など、指導教員や研究室との連携を密に取ることが大切です。提出期限は学科ごとに定められていますので、学内掲示板等に注意して下さい。なお、2008年度以降入学の第2部インド哲学科については、卒業論文は選択必修科目となります。また、4年次の履修にあたっては学科専門科目から必ず4単位以上履修かつ修得することが必要となります。

経済学部

所属の学科により、4年次については卒業要件を満たしたうえで、以下の条件を満たさないと卒業できません。

2008～2011年度入学生(総合政策学科除く)

4年次最初のセメスタおよび最終セメスタで各1科目以上履修し、かつ4年次で専門科目を2科目以上修得

2012年～2015年度入学生

第1部経済学科、第2部経済学科は、4年次最初のセメスタおよび最終セメスタで1科目以上履修し、かつ4年次で専門科目を2科目以上修得
国際経済学科は、第7セメスタにて2単位以上履修し、かつ第8セメスタ以降において専門選択科目A、専門必修科目または語学系科目から合計6単位以上修得

2016年度入学生

第1部経済学科、第2部経済学科は、4年次最初のセメスタおよび最終セメスタで1科目以上履修し、かつ4年次で専門科目を2科目以上修得
国際経済学科は、第7セメスタにて2単位以上履修し、かつ第8セメスタ以降において専門選択科目A、専門必修科目または、語学系科目から2科目以上修得

経営学部

4年次については卒業要件を満たしたうえで、以下の条件を満たさないと卒業できません。

第1部

最終セメスタで卒業単位として認められる科目を2単位以上履修かつ修得

第2部

最終セメスタで卒業単位として認められる科目を2単位以上履修かつ修得

法学部

4年次については卒業要件を満たしたうえで、左記の条件を満たさないと卒業できません。

・2008～2011年度入学生

4年次には卒業単位として認められる科目を春学期2単位、秋学期2単位以上履修しなければなりません。

・2012～2015年度入学生

4年次「第7セメスタ以降」には卒業単位として認められる科目を春学期2単位、秋学期2単位以上履修しなければなりません。

・2016年度以降入学生

4年次「第7セメスタ以降」には卒業単位として認められる科目を春学期1単位、秋学期1単位以上履修しなければなりません。

社会学部

卒業単位に余裕をもった履修および修得を心がけるよう、必要に応じてご助言ください。

国際地域学部

・国際地域学科国際地域専攻／国際観光学科
最終セメスタに卒業論文の執筆が必要です。

・国際地域学科地域総合専攻(2013年度以前入学生)
カリキュラムの特性上、最終セメスタ前に卒業要件を満たしてしまうことが可能ですが、最終セメスタで1科目以上の履修を推奨しています。

・国際地域学科地域総合専攻(2014年度以降入学生)
4年次最初のセメスタおよび最終セメスタで1科目以上履修し、かつ4年次で専門科目2科目以上の修得が必要です。

結 び

大学の動向は、年数回お手元に郵送される「東洋大学報」や浦水会報「東洋」において詳しく伝えられていると思います。大学内での事務手続の日程や、年間の行事予定もその都度掲載されます。特に履修や成績に関する手続方法・時期は学生にとって重要な事項ですが、納付金の納入等は保証人の方にも大きな係わりがありますので、ご留意頂きたいと存じます。

履修に関して疑問があれば所属する教務課の窓口にて足を運ぶよう、保護者の方からもご本人にお話しく下さい。但し、その際は履修要覧を熟読してからお越しいただくことが前提となります。充実した大學生生活4年間となりますことを切望いたしております。

(教務部)

文・経済・経営・法・社会・国際地域学部

2016年度 年間スケジュール(抜粋)

春学期	春学期納付金納入期間	4月 1日(金)～ 4月25日(月)
	新入生教育期間	4月 1日(金)～ 4月 4日(月) 4月 7日(木)
	進級手続期間	4月 4日(月)・ 5日(火)
	授 業 開 始	4月 8日(金)
	定期健康診断	4月 2日(土)～ 4月14日(木)
	授 業 終 了	7月23日(土)
	試 験 期 間	7月25日(月)～ 7月30日(土)
秋学期	夏季休暇期間	8月 8日(月)～ 9月20日(火)
	授 業 開 始	9月21日(水)
	秋学期納付金納入期間	10月 3日(月)～10月15日(土)
	大 学 祭 期 間	11月 5日(土)～11月 6日(日)
	冬季休暇期間	12月27日(火)～ 1月 5日(木)
	授 業 終 了	1月23日(月)
	試 験 期 間	1月24日(火)～ 1月30日(月)
	春季休暇開始	2月 7日(火)
	4年生成績発表・卒業単位充足者発表	2月下旬
	1～3年生成績発表・進級単位充足者発表	3月上旬
期	卒業決定者発表	3月中旬
	卒 業 式	3月23日(木)

※4月4日(月) 朝霞・板倉キャンパス
4月7日(木) 白山・川越キャンパス



秋田県父母懇談会

「目指せ教師！教職支援室の利用について」

東洋大学は、創立当初から多くの教員を輩出しており、現在も多数の学生が教師を目指しています。これらの学生を就職対策の面からサポートするため、平成26年春、白山・朝霞・川越・板倉の4キャンパスに教職支援室を開設しました。

教職支援室では、長年、校長・教頭として学校教育に携わり、また教育委員会等において教育行政に従事されるなど、見識豊かな教育界のプロが教職支援アドバイザーとして学生の相談に対応しています。また、教員採用試験の過去問題集や教職関係の雑誌・図書などを揃え、学生の利用に供しています。

平成27年度は、4キャンパスで合計で延べ5、917名の学生が教職支援室を利用しましたが、本年度は4月から8月まで、すでに延べ3、428名が来室しています。学生は採用試験合格に向けて、各自の試験対策進行状況に応じて教職支援室を利用しています。4・5月は、教職全般に関すること、論文対策・添削指導、面接練習、志願書・面接票の書き方等、相談内容も多岐に亘りました。6月から7月前半は、3年生は介護等体験、4年生は教育実習に参加する時期にもかかわらず、引き続き多くの学生が相談に訪れました。7月後半から8月は採用二次試験間近のため、面接や集団討論の練習を希望する学生が何度も来室しました。特に集団面接・集団討論対策では、学生自身が自主的にグループを作り、本番と同じ雰囲気の中で教職支援アドバイザーの念入りな指導を受ける光景が何度も見られました。近年の採用試験は人物重視の傾向が顕著であり、多くの学生と教職支援アドバイザーが一体となった本番さながらの練習は、とても有効です。

昨年度は、教職支援室を利用した多くの学生が

新任教員として全国の学校で教壇に立つこととなりました。本年度も今後、採用試験の結果が明らかになっていきます。学生は合格に向けて努力を続けてきたのですから、良い結果を祈らずにはいられません。秋学期は3年生の利用が増えて行きますが、来年4月に教壇に立つための準備等、4年生の相談にも引き続き対応します。また、採用試験合格に向けて新たに各種ミニ講座も開催しています。

ご子女が将来教職に就くことを希望しているのでしたら、ぜひ教職支援室を利用するようお願いいたします。

「白山キャンパス学修支援室」

「学びの次の一歩をサポートします」

白山キャンパス学修支援室は、学生が学修を進めていく上で支障がないよう、また意欲のある学生がさらに学ぶことができるよう、学修環境等を整備することを目指して、平成26年3月に設置されました。

具体的な学修支援内容としては、TA（ティーチング・アシスタント）である大学院生による学修相談を中心に、「レポート・論文の書き方相談」「文献・資料の調べ方相談」「高校までの基礎学力向上に係る支援」「語学系資格取得に係る支援」「情報リテラシーに係る支援」「留学生に対応した日本語ライティング支援、論文の書き方相談」を行っています。

また、授業以外にも様々なスキルを修得できるよう、学修支援講座を開設しています。これまでの講座では、「レポート作成講座」「プレゼンテーションスキルアップ講座」「文献検索に役立つデータベースガイダンス」「基礎英語講座」

「ワード・エクセル等のパソコンスキル講習」などを実施し、文章力や表現力、語学力の成長に資するよう取り組んでいます。また、海外留学に向けた講座なども実施しております。

学生の皆さんにとっては、大学での学び方身につけることが必要です。

各学部で行われている履修ガイダンスや教員からの指導に耳を傾けるとともに、学修支援室を活用してください。本学では学生の皆さんに充実した学びの場を提供し、多彩な学びを支援いたします。

保護者の皆様におかれましても、4年間の学びを充実させるために、是非、一度ご子女へお話しください。



「学修支援講座の様子」

理工・総合情報学部

川越事務部教学課 課長 藤田 正彦

川越キャンパスでは、年度を二学期に分け、半年単位で授業が完結するセメスタ制を採用しています。学生が集中して学ぶことができることに、学生の理解度を把握しやすくするためです。

学習支援の取り組みとして、年2回の学修相談会の開催、基礎科目(英語・数学・物理)学習支援室の設置、学生休暇中の数学補習講座、出席不良者への連絡などを行っています。

授業科目と単位

履修登録できる単位数は一セメスタあたり24単位、二年間では48単位を上限としています。

理工学部では、低学年から教養科目とともに、数学や物理、化学等の理工学基盤の基礎科目を学ぶことで、上位学年に配当された各学科の専門科目へと段階的に学習していきます。

総合情報学部では、情報を扱うための基礎となる科目を一年次に配当しています。また、演習形式の科目を多く配当し、実践的なスキルも磨きます。二年次以降は、より高度な専門知識を身につけ、学生ごとに異なる文理を越えた多様な将来の目標(業種・職種)に総合的に対応します。

卒業論文・卒業研究着手条件

理工学部では、三年生(第6セメスタ)終了時に卒業論文・卒業研究着手条件(以下、「卒業条件」)の単位を修得していなければ、「卒業論文・卒業研究着手不可」となり、卒業関係科目の履修はできません。



川越キャンパス7号館外観

四年生に進級しても研究室に配属されず、その時点で原級(留年)が確定することになります。総合情報学部でも平成28年度入学生から、卒業条件の制度が設けられました。卒業条件は卒業要件と並ぶ重要なハードルとなります。これらの条件は入学年度ごとのカリキュラム(教育課程)によって異なり、詳しくは入学時に配付した履修要覧に記載しています。入学後、オリエンテーションや学科ガイダンス等を通じて、これらカリキュラム上の規則をきちんと理解・意識して、目標と計画を持って日々努力するよう学生に指導しています。

総合情報学部 卒業要件

(平成 25~27 年度入学生)

(単位)

科目区分		要件単位数
基盤教育	哲 学・思 想	
	自然・環境・生命	
	日本と世界の歴史・文化	
	現 代・社 会	
	スポーツと健康	
	総 合	
	留学支援科目	
	社会人基礎科目	
	小 計	21
英語科目	必 修 科 目	6
	選択必修科目	4
	小 計	10
専門科目	必 修 科 目	14
	選択必修科目	6
	選 択 科 目	
	小 計	77
教職関係科目		
他学部他学科専門科目		
合 計		124

総合情報学部 卒業要件

(平成 28 年度入学生)

(単位)

科目区分		要件単位数
基盤教育	哲 学・思 想	2
	学 問 の 基 礎	
	国際人の形成	10
	キャリア・市民形成	
	総 合・学 際	
	留学支援科目	
	小 計	28
学科共通科目	基 礎 科 目	
	ビジネス関係科目	8
	社会調査士関係科目	
	小 計	16
専門科目	必 修	24
	システム情報コース ※	28 8 8
	スポーツ情報コース ※	8 28 8
	メディア文化コース ※	8 8 28
	小 計	68
教職関係科目		
他学部他学科専門科目		
合 計		124

授業時間

時 限	時 間
1時限	9:00~10:30
2時限	10:40~12:10
昼休み	12:10~13:10
3時限	13:10~14:40
4時限	14:50~16:20
5時限	16:30~18:00

※配属されたコースは28単位以上、その他の2コースは8単位以上の修得が必要です。

■理工学部 卒業要件（平成 25～27 年度入学生）

（単位）

科目区分 学科		基盤教育								理工学共通科目								専門科目				副専攻科目	他学部他学科専門科目	合計	
		哲学・思想	自然・環境・生命	日本と世界の歴史・文化	現代・社会	スポーツと健康	総合教養	社会人基礎科目	留学支援科目	小計	数学	物理学	化学	生物学	地学	情報処理	外国語	小計	必修	選択必修	選択				小計
機 械 工 学 科									10	9	6	2			3	6	26	15	24		70			124	
生 体 医 工 学 科						2			10	6	2	2	2		3	6	28	14	24		70			124	
電気電子情報工学科									10	6	6				3	6	25	28	16		74			124	
応 用 化 学 科		2							10	4	4	6				6	24	30	—		70			124	
都市環境デザイン学科									10	6	2	2			2	6	24	12	2	12		70			124
建 築 学 科									10	6	4					6	24	21	4		70			124	

■理工学部 卒業要件（平成 28 年度入学生）

（単位）

科目区分 学科	基盤教育					理工学共通科目								専門科目					副専攻科目	他学部他学科専門科目	合計
	哲学・思想	学問の基礎	国際人の形成	キャリア・市民形成	総合・学際	小計	数学	物理学	化学	生物学	地学	情報処理	小計	必修	選択必修	選択	小計				
機 械 工 学 科	2		8			20	9	6	2			3	20	13	24		70			124	
生 体 医 工 学 科	2		8			20	6	2	2	2		3	22	14	24		70			124	
電気電子情報工学科	2		8			20	6	6				3	19	28	16		74			124	
応 用 化 学 科	2		8			20	4	4	6				18	30	—		70			124	
都市環境デザイン学科	2		8			20	6	2	2			2	20	12	2	16	70			124	
建 築 学 科	2		8			20	6	4					16	21	4		70			124	

※誌面の都合上、平成 24 年度以前の入学生の卒業要件を掲載できません。入学時に学生に配付している履修要覧をご確認ください。

生命科学部・食環境科学部

板倉事務部板倉事務課 課長補佐 笠倉 康司

はじめに

例年甫水懇談会では、新入生の保護者に対しては、学生がどのような授業を履修しているのかを確認することができ、「履修登録確認表」を、2年生以上の学生の保護者に対しては「甫水会用成績表」を作成し、説明資料としています。今回は1年を春学期・秋学期に分けて授業、試験および成績評価を行うセメスタ制の仕組みや履修方法などを次に掲載します。

なお、今後の学年暦については以下の通りです。

冬季休暇期間 12月26日(月)～1月5日(木)

授業再開 1月6日(金)

秋学期授業終了 1月23日(月)

秋学期試験期間 1月24日(火)～1月30日(月)

補講 1月31日(火)、2月2日(木)～2月6日(月)

春季休暇期間 2月7日(火)～3月31日(金)

3月卒業単位充足者発表 2月23日(木)

3月卒業決定者発表 3月16日(木)

卒業式 3月23日(木)

在校生秋学期成績発表 3月中旬

セメスタ制

生命科学部・食環境科学部では、セメスタ制度を導入しています。この制度は、1年を春学期と秋学期の2つの学期(セメスタ)に分け、4年間で8つのセメスタを段階的に積み上げて卒業するシステムです。半年単位で授業が完結することによって、授業効果を高め、学生が集中して学ぶことができ、学生の理解度を把握しやすくなるメリットがあります。

授業時間

時 限	時 間
1時限	9:30～11:00
2時限	11:10～12:40
昼休み	12:40～13:20
3時限	13:20～14:50
4時限	15:00～16:30
5時限	16:40～18:10
6時限	18:20～19:50

原則として授業科目は、春学期または秋学期のいずれかに開講されます。
なお授業時間は左記の通りですが、実験・実習のように1日に2～3時限連続で行う科目もあります。
そのほか、短期間に集中して開講される科目もあります。

セメスタ制の仕組み

1学年	第1セメスタ
	第2セメスタ
2学年	第3セメスタ
	第4セメスタ
3学年	第5セメスタ
	第6セメスタ
4学年	第7セメスタ
	第8セメスタ
卒 業	

履修方法

履修できる単位数は各学期24単位までです。学期ごとの定められた期間にWEB履修登録を行うことにより授業を履修することができます。

次に説明する卒業論文着手条件等を3年次終了までに満たすよう、1年生のうちから計画的に履修し単位を修得することが大切です。生命科学部・食環境科学部いずれにおいても、定められた学年の必修科目をきちんと修得することが重要となります。



板倉キャンパス5号館(実験棟)外観

生命科学部卒業論文着手条件

卒業論文・卒業研究（必修）に着手するのは7セメスタからです。着手するためには6セメスタ終了までに所定の条件を満たさなければなりません。条件がひとつでも足りなければ、卒業論文・卒業研究に着手することができず、卒業時期が延期となります。なお、修得単位は、卒業に必要な科目として認められているものとします。各領域の分類は47ページ以降の「卒業要件一覧」の表をご覧ください。

食環境科学部卒業論文等着手条件

食環境科学部については、6セメスタ終了までに各学科・専攻の所定の条件を満たさなければなりません。

食環境科学科フードサイエンス専攻については、6セメスタ終了までに「卒業論文着手条件」の項目1～7を満たさなければ、卒業研究・卒業論文に着手することができず、卒業時期が延期となります。

食環境科学科スポーツ・食品機能専攻については、6セメスタ終了までに「4年次必修授業受講条件」の項目1～7を満たさなければ、4年次開講の必修科目を受講することができず、卒業時期が延期となります。

健康栄養学科については、3年次終了までに「総合演習受講条件」の項目1～7を満たさなければ、4年次開講の総合演習を受講することができず、卒業時期が延期となります。

条件区分および必要単位数等は次項「食環境科

学部4年次開講科目履修条件一覧」の表をご覧ください。

食環境科学研究科が開設されました

平成28年4月に食環境科学部を基礎とした「食環境科学研究科食環境科学専攻（修士課程）」が開設されました。

時代とともに日本人の食を取り巻く環境は大きく変化し、急激に高齢化が進むなか、健康を保つ食の重要性が増しています。また食料自給率の低下、食の安全、地球温暖化や人口増加による食料問題など、問題は山積みとなっています。

食環境科学研究科では、これら現代社会の食に関連するさまざまな課題に対応するため、生命科学的視点に立脚して、栄養学、食品科学および食品安全学を基盤とする食環境科学領域の基礎的素養のもとに、食品機能やスポーツとこれが健康維持・増進に果たす役割や科学的根拠に基づいた栄養マネジメントをより深化させた研究を行います。

さらに海外研修の必須化、PBL (Problem-Based Learning) 等による実践的な教育や技術者としての倫理教育を行うことで、従来の大学院にはない、国際的な視点から食をめぐる諸課題の解決に貢献しうる高度な専門能力と倫理観を有する実務スペシャリストを養成します。

生命科学部卒業論文着手条件 2009～2012年度入学生

	生命科学科	応用生物科学科	食環境科学科 (生命科学部)
総修得単位数	105単位以上		
一般教養的教育科目	人文4単位以上を含む12単位以上		
外国語科目	必修4単位および選択必修4単位以上を含む8単位以上		
専攻領域の必修科目	25単位	21単位	実験科目9単位を含めて21単位以上
専攻領域の選択必修科目	34単位	24単位	26単位
専攻領域の選択科目、 各要件単位を上回って修得した科目	26単位以上	40単位以上	38単位以上

生命科学部卒業論文着手条件 2013年度以降入学生

	生命科学科	応用生物科学科
1.総修得単位数	105単位以上	110単位以上
2.共通教養科目の哲学・思想	4単位以上	
3.共通教養科目の自然・環境・生命	4単位以上	
4.共通教養科目の文化間コミュニケーション	必修4単位を含む6単位以上	
5.基盤教育科目	20単位以上	
6.専門科目	70単位以上	—
7.専門科目の必修科目	28単位	26単位
8.専門科目の選択必修科目	基礎科学および4分野 すべてについて それぞれ4単位以上	基礎科学16単位 各自のコース6単位を 含む22単位
9.専門科目の選択必修科目(生命科学科)	上記7・8を含め32単位以上	
10.専門科目の選択科目、各要件単位を上回って 修得した科目(応用生物科学科)		42単位以上

食環境科学部4年次開講科目履修条件一覧

	食環境科学科		健康栄養学科
	フードサイエンス 専攻	スポーツ・ 食品機能専攻	
各種条件	卒業論文 着手条件	4年次必修授業 受講条件	総合演習 受講条件
1. 総修得単位数	105単位以上修得		
2. 共通教養科目の 哲学・思想	4単位以上修得		
3. 共通教養科目の 自然・環境・生命	4単位以上修得		
4. 共通教養科目の 文化間コミュニケーション	必修4単位を含む6単位以上修得		
5. 基盤教育科目	20単位以上修得		
6. 専門科目の必修	実験科目11単位を含む 45単位以上修得	実験科目10単位を含む 38単位以上修得	24単位以上修得
7. 専門科目の選択必修	20単位以上修得	22単位以上修得	26単位以上修得

生命科学部・食環境科学部取得可能資格

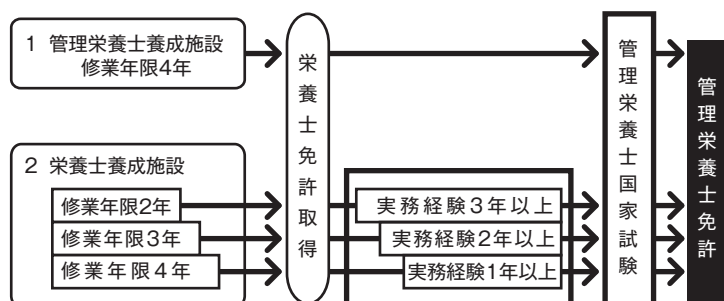
		生命科学部			食環境科学部		
		生命 科学科	応用生物 科学科	食環境科 学科 (2009～ 2012年度 入学生)	食環境科学科 (2013年度以降入学生) フード サイエンス 専攻	スポーツ・ 食品機能 専攻	健康栄養 学科
教育 職員 免許状	中学校教諭1種理科	○	○	○	○	○	
	高等学校 教諭1種理科						
	栄養教諭1種						○
管理栄養士 (国家試験の受験資格)							○
栄養士							○
食品衛生管理者及び 食品衛生監視員(任用資格)				○	○	○	○
危険物取扱者(甲種)受験資格		○	○	○	○	○	○
バイオ技術者認定試験受験資格		○	○	○	○	○	○
フーズスペシャリスト受験資格				○	○	○	○

生命科学部・食環境科学部では次の資格を取得することが可能です。なお、各資格の取得には、それぞれ条件があります。

諸資格について

管理栄養士について

管理栄養士とは、指定養成施設を修了し、管理栄養士国家試験に合格し、厚生労働大臣より免許を受けた者と栄養士法に定められています。その専有業務は、病院や福祉施設、事務所における給食管理・栄養指導、個人の栄養指導にいたるまで、その専門性と範疇はとても広範です。さらに、近年の少子高齢化社会を背景に、予防医学やアンチエイジング、介護医療（QOL）など、医療の場においても栄養士法に「傷病者に対する背景に、療養のために必要な栄養の指導」と定められているように、管理栄養士が医師や看護師と手を携えて果たせる役割は大きいものです。



生命科学部卒業要件 2009~2012年度入学生

				生命科学科		応用生物科学科		食環境科学科 (生命科学部)	
授業科目区分				卒業要件単位数		卒業要件単位数		卒業要件単位数	
共通総合領域 20単位以上	一般教養的教育科目 12単位	人文		12単位 (人文から 4単位以上)		12単位 (人文から 4単位以上)		12単位 (人文から 4単位以上)	
		社会							
		自然情報							
		総合							
	外国語科目 8単位以上	必修		4単位		4単位		4単位	
		選択必修							
		選択	中国語						
			ハンデル						
		フランス語							
	健康科学科目	選択							
専攻領域 90単位以上	必修科目			31単位 〔 1年次6単位 2年次12単位 3年次7単位 4年次6単位 〕		27単位 〔 1年次6単位 2年次8単位 3年次7単位 4年次6単位 〕		31単位 〔 1年次4単位 2年次12単位 3年次9単位 4年次6単位 〕	
	選択必修			基礎科学	26単位以上	基礎科学	16単位以上	基礎科学	16単位以上
				細胞制御科学	10単位以上 (3コースの中から 1分野を選択)	細胞利用	10単位以上 (3コースの中から 1分野を選択)		専門科学
				ゲノム・情報科学		生物利用			
				生命環境科学		環境保全			
	選択科目								
	留学支援科目		英語特別教育科目						
開放領域(他学科)									
合計				124単位		124単位		124単位	

生命科学部卒業要件 2013年度以降入学生

			生命科学科		応用生物科学科	
授業科目区分			卒業要件単位数		卒業要件単位数	
基盤 教育 科目	共通教養 科目	哲学・思想	20単位	4単位	20単位	4単位
		自然・環境・生命		4単位		4単位
		日本と世界の文化・歴史				
		現代・社会				
		スポーツと健康				
		総合				
		文化間コミュニケーション		6単位		6単位
	社会人基礎科目					
	留学支援 科目	英語特別教育科目				
		日本語科目				
国際人の形成						
専門 科目	必修		90単位	34単位	90単位	36単位
	選択必修			40単位以上		22単位以上
	選択					
合計			124単位		124単位	

食環境科学部卒業要件

			食環境科学科 フードサイエンス専攻		食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻		健康栄養学科	
授業科目区分			卒業要件単位数		卒業要件単位数		卒業要件単位数	
基盤 教育 科目	共通 教養 科目	哲学・思想	20単位	4単位	20単位	4単位	20単位	4単位
		自然・環境・生命		4単位		4単位		4単位
		日本と世界の文化・歴史						
		現代・社会						
		スポーツと健康						
		総合						
		文化間コミュニケーション		6単位		6単位		6単位
	社会人基礎科目							
	留学 支援 科目	英語特別教育科目						
		日本語科目						
国際人の形成								
専門 科目	必修		90単位	55単位	90単位	46単位	90単位	31単位
	選択必修			20単位以上		22単位以上		26単位以上
	選択							
合計			124単位		124単位		124単位	

ライフデザイン学部

朝霞事務部朝霞事務課 主任 **和井田 清香**

ライフデザイン学部では、およそ2,400名の学生が朝霞キャンパスで4年間の大学生活を送っています。生活支援学科(生活支援学専攻・子ども支援学専攻)・健康スポーツ学科・人間環境デザイン学科の3学科2専攻で構成され、いずれも多くの資格取得を目指すことができるカリキュラムを編成しています。昨年、2005年の学部開設から10周年を迎え、専門分野での実践力を身につけた卒業生を多数社会に輩出してきました。

授業科目と単位の修得

1年を春学期と秋学期の2期に分けて授業を行う「セメスタ制」を導入しています。半期毎に授業が完結することによって、在学4年間でより幅広い科目選択を可能としています。

各学期の授業開始時に、学生は自分の興味・関心に応じて履修登録を行います。春・秋ともに上限24単位、年間で48単位まで履修登録することができます。資格取得に配慮するため、生活支援学科で介護福祉士コースに所属する学生は、各学期28単位まで履修登録することができます。また、教職課程を履修する学生は、教育職員免許状取得のための科目に限り、上限24単位の制限を越えて履修登録することができます。

出席を重視する授業が多く、授業回数の2/3以上の出席を成績評価の条件としています。また、休講となった科目は必ず補講を行っており、その実施率は100%です。

授業時間

時 限	時 間
1時限	9:00～10:30
2時限	10:40～12:10
3時限	13:00～14:30
4時限	14:40～16:10
5時限	16:20～17:50

実学主義

講義形式での座学に留まらないアクティブラーニングを実践しています。子ども支援学専攻の子育て支援事業「子育てひろば」や、健康スポーツ学科の「健康スポーツ倶楽部ASSAKA」がその一例です。親子を対象とした子育て支援プログラム、あるいは様々な年齢層に向けた各種スポーツ教室を教員指導のもとに学生が主導し、地域住民が参画する形で専門領域の学びを深めます。

社会に出てからの即戦力を培うため、「介護実習室」や「保育実習室」など、現場の雰囲気を感じることができる各種実習施設をキャンパス内に備えていることも特長です。

国際交流

国際的な視野を身につけるため、独自の国際交流プログラムを実施しています。健康スポーツ学科では、体育・体操発祥の地であるドイツ施設見学や、現地大学で授業参加を行う「ドイツ研修」、韓国の高齢者・障がい者施設を訪問し、実習を行う「韓国研修」などのプログラムが毎年行われています。また、今年度は春季休暇中に、フィリピン・セブ島およびカナダでの研修を予定しています。

進級と卒業

進級制度を採用していないため、単位の修得状況に関わらず4年生まで進級してきます。ただし、人間環境デザイン学科では卒業研究・卒業制作の着手条件を設けています。指定条件を充足した上で卒業研究・卒業制作に取り組みことで、段階的な専門性の修得を実現しています。

学生が卒業するために最低修得しなければならない単位数(2012年度以前入学生)

(単位)

			生活支援学 専攻	子ども支援学専攻		健康 スポーツ 学科	人間環境 デザイン 学科
				2009年度 2010年度 入学生	2011年度 2012年度 入学生		
一般教養的科目	人間探究分野	読解と表現	12	12	12	12	12
		人間と生活の理解					
		社会と自然の理解					
		経営と管理の知識					
		総 合					
	文化間コミュニケーション分野		4	4	4	4	4
	スポーツ健康分野				2		
	留学支援科目						
小 計		16	16	16	18	16	
専門科目	学部共通科目	必修科目	8	8	8	8	8
		選択科目					
	学科専門科目	必修科目	22	22	18	36	14
		選択必修科目				5	2
		選択科目	46	46	46	30	53
	小 計		76	76	72	74	77
	学生が卒業するために必要な最低単位数		124	124	124	124	124

人間環境デザイン学科卒業研究・卒業制作着手条件
3年生6セメスタ終了時まで1・2年次の必修科目を全て修得し、卒業要件単位を100単位以上修得していること。
4年生7セメスタ終了時まで100単位以上修得していること。
習II Aを修得していること。

各学期の終了時に、単位の修得状況が芳しくない学生に対しては専任教員による面談を実施しています。指導教員と共に問題点を俯瞰し、正規年限内での卒業に向けた軌道修正を図ります。

国家資格を含む多くの資格、または受験資格を取得することができます。有資格(取得見込)者が多いことから、学内でも高い就職率を誇り、公務員の専門職採用を含む安定的な進路選択に繋がっています。

それぞれ取得のための要件があり、入学直後から継続的に学修を進めなければならないものもあります。資格取得と卒業を同時に目指すためには、漠然といくつもの資格を目指すよりも、自分の将来に必要な資格は何かを熟慮して取り組むことが必要です。

資格取得を目指す場合、時間割編成にも制約が

資格取得リスト

学生が卒業するために最低修得しなければならない単位数(2013年度以降入学生)(単位)

			生活支援学 専攻	子ども支援学 専攻	健康 スポーツ 学科	人間環境 デザイン 学科
基盤教育	共通教養科目	哲学・思想	12	12	12	12
		自然・環境・生命				
		日本と世界の文化・歴史				
		現代・社会				
		総 合				
	文化間コミュニケーション		4	4	8	6
	スポーツと健康				2	
	社会人基礎科目					
留学支援科目						
	小 計	16	16	22	18	
専門科目	学部共通科目	必修科目	8	8	8	8
		選択科目				
	学科専門科目	必修科目	18	18	38	14
		選択必修科目			5	12
		選択科目	48	46	30	43
	小 計		74	72	81	77
学生が卒業するために必要な最低単位数		124	124	124	124	

取得可能な資格

		生活支援学 専攻	子ども支援学 専攻	健康スポーツ 学科	人間環境 デザイン学科
社会福祉士		受験資格	受験資格	受験資格	
精神保健福祉士		受験資格		受験資格	
介護福祉士		○			
保育士			○		
A.D.I.		受験資格	受験資格	受験資格	
健康運動指導士				受験資格	
健康運動実践指導者		受験資格	受験資格	受験資格	
障害者スポーツ指導員		○	○	○	
レクリエーション・インストラクター		○	○	○	
第一種衛生管理者				○	
公認スポーツ指導者				受験資格	
一級建築士					受験資格
二級建築士					受験資格
木造建築士					受験資格
社会福祉主事		任用資格	任用資格	任用資格	任用資格
教育職員免許状	幼稚園教諭1種		○		
	高等学校教諭1種(福祉)	○			
	高等学校教諭1種(保健)			○	
	中学校教諭1種(保健)			○	
	高等学校教諭1種(保健体育)			○	
	中学校教諭1種(保健体育)			○	
	養護教諭1種			○	
	高等学校教諭1種(工業)				○
	高等学校教諭1種(工芸)				○

生じます。必要な科目は一度の履修で修得できるよう、予習・復習を欠かさず、毎回授業に出席することが大切です。

2016年9月現在

● 学生部の窓口から ●

「東洋大学スポーツをみなさんと
一緒に盛り上げましょう」

学生部学生支援課課長補佐 澁谷 健

学生部学生支援課を紹介いたします。業務としては大きく4つの担当に分かれています。課外担当はサークル運動部(強化部・準強化部以外)の活動補助、学生生活サポートに卒業式・入学式の挙行。バリアフリー担当は障がいがある学生の授業を始めとする諸活動の支援等。厚生担当は、奨学金(日本学生支援機構、東洋大学奨学金各種)等の多くの奨学金を担当。そして、私が担当している強化部・準強化部担当です。強化部・準強化部担当は、運動部の中で、強化部10部、準強化部5部の活動のサポート、合宿所(白山・板倉・川越・アスリートビレッジ)・総合スポーツセンターの管理・運営です。新聞広告に、「東洋大学」といえば箱根駅伝・・・と出たことがあります。ご存知でしょうか。その箱根駅伝は、陸上競技部長距離部門が出場しておりますが、陸上競技部長距離部門は強化部・準強化部が担当しています。また強化部・準強化部に限らず、一般部やサークルの大会の視察にも出かけます。在校生を卒業生や御父母の皆様といっしょに応援することも我々の大切な業務となっています。学生支援課に異動になり3年目ですが、私の見た目にも変化があります。顔と腕が真っ黒です。陸上競技場で、駅伝の沿道で、神宮球場で、サッ

カーグラウンドで、外にいただけで真っ黒です。でも、熱心な卒業生や御父母と一緒に大声で応援するともうすぐ50歳の私も気分は若くなります。しかし、最近気になることがあります。それは、どの会場でも応援の数が減ってきていることです。明治神宮球場も硬式野球部の応援は、応援指導部の音頭に合わせて応援する観客が少なくとも寂しいのが現状です。観客席が鉄紺カラーでいっぱいになるのは望ましいのですが、学生は授業もありなかなか難しいところです。第85回箱根駅伝で初優勝をした時、私は10区で応援していました。目の前を白バイとTV中継車に先導されて通過する高見選手を見た後、気がついたら小旗を両手で持ちながら、目からは大粒の涙が出ていました。この感動を私は忘れません。その後、東洋大学は箱根駅伝を3度、計4回も総合優勝し、今や箱根駅伝の上位常連校と言われるまで成長しました。この感動をぜひ皆様にも味わっていただきたく、1月2日のスタート、1月3日のゴールは、応援指導部と一緒に感動を味わいましょう。

2016年は、リオデジャネイロオリンピックが開催され、東洋大学の卒業生、在校生が活躍しました。水泳部の萩野選手(文学部4年)は、金銀銅合計3つのメダルを獲得しました。金メダル獲得の瞬間は白山キャンパスでパブリックビューイングを開催しており、約400名の方々と、会場全員が鉄紺Tシャツを着て興奮と感動を味わいながら応援しました。トップでゴールした時の感動も私は一生忘れ

ないでしょう。陸上競技部短距離部門の桐生選手(法学部3年)が出場した4×100mリレーの日本だけ採用しているアンダーパスを使い、コーナーで他国の選手を抜き去るシーンを見たとき、桐生選手は本当に日本人なのか、本当に東洋大学の学生なのかと思っていました。日本時間深夜に開催された男子20km競歩に出場した松永選手(理工学部4年)のこの種目日本人最高位となる7位入賞に感動しました。この感動を4年後の東京オリンピックでも味わいたいと思います。彼らの東京オリンピック・パラリンピックでの活躍に皆様のご声援をよろしくお願いいたします。

東洋大学では、2016年6月にTOYO SPORTS VISIONを策定し社会に発表しました。

1. スポーツを「する」人「みる」人「ささえる」人の育成
2. スポーツを通じた「グローバル人材」の育成
3. スポーツに関する「学術的アプローチ」の展開
4. スポーツを通じた地域連携の促進

(<https://www.toyo.ac.jp/site/toyosports/sportsvision.html>)

この4つの柱に、スポーツを「哲学」し、人と社会と世界をむすび、東京2020に向けて活動を進めていきます。今後はオリンピックパラリンピックレガシイの講義、ボランティア育成、選手サポート等をおこなっていきます。

就職関係

就職・キャリア支援部 部長 石井 健一

平素より、就職・キャリア支援部の活動に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。本年度も保護者の皆様に向けた懇談会が6月から始まり、白山・川越・朝霞・板倉の各キャンパスでの「父母懇談会」、また全国26会場にて開催された「地区別父母懇談会」に多くの皆様にご参加いただきました。厚く御礼申し上げます。

昨年度に続き今年度も日本経団連の指針による企業側の採用活動スケジュールの変更があり、保護者の皆様には就職へのご関心がより高いことを感じました。私も就職担当者は、個別面談による就職相談や講演、また地区別父母懇談会での各県担当者の協力を得て実施したUターン情報の提供など、保護者の皆様とさまざまな交流をさせていただきました。

今回は現4年生の状況と、これから本格的な就職活動が始まる現3年生の状況及び低学年からの準備などについてお伝えいたします。

4年生の就職状況について

以前は4年生の9月末時点の就職内定率をお伝えすることができましたが、採用スケジュールの変更に伴い内定率については現在調査中です。今年度の途中報告としては、日本経団連の指針のとおり6月に選考を解禁した企業は大企業の一部であり、多くの企業は昨年とほぼ同様の時期に選考を開始し、6月以前に内々定を出した企業もありました。また企業の採用意欲が高かったこと

もあり、複数企業から内々定を得て選択に迷う学生も見受けられました。

しかしながら、まだまだ多くの学生が進路決定に向けて活動をしています。例年、企業からの求人は3月末まで届きますので、粘り強く最後まで諦めずに活動を継続することが大切です。

特にこれからは本学の求人ナビの活用をお勧めします。「東洋大学の学生を採用したい」と、送られてくる求人情報です。その他、企業採用担当者の来訪を受け、私も就職担当者が直接受け取る情報も多くあります。また学内での「会社説明会」、さらに内定直結型の「マッチング会社説明会」など、活動中の学生の進捗状況に添ったイベントを逐次開催していきますので、お子様には是非、各キャンパスの就職支援室と、職員・相談員による個別相談を利用するようお願いください。

なお、イベントのお知らせは、学生向けポータルサイト「ToyoNet-Gの就職情報」の他、掲示・学内放送・DMなどで行っています。

3年生の活動状況について

現在、本格的な就職活動に向けて準備をするための「就職活動支援セミナー」が進行中です。今年度も日本経団連の指針の広報活動3月スタートは変わりませんが、選考等、各企業の動き出しは今年度同様早目になると予測されます。従って、大学で実施するセミナーに早くから参加し、社会の状況を把握するとともに就職活動の流れを掴むことが重要です。

セミナーでは、ワークを交えながら採用試験に必要なエッセンスを修得します。具体的には、自分の将来と就職活動を結びつける自己分析をはじめ、企業の見つけ方やエントリーシートの書き

方・模擬面接、人事担当者の視点による講演など多岐にわたる内容です。また、業界・職種研究、SPI一般常識テスト・webテスト対策、ビジネスマナーなどのイベントも並行して実施します。いずれも授業の空き時間に無理なく参加でき、就職活動の準備をすることができます。

現時点で具体的な希望進路を決めていない学生も、公務員・教員を希望する学生も、これらのセミナーに参加することを奨励しています。自立した大人として社会で働くための準備に、きつと役に立つと考えています。

1・2年生からの就職準備について

本学では、入学と同時に全学生を対象に基礎力テスト「PROG」を実施しています。これは大卒者として社会で求められる汎用的な能力・態度志向を客観的に把握するためのテストです。このテストは3年生の4月に再度行いますので2年間の成長を自ら確認するとともに自身の強みを活かした就職活動のための一助となります。

また公務員については、早くからの準備が必要となります。低学年対象の「公務員試験準備ガイダンス」「公務員試験準備講座」を学内で実施していますのでお子様にお勧めください。

就職活動をスムーズに進めるために重要なことは、低学年から意欲的・積極的に学生生活を送ることに尽きます。ゼミや国内外のインターンシップやボランティアなど多様な経験にチャレンジするよう促していただければ幸いです。

最後になりますが、これからも保護者の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

● 納付金(学費等)について ●

経理部財務課

I 納付金の納入方法と時期

毎年、納付金の納入にご協力いただきましてありがとうございます。

納付金について、電話等での問い合わせ内容を中心に説明いたします。

納付金振込用紙は、学年末に次の学年に必要な金額を記載し、お送りします。

① 納付金振込用紙の郵送先

第一部：保証人住所宛てに郵送

第二部：本人または保証人住所宛てに郵送

(郵送先は入学時に選択した宛て先)

② 納付金の振込方法

大学より郵送されたその年度の指定振込用紙をご利用ください。それ以外(銀行備え付けの用紙やATM等)での振込はご遠慮ください。

また、大学での現金による受付はしていません。

③ 全納と分納

振込用紙には「全納」と「分納」の用紙があり、振込時に選択してください。

全納：年間必要額を一括して納入

分納：年間必要額を春学期と秋学期の二回に分けて納入

分納を選択された方の秋学期用振込用紙は、

秋学期納入時期に大学より郵送します。

④ 納入期間

・春学期 四月一日～四月二十五日

・秋学期 十月一日～十月十五日

※納入期間は各年度の曜日により変動します。

振込用紙記載の期間内にお振り込みください。

II 納付金の内訳

納付金は、「学費」と「その他の費用」に区別されます。

①「学費」には、入学金・授業料・一般施設設備資金・実験実習料・教育充実料が含まれます。

(実験実習料・教育充実料は該当する学部・学科のみ。)

②「その他の費用」は次のものになります。

・雨水会費

・学生課外活動育成会費

III 学籍異動に係る納付金について

休学・原級・退学等、学籍異動時には必要な納付金が変わります。

休学：一般施設設備資金、およびその他の費用が必要となります。

原級：四年生で原級する場合、当該年度の正規四年生の納付金と同額になります。

なお「学籍異動願い」が受理された日より学籍異動の効力が発生する日付が異なります。

申請手続について不明な点等は、各学部教務課等にお問い合わせください。

IV 納付金についての問い合わせ先

振込用紙の未着や紛失、支払額の詳細など、納付金に関するお問い合わせやご相談はテレフォンガイドを参照願います。また、東洋大学ホームページでも詳細をご覧になれます。

2017年度入学試験情報

<http://www.toyo.ac.jp/nyushi/>

2017年度の入学試験日程をご紹介します。掲載内容の詳細は、東洋大学入試情報サイトで必ずご確認ください。

センター利用入試

出願時期	出願期間(郵送・消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続締切日	試験会場
前期	1月6日(金)～1月13日(金)	1月14日(土) 1月15日(日)	2月14日(火)	2月28日(火)	各大学入試センター試験会場 (本学個別の学力試験は行いません)
中期	1月6日(金)～2月20日(月)		3月 5日(日)	3月10日(金)	
後期①	1月6日(金)～2月27日(月)		3月14日(火)	3月24日(金)	
後期②	1月6日(金)～3月 7日(火)		3月18日(土)		

センター利用入試は複数の学科を併願することや、同一学科を複数の判定型で併願することができます。後期は学部・学科・専攻により日程が異なりますので、ご注意ください。

一般入試(前期日程において、「英語外部試験利用制度」を導入します)

出願時期	試験日	出願期間(郵送・消印有効)	合格発表日	入学手続締切日	試験会場
前期	2月 1日(水)	1月6日(金)～1月23日(月)	2月 9日(木)	2月28日(火)	東京(白山キャンパス)、埼玉(川越キャンパス)
	2月 8日(水)	1月6日(金)～1月30日(月)	2月19日(日)		全国19会場*1
	2月 9日(木)				
	2月10日(金)	1月6日(金)～2月 2日(木)			
	2月11日(土)				
中期	2月27日(月)	1月6日(金)～2月20日(月)	3月 5日(日)	3月10日(金)	全国9会場*2
後期	3月 5日(日)	1月6日(金)～2月27日(月)	3月14日(火)	3月24日(金)	全国9会場*2
	3月 6日(月)				東京(白山キャンパス)

*1 東京(白山キャンパス)、埼玉(朝霞キャンパス)、札幌、仙台、郡山、水戸、宇都宮、高崎、千葉、東京(立川)、横浜、新潟、金沢、長野、静岡、名古屋、大阪、広島、福岡

*2 東京(白山キャンパス)、札幌、仙台、新潟、長野、静岡、名古屋、大阪、福岡

総合問題入試(情報連携学部 情報連携学科のみ実施)

出願時期	試験日	出願期間(郵送・消印有効)	合格発表日	入学手続締切日	試験会場
前期	2月1日(水)	1月6日(金)～1月23日(月)	2月9日(木)	2月28日(火)	東京(白山キャンパス)
後期	3月6日(月)	1月6日(金)～2月27日(月)	3月14日(火)	3月24日(金)	

実技入試(ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科のみ実施)

出願時期	試験日	出願期間(郵送・消印有効)	合格発表日	入学手続締切日	試験会場
前期	2月1日(水)	1月6日(金)～1月23日(月)	2月9日(木)	2月28日(火)	埼玉(朝霞キャンパス)

TOYOWebStyle Web体験授業

入学前に「学び」を知る。特別授業100+



100本以上の受験生向け授業動画を公開中!

「Web体験授業」は東洋大学の教員が、自身の専門分野に関する授業を通して、「学びの世界」を紹介する受験生向けの動画コンテンツです。

100本以上の授業動画を公開中。東洋大学の学びを体験してみてください。

南水会活動

平成27年度南水会活動報告

(平成28年度評議員会資料抜粋)

平成27年度事業報告

東洋大学は、2012年11月に創立125周年を記念して発出した「未来宣言」において、「諸学の基礎は哲学にあり」という理念を基礎に、「国際的に優れた水準」の大学の実現を目指すことを誓い、「哲学教育」、「グローバル教育」、「キャリア教育」を重点的に取り上げ、豊かな個性と未来志向の人材を社会に送り出すことを決意しました。(福川理事長「学校法人東洋大学予算編成方針」より)

また、学長重点施策として、国際化の推進、学士力の保証を促進する教育プログラム、キャリア教育の推進、地域貢献活動を展開する教育プログラムなどが掲げられています。(竹村学長「教学予算編成にあたって」より)

このような背景のもと、東洋大学では、「国際化」「キャリア教育」「哲学教育」の3つの柱に加え、文部科学省のスーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」採択に伴い、キャンパスの国際化などが予定されています。

東洋大学南水会は、昭和34年1月父兄会として設立され今日に至るまで、「東洋大学学生の父母又は保護者相互間の連絡を密にし、大学の興隆発展に協力するとともに、大学と協力して学生の心身の健全な発展を図ること」を目的として活動して参りましたが、平成27年度においては、南水会として大学の掲げる目標および事業を支援するため、大学との「協働」による事業分野を拡大し、学生の健全なる成長と大学の更なる発展に協力してまいりました。

以下、大学のご理解・協力のもとに、平成27年5月23日開催の評議員会で承認された事業計画に基づき執行した1年間の事業実施概要を報告いたします。

本部事業関係

1. 諸会議及び行事

【諸会議】

(1) 評議員会

平成27年度評議員会は、常任理事及び全国59支部支部長と、1,000名以上の会員を擁する支部選出の評議員とで構成され、会則第6章評議員第21条に基づき、評議員67名(定数80名)、監事2名が出席し、平成27年5月23日14時より白山校舎8号館125記念ホールにおいて開催された。

(2) 理事会

常任理事と地区長理事で構成され、会則第4章役員第8条に基づき、開催された。

- ① 平成26年度 平成27年4月18日
第2回理事会
- ② 平成27年度 平成27年11月7日
第1回理事会

(3) 常任理事会

会則第4章役員第9条に基づき、月1回の定例会議(但し、7・8月は除く)を開催し、業務を執行した。

- ① 平成26年度 平成27年4月11日
第9回常任理事会
- 第10回常任理事会 平成27年5月9日
- ② 平成27年度 平成27年6月6日
第1回常任理事会
- 第2回常任理事会 平成27年9月12日
- 第3回常任理事会 平成27年10月10日
- 第4回常任理事会 平成27年11月14日
- 第5回常任理事会 平成27年12月12日
- 第6回常任理事会 平成28年1月9日
- 第7回常任理事会 平成28年2月6日
- 第8回常任理事会 平成28年3月12日

(4) 常任理事会内委員会

必要に応じて業務を執行した。

(5) 役員選考委員会

会則第4章役員第6条に基づき、全国56支部より選出し、次期役員候補者を選考するため、平成28年1月16日に開催した。

(6) 地区別支部長会議

会則第10章第39条に基づき、平成28年2月に本部主催で関東15支部・甲信越3支部・北陸2支部が平成28年2月6日、東北6支部・中国5支部・九州8支部が2月13日、東海4支部・近畿4支部が2月20日、北海道5支部・四国4支部が2月27日に本部支部活動の円滑な連携と地区の活性化を目的とし、会議を開催した。

(7) 全国56支部長研修会

平成27年9月26日、本部主催で全国56支部長(代理含)の参加による、「南水会諸規程」及び「支部関係業務処理に関する取扱い」を主とした支部長研修会を開催した。

(8) 父母懇談会(大幅改正)⇄南水懇談会

平成26年度まで実施していた南水懇談会の内容を充実させ、平成27年度より大学主催による「学部別父母懇談会」として、関東地区支部東京・神奈川・埼玉・千葉・茨城・群馬・栃木・山梨の会員は、学生が在籍する校舎(白山・川越・朝霞・板倉)で大学教職員による「履修・成績及び学生生活・就職」等について説明・面談を6月に実施した。関東地区支部以外は「地区別父母懇談会」として開催された。

【行事】

(1) 父母懇談会

① 関東地区15支部（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、群馬県、栃木県）の会員は、学生が在籍する4校舎（白山・川越・板倉朝霞）で開催され、大学教職員による「報告・個別面談（履修・成績）」及び就職講演等を実施し、支部会員同士の親睦も深められた。

支部名/ 日付・校舎	支部 コード	6月14日(日) 白山校舎	6月14日(日) 川越校舎	6月20日(土) 朝霞校舎	6月20日(土) 板倉校舎	合 計
茨城	0801	69	27	14	31	141
栃木	0901	22	27	10	54	113
群馬	1001	20	26	7	22	75
埼玉	1101	5	29	2	5	41
埼玉	1102	51	57	16	9	133
埼玉	1103	57	40	14	25	136
埼玉	1104	101	72	15	26	214
千葉東	1201	110	5	8	10	133
千葉西	1202	97	15	8	4	124
城西東	1301	61	9	8	0	78
城西西	1302	50	10	5	2	67
中央	1303	40	2	4	0	46
城北	1304	76	23	18	4	121
多摩	1305	78	26	7	2	113
神奈川	1401	136	8	16	5	165
その他		122	41	11	32	206
出席者合計		1,095	417	163	231	1,906

② 関東地区以外41支部

全国41支部については、大学主催の「地区別父母懇談会」として、全国26会場にて開催し、参加者は847名であった。大学教職員及び本部役員が出張し、「履修・成績及び学生生活・就職」等について説明・面談を実施し、さらに個人面談の待ち時間に茶話会として、大学教職員・都府県就職担当者と会員相互とで意見交換をした。

(2) 会員の集い・就職フォーラム

会員相互の親睦を深め、就職関係の充実を

図ることを目的とし、白山キャンパス井上円了ホールにおいて11月8日(日)に、大学主催のホームカミングデーと同日開催した。内容として、まず午前中2回に分けて白山キャンパスターを実施、午後からは、東洋大学竹村牧男学長および浦水会茂木明男会長からの挨拶があった。引続き、就職フォーラムを実施、(株)エービーシーエデュケーションチーフコンサルタント山本みどり氏より、「就職に向けて：保護者のかかわり方」と題して実践的な講演があった。引続き東洋大学浦水会唐木重典副会長より「親として、そして採用側経験者としてのメッセージ」と題して講演が行われた。さらに、就職・キャリア支援部大田啓子部長より「本学の就職支援について」と題しての講演が行われた。

平成27年度の参加者は、635名であった。なお、過去6年間実施した結果としては、平成21年度は546名、22年度は330名、23年度は228名、24年度は472名、25年度は383名、平成26年度は516名の参加者数であった。

2. 学生支援諸制度

(1) 奨学金……「奨学生規程」に基づき、常任理事会において選考の結果、4名(留学生2名含む)を採用した。

(2) 弔慰金……「弔慰金規程」に基づき、会員の申請により4名に支給した。

(3) 学生総合補償制度……1年生を対象とする「学生総合補償制度」の傷害保険への任意加入者は、287名であった。

(4) 学生クラブ・サークル、学術研究等援助・表彰制度……「援助・表彰基準」により、1部体育会・2部体育会の団体の部8団体及び個人の部39名へ表彰状と褒賞金(161万円)を援助した。また、学生クラブ・サークル活動(運動部文化・学術研究サークル・ゼミ等)に対し、学生部と連携して申請が出された13サークルに(39万円)、スポーツ東洋新聞等広告掲載料として(21万円)援助した。また、4年に一度の第九演奏会実施に伴い(文化部)東洋大学第九

実行委員会へ(10万円)援助。さらに、顕著な活動が認められた(運動部)東洋大学サッカー部総理大臣杯大会出場に伴う派遣および、世界インフラアルペンワールドカップ大会海外派遣等へ(15万円)援助した。学生支援を目的とした板倉図書館及び朝霞図書館イベント事業実施に伴い(15万円)援助した。

(5) 100円朝食……平成26年度試験運用の実施結果を鑑み今年度も引続き申請に基づき、平成27年度7月春学期4キャンパス学生食堂にて、学生に期間限定で朝食提供補助723食(186,600円)援助、及び1月秋学期は、739食(183,600円)援助した。

(6) 体育会特別援助金……体育後援会への本部拠出金400万円を拠出したことにより、特別援助金については大学よりの申請がないことに基づき、今年度の援助執行はなかった。

(7) 資格取得報奨金制度(新規)……各学部で実施している資格取得報奨金について、該当学部以外の対象学生について学生の申請に基づき他学部の報奨金に準じた報奨金を支給することとしたが、今年度の援助執行はなかった。次年度については、改めて関係事務局と調整のうえ計画していく。

(8) 大学のグローバル化に係る学生への援助(新規)……大学のグローバル化の推進に伴い必要となる学生への支援について、今後のグローバル化の進展状況に応じて援助することとしたが、今年度の援助執行はなかった。次年度については、改めて関係事務局と調整のうえ計画していく。

3. 浦水会費の徴収・支部運営費の交付

(1) 浦水会費の徴収

浦水会費は、1部の学生は入学時及び毎年授業料払込時に5,000円を徴収し、2部学生については、任意加入とし本部に納入された。

(2) 支部運営費

① 支部運営費は、支部会員数割単価により所属会員数1人当り(1,000名未満支部@1,050円・2,000名未満支部

@900円・2,000名以上支部@750円)を乗じ、さらに1支部定額10万円を加算し、本部から年1回6月に25,810名分を支部運営費として(29,627,600円)を支出した。

1) 会員数	
*3ブロックに区分した単価 (6月支給)	
2,000名以上支部	@ 750× 2,719名= 2,039,250円
2,000名未満支部	@ 900× 15,048名= 13,543,200円
1,000名未満支部	@1,050× 8,043名= 8,445,150円
	25,810名 24,027,600円
2) 支部定額	
	56 支部×@100,000 (6月支給) 5,600,000円
	1) + 2) 29,627,600 円

- ②支部開催事業(講演会、就職説明会、校舎見学会、その他主たる目的が会員親睦である活動以外の活動を目的とした支部行事)に対して、12支部主催行事に(897,220円)援助した。
- ③会員数割傾斜援助金、調整金、支部総会援助金、地区別支部長会議援助金は廃止した。なお、地区長主催で全国7地区において、地区別支部長会議開催に伴う会場費等の経費は、10万円を上限として本部に於いて(447,183円)負担援助した。

4. 就職関係

就職説明会開催希望支部について講師派遣などを大学側と協議した。なお、大学教職員の支部就職説明会派遣に伴う旅費交通費等は大学側に負担をお願いした。

5. 大学事業(行事)に対する支援協働

会則に定める「目的及び事業」を達成するため、大学事業については積極的に援助・協働することを基本とし、雨水会事業計画に基づき執行した。

- (1) 父母懇談会開催に伴う経費(新規)
平成27年度より大学主催の「父母懇談会」開催に伴い、雨水会本部及び各支部が実施・運営に關して協働(連携・支援・協力)態勢とし、実施経費うち、昼食・会場費等及び茶話会の飲物代については、予算の範囲内に雨水会が(7,497,242円)負担した。
- (2) 父母専用相談窓口運営に伴う経費(新規)
平成27年度開設の父母専用相談窓口の運営について、大学と協働して推進して行く態勢として実施し、7件の相談があった。
- (3) 新入生父母に対する説明会実施に伴う経費(新規)
学部主催「新入生父母に対する説明会」について、大学との協働のもとで、充実と拡大を推進して行く態勢とし、国際地域学部父母ガイダンス経費として(99,597円)援助した。
- (4) 体育後援会に対する援助
体育後援会は、校友会・本会とで構成し、本部拠出金として(400万円)援助した。
- (5) 「井上円了が志したものは」に対する援助
井上円了記念学術センターの企画・実施実行委員会を構成、その運営費の一部(150万円)を負担援助した。
- (6) 卒業記念品
毎年度、卒業記念品購入代金として大学・校友会・本会の三者負担による分担金(180万円)を援助した。
- (7) 全学的な行事に対する援助
4キャンパスで実施される大学祭(白山祭・朝華祭・こもれび祭(川越・雷祭(板倉)へ(220万円)援助した。さらに、3キャンパスで実施されたスポーツ大会(川越朝霞板倉に(32万円)援助した。
- (8) 留学生団体等に対する援助
大学の国際化が求められている今日、留学

生連合会の活動に対し(7万円)援助した。

(9) 学部行事等に対する援助

学生を対象とした学部行事・コンクール等において、優秀者に「雨水会会長賞」として、法学部新入生行事に対して、ポケット六法65冊を授与し、法学部法律討論会及び法学部ゼミ発表会に(197,009円)援助、経営学部経営学会主催ゼミ合同研究発表大会へ盾14枚を授与(5万円)、国際地域学部の日本語・中国語弁論大会へ(36,699円)援助した。

(10) 「東洋大学教育・研究協力資金」募金に対する協力
創立150周年に向けて国際的に評価される大学を目指した、①育英事業の展開②教育・研究活動支援③学生課外活動の充実④教育研究施設・設備の拡充に係る募金の取組みに対して、平成26年度に引き続き、平成27年度についても本部予算として大学へ1,000万円の寄付を行い、併せて各支部及び会員に対して大学への協力をお願いした。

(11) 会長施策費(新規)

重点施策として会長が判断したものに對し、常任理事会での承認のうえ、平成28年1月2日「東洋大学雨水会第92回箱根駅伝応援ツアー(日帰り)」を実施、参加者は41名であり、1人4,000円の参加費を徴収、経費として(305,446円)を支出した。

6. 大学・校友会行事等に対する協力

大学・校友会が年間行事として実施する祭事等に、雨水会代表者を派遣・協力した。

(1) 大学・校友会行事に派遣、協力した。

- ①平成27年4月6日 入学式
- ②平成27年4月12日 2015年度新入留学生歓迎会
- ③平成27年4月24日 箱根駅伝で優勝させる会総会
- ④平成27年5月24日 東洋大学校友会校友大会
- ⑤平成27年5月28日 体育後援会第1回運営委員会

- ⑥ 平成27年6月6日 学祖祭
- ⑦ 平成27年10月11日 校友会「平和祈念の碑に集う会」
- ⑧ 平成27年11月7日 哲学堂祭
- ⑨ 平成27年11月25日 東洋大学ライフデザイン学部開設十周年記念式典
- ⑩ 平成27年12月9日 川越体育会功労者表彰式
- ⑪ 平成27年12月20日 留学生連合会年末交流会
- ⑫ 平成28年1月5日 第1回井上円了が志したものは実行委員会体育後援会第2回運営委員会
- ⑬ 平成28年2月17日 一部二部体育会表彰式
- ⑭ 平成28年2月25日 校友会学生研究奨励基金授与式
- ⑮ 平成28年3月17日 卒業式
- ⑯ 平成28年3月23日 卒業式

7. 広報活動

会員相互間の連絡を密にすることを目的として広報活動を実施し、「会員のしおり」及び「会報東洋」の発送に伴う経費は、大学側をお願いした。

- (1) 新入会員対象の「会員のしおり」 平成28年1月発行
- (2) 全会員対象の「会報 東洋」 平成27年12月発行
- (3) 本部役員及び支部長対象の「雨水会ジャーナル」 平成27年4月・10月発行
- (4) 大学側にリンクした雨水会のホームページを通じ、情報活動を強化した。

8. 会員情報管理システム

雨水会本部では、大学の教務部門の情報を活用し、会費納入処理等を行っている。会員情報管理システムは、平成26年度から卒業生・雨水会連携推進室に依頼している。また、支部要請の宛名ラベルを本部で作成提供した。

護に関する法律」及び「学校法人東洋大学における個人情報保護に関する規程」等に基づき、情報の使用・管理については、引き続き支部での協力をお願いした。

大学と「個人データの提供に伴う個人情報の機密保持及び安全管理に関する契約書」を締結し、申請に基づき取り扱っている。

なお、ホームページについては、大学側ホームページにリンクし、最新データを随時加えることによって情報化を促進してきた。

9. 会員の満足度向上と帰属意識昂揚のための施策

支部総会開催時に配布するために、雨水会トートバックを3,000枚(736,560円)作成し、支部へ配布した。

支部事業関係

1. 支部総会

平成27年度より大学主催の「父母懇談会」開催に伴い、関東地区支部は、従来通り支部総会は別途に独自開催し、関東地区以外の支部に於いては、原則として支部総会開催は一部の支部を除き、大学主催の父母懇談会開催日と同日の同じ会場で午前中に開催した。

- ① 支部総会……56支部 会員数25,810名
- ② 開催日……平成27年6月20日(9月6日)
- ③ 出張者……雨水会本部代表者 延べ46名
- ④ 出席者……1,420名

2. 支部行事

就職説明会・講演・研修会等支部主催行事については、支部からの開催要望に基づき、日程及び派遣者依頼について大学側と調整し、また、講演・研修会等の講師について、本学教員を希望する場合、本部からの紹介を含め協力した。

実施支部は以下の通りであり、雨水会の支部主催行事援助金支給規程に基づき援助金を支出した。

① 就職説明(懇談)会

月 日 曜	支 部	場 所	事務説明者(敬称略)	出席者数
7月 5日 日	千葉県西	浦安ブライTONホテル東京ベイ	部長 大田 啓子	70
11日 土	茨城県	ホテルマロウド筑波	外部講師 川田 英利	79
11日 土	千葉県東	千葉市生涯学習センター	課長 中村 健司	68
12日 日	東京都城東・城西・中央・城北・多摩	白山キャンパス1号館1402教室	外部講師 川田 英利	152
18日 土	埼玉県北	埼玉グランドホテル深谷	外部講師 川田 英利	60
26日 日	栃木県	コンセーレ	外部講師 山本 みどり	93
10月 3日 土	山梨県	ホテル談露館	課長 中村 健司	33
11日 日	群馬県	前橋商工会議所	外部講師 櫻井 照士	115
31日 土	北海道旭川	かた岡	外部講師 校友会旭川支部 幹事長 保坂 滋男	16
11月14日 土	静岡県	静岡労政会館	課長補佐 須田 憲明	135
15日 日	山形県	大手門パルズ	課長補佐 萩原 剛志	28
21日 土	秋田県	第一会館 本館	部長 大田 啓子	29
29日 日	千葉県東	京成ホテルミラマーレ	外部講師 渡邊 剛	67
12月 5日 土	鳥取県	鳥取ワシントンホテルプラザ	課長補佐 腰山 雅基	13
6日 日	宮城県	TKP仙台西口ビジネスセンター	課長 中村 健司	36
1月31日 日	埼玉県南	武蔵浦和コミュニティセンター	外部講師 渡邊 剛	69
合 計				1,063

②大学施設設備校舎見学会

月 日	曜	支 部	場 所	出席者数
10月 3日	土	栃木県	白山校舎・板倉校舎	29
11月14日	土	東京都城西	板倉校舎	25
21日	土	東京都城東	川越校舎	24
12月 5日	土	群馬県	白山校舎・板倉校舎	38
3月12日	土	東京都城北	川越校舎	45
27日	日	阪奈	川越校舎	9
合 計				170

③講演・研修会等

月 日 曜	支 部	講演会・研修会等／内容	講演者(敬称略)／場所	出席者数	
4月 4日	土	阪奈	硬式野球部春季大会に向けての激励会	川越キャンパス	24
5月 3日	日	大分県	全国大学選抜相撲宇佐大会応援	大分県宇佐市総合運動場	9
24日	日	東京都中央	2015競泳ジャパン・オープン決勝応援行事	東京都辰巳国際水泳場	35
7月 5日	日	千葉県西	「東洋大学の建学の精神に基づく未来構想」	東洋大学学長 竹村 牧男	70
11日	土	埼玉県南	「東洋大学の現状と雨水会の改革について」	東洋大学雨水会顧問 村田 薫	83
25日	土	埼玉県中央	「学生時代の私と今の私～昨今の就職市場に触れながら～」 「私の野球人生」	東洋大学OB 藤田 智也 西武ライオンズアカデミーコーチ 平尾 博嗣	38
26日	日	栃木県	特別講演	東洋大学副学長 神田 雄一	93
26日	日	神奈川県	東洋大学の現状と未来スーパーグローバル大学創成支援採択をうけて	東洋大学学長 竹村 牧男	58
8月13日	木	徳島県	東洋大学連 阿波踊り参加	徳島市内 阿波踊り演舞場	107
14日	金				
22日	土	新潟県	東洋大学陸上競技部山古志合宿支援と激励	新潟県長岡市山古志	13
22日	土				
9月13日	日	東京都城北	ウォーキング&ボデイケア講習会	ファイテン(株) 澤野 悠大	31
10月12日	月	島根県	第27回出雲駅伝応援ツアー	出雲大社～出雲ドーム等	20
12日	月	岡山県	第27回出雲駅伝応援ツアー	出雲大社～出雲ドーム等	19
12日	月	広島県	第27回出雲駅伝応援ツアー	出雲大社～出雲ドーム等	41
17日	土	埼玉県東	埼玉県立自然の博物館他	埼玉県長瀬町	62
18日	日	東京都城北	支部研修会・箱根ウォーキングと駅伝コース巡りバス旅行	箱根恩賜公園・駅伝ミュージアム等	38
11月 8日	日	茨城県	江戸東京博物館と雨水会「会員の集い・就職フォーラム」参加	江戸東京博物館・東洋大学白山キャンパス	30
8日	日	京都府・滋賀	会員の集い・就職フォーラム参加ツアー	白山キャンパス	4
14日	土	埼玉県北	研修会 善光寺と軽井沢アウトレットを巡る日帰り親睦旅行	長野県善光寺・軽井沢アウトレット	36
14日	土	東京都城西	日帰りバスツアー「板倉キャンパス見学と文福茶釜の茂林寺・菊花展拝観」	板倉キャンパス	25
15日	日	東京都多摩	多摩支部研修旅行 秋の湖畔のひとときを！河口湖セミナーハウス見学会	河口湖セミナーハウス	29
28日	土	埼玉県中央	日帰り研修バス旅行	東京臨海広域防災公園(そなエリア)	50
29日	日	千葉県西	「香り高い紅茶とスイーツで、アフタヌーンティー&来客時のテーブルセッティング」	高田 史子講師 南行徳市民談話室	27
12月 5日	土	神奈川県	「親のための就活セミナー」と白山キャンパス周辺散策	ふるさとボランティアガイド及び 株あさひ学情 藤田 智也	39
21日	月	東京都中央	定期演奏鑑賞会(第九演奏会)	東洋大学管弦楽団等	25
1月 2日	土	山梨県	第92回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	箱根駅伝往路ゴール付近	23
3日	日	茨城県	第92回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	日比谷公園付近	17
3日	日	埼玉県中央	第92回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	日比谷通り(西新橋付近)	20
3日	日	千葉県西	第92回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	パシフィックセンチュリー横	25
3日	日	東京都城西	第92回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	日比谷	12
3日	日	東京都中央	第92回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	日比谷花壇前	27
2日	土				
3日	日	神奈川県	第92回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	横浜駅東口、藤沢橋、箱根湯本駅前等	58
6日	水				
～9日	土	北海道室蘭	第88回日本学生氷上選手権大会(インカレ日光大会)応援	日光霧降アイスアリーナ等	7
6日	水				
～9日	土	北海道釧路	第88回日本学生氷上選手権大会(インカレ日光大会)応援	日光霧降アイスアリーナ等	12
6日	水				
～9日	土	青森県	第88回日本学生氷上選手権大会(インカレ日光大会)応援	日光霧降アイスアリーナ等	5
23日	土	千葉県西	千葉県西支部バス研修	アサヒビール工場・筑波宇宙センター・あみプレミアムアウトレット等	57
30日	土	東京都城东	簡単・ヘルシー雑穀料理教室	江東総合区民センター	26
2月20日	土	埼玉県東	新春講演(研修)会「2016年卒就職戦線の振り返りと来季の展望について・この時代に求められる親の役割とは」	ソーシャルデザインニング研究所 渡邊 剛	46
20日	土	埼玉県南	日帰り研修旅行	勝浦ホテル三日月・房総勝浦おさかな村等	39
3月 6日	日	東京都多摩	立川シティハーフマラソン応援と懇親会	立川市付近	39
合 計					1419

甫水会収支関係

甫水会費……年額5,000円

第1部会費徴収数	25,350名	126,750,000円
第2部会費徴収数	469名	2,345,000円
合 計	25,819名	129,095,000円

平成27年度会計報告

平成27年度決算は、4月および5月に開催されました理事会・評議員会において、承認されました。

平成27年度一般会計決算報告書

自平成27年4月1日～至平成28年3月31日

貸 借 対 照 表

平成28年3月31日現在

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
(流 動 資 産)	(90,239)	(流 動 資 産)	(1,760)
現 金	57	前 受 金	435
普 通 預 金	90,147	預 り 金	1,040
郵 便 振 替	35	未 払 金	285
(固 定 資 産)	(11,000)	正 味 財 産 の 部	
甫水会記念事業積立金	11,000	次 年 度 繰 越 金	88,479
		特定資産次年度繰越金	11,000
合 計	101,239	合 計	101,239

一般会計収支計算書

自平成27年4月1日～至平成28年3月31日

(単位:千円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
甫 水 会 費 収 入	129,095	事 業 費	88,440
雑 収 入	1,197	管 理 費	13,611
投 資 活 動 収 入	0	投 資 活 動 支 出	1,000
前 年 度 繰 越 金	61,238	次 年 度 繰 越 金	88,479
合 計	191,530	合 計	191,530

平成28年度雨水会活動計画

(平成28年度評議員会資料抜粋)

●平成28年度事業計画●

東洋大学雨水会は、昭和34年1月父兄会として設立されてから今日に至るまで、「東洋大学学生の父母又は学生の保護者相互間の連絡を密にし、大学の興隆発展に協力するとともに、大学と協力して学生の心身の健全な発達を図ること」を目的としており、今年度で創設57年目を迎えることとなる。また、平成27年度より、雨水会として大学の掲げる目標及び事業を支援するため、大学との「協働」のもと、事業分野を拡大し、各種事業を実施した。特に、雨水会として大幅な改革初年度である平成27年度は、雨水会支部総会と父母懇談会を切り離して実施し、父母懇談会は大学主催で全父母対象に実施した。このことにより、大学代表教員による「大学の現況」および就職関連の説明時間を十分に確保したことの効果は大きい。

東洋大学が平成24年に、「諸学の基礎は哲学にあり」の理念を基礎として、創立125周年を記念して発出した「東洋大学は世界標準の教育と研究、社会貢献活動を推進するのみならず、国際的に優れた水準の大学を目指す」といった「未来宣言」の実現、さらには、平成26年に採択された、スーパーグローバル大学創成支援プログラムにある、グローバルリーダー大学のアジアのハブ大学を目指すための、グローバル人材の育成の一助となるよう、学生の健全な成長と大学の発展に協力することは言うまでもありません。

このような背景のもと、平成28年度は、大学との「協働」「連携」の基本方針のさらなる充実を目指して、雨水会の事業を展開してまいります。

以下、平成28年度雨水会事業計画の概要を説明いたします。

本部事業関係

1. 諸会議及び行事

【諸会議】

(1) 評議員会

常任理事及び全国56支部長と1,000名以

上の会員を擁する支部選出の評議員とで構成され、会則第21条の重要項目に関して審議を行う最高議決機関であり、定例会として年1回5月に開催する。

(2) 理事会

常任理事と地区長理事で構成され、本会運営の基本業務について常任理事会の執行事項の確認・承認を行う機関であり、定例会として年2回10月及び翌年4月に開催する。

(3) 常任理事会

原則として、毎月1回開催する(7・8月は除く)。本会運営の基本的業務について、評議員会理事等で決定した事業計画を円滑に執行する。

(4) 常任理事会内委員会

必要に応じて委員会を開催し、業務を執行する。

(5) 役員選考委員会

次期役員候補者を全国56支部より推薦していただき、1月に役員候補者の選考を行う。

(6) 地区別支部長会議

全国10地区において地区長主催で、本部支部活動の円滑な連携と各地区組織の活性化を目的とし、地区別支部長会議及び実務研修を2月に実施する。

(7) 全国56支部長研修会

本部主催で全国56支部長の参加による会議及び実務研修を10月に開催する。

【行事】

(1) 父母懇談会

平成27年度より、雨水会主催で実施していた雨水懇談会の内容を充実させる為、大学主催による父母懇談会として実施する。

雨水会本部及び各地方支部が実施・運営に關して協働(連携・支援・協力)する。

関東地区(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県)支部の会員は、学生が在籍する校舎(白山、川越、板倉、朝霞で大学教職員による「履修・成績及び学生生活・就職」等について説明・面談を6月に実施する。また、前記以外の全国の支部については、6月から9月に全国26会場で実施する。

(2) 会員の集い・就職フォーラム

会員相互の親睦を深め、就職関係の充実を図ることを目的とし、10月に実施する。講演内容として、魅力ある講演者・テーマ等を選択し参加者の増員を図りたい。なお、遠隔地支部会員については、規定額の交通費を補助する。

2. 学生支援諸制度

(1) 奨学金制度

会員が不測の事故等で家計が急変し、修学が困難となった学生に対し、規程により常任理事会の議を経て、原則として月額3万円の奨学金(予算20名分)を1年間給付する。なお、予算の範囲内でより多くの学生に給付する事を目的とし、東洋大学奨学金との併用は、制限するものとする。

(これまで実施していた大学よりの推薦による留学生対象の奨学金については、雨水会としての役割を終えたものとして、平成27年度で終了する。)

(2) 学生クラブ・サークル、学術研究等援助・表彰制度

学生クラブ・サークル活動(運動部・文化部・学術研究サークル・ゼミ等)を学生部と連携して、より多くの活動に対し賞賛・奨励する。文化系サークルに対しても全面的に支援する。

また、学生クラブ・サークルに該当しない学生団体及び個人について、顕著な活動が認められ、大学から特段の要請があった場合にも表彰又は援助する。

さらに、文化系サークルに対しては3万円の援助をするともに、広く周知することにより、支援の強化を図ることとする。(727万円)

(3) 学生食堂朝食提供補助

平成26・27年度試験運用の実施結果を鑑み、平成28年度は新入生の食育の一環として、食環境科学部の協力を得たうえで、今年度も引き続き申請に基づき援助する。(200万円)

(4) 東洋大学社会貢献センター学内講座雨水会援助制度(新規)

平成28年度より新設の東洋大学社会貢献センター学内講座の実施に伴い、対象講座に

合格した学生に対して、申請に基づき額に準じた褒賞金を支給する。なお、他学部との褒賞金とは重複しないものとする。ただし、予算の範囲内とし、学生1人当たり年度1回とする。(150万円)

(5) 弔慰金制度

不測の事故等で会員又は会員のご子女が死亡した時、その遺族に対して弔慰金3万円を支給する。

(6) 学生総合補償制度

1年生対象の任意加入、学生総合補償制度の案内を東洋大学の子会社であるキャンパスサービスに委託して実施する。なお、引き続き、周知方法・時期を工夫する、補償内容を見直す等の改善により、加入者の増加を図ることとする。

3. 雨水会費の徴収・支部運営費の交付

(1) 雨水会費の徴収

雨水会費は、1部学生については、大学に代理徴収を依頼し、入学時及び毎年授業料払込時に5,000円を徴収する。2部学生については、任意加入として本部に納入する。

(2) 支部運営費(改正)

①支部運営費は、支部会員数による傾斜配分を改め、所属会員数1人当たり1,000円を乗じ、さらに会員が1,000名未満支部について100,000円を加算し、本部から年1回6月に各支部に交付する。(30,600,000円)

②支部開催事業(講演会、就職説明会、校舎見学等、その他主たる目的が会員親睦である活動以外の活動を目的とした支部行事に対して、原則として支部予算の範囲内で実施するものとする。ただし、支部予算では賄えない場合で、やむを得ないと認められる場合についてのみ、支部からの申請に基づき審議のうえ、年度10万円の範囲内で援助する。

さらに、文化・体育活動の支部主催応援行事等については、支部からの申請に基づき、繰越金等を考慮し審議のうえ、年度10万円の範囲内で援助する。(250万円)

4. 就職問題

本部または各支部で実施する就職関係講演

会等行事については、6月から実施する父母懇談会の内容を踏まえた上で、実施時期、講演者、講演内容を検討するとともに、父母のニーズに合致しているか等効果を考慮して実施する。そのためにも、雨水会事務局を通じて、大学における就職関連担当事務局(就職・キャリア支援部等)と連携して、行事内容および講演者の選定を行う。

5. 大学事業(行事)に対する支援協働

会則に定める「目的と事業」を達成するために、大学事業については積極的に援助・協働することを基本としている。

(1) 父母懇談会開催および雨水会支部総会同日開催に伴う経費

平成27年度より大学主催の父母懇談会実施に伴い、雨水会本部及び各支部が実施・運営に関して、今年度も引き続き大学との協働(連携・支援・協力)体制とする。特に、全国会場で実施する地区別父母懇談会並びに雨水会支部総会の実施経費のうち、会場費等については、大学事務局との話し合いにより予算の範囲内で雨水会が負担する。(1,000万円)

(2) 父母専用相談窓口運営に伴う経費

平成27年度に開設した父母専用相談窓口(父母ホットライン)の運営について、大学と協働して推進する。また、必要な経費の一部についても予算の範囲内にて雨水会が負担する。(10万円)

(3) 新入生父母に対する説明会実施に伴う経費

学部主催「新入生父母に対する説明会」(入学式当日に実施)について、大学との協働のもとで、充実と拡大を推進して行く態勢とし、必要な経費の一部についても予算の範囲内にて雨水会が負担する。(50万円)

(4) 体育後援会に対する援助

スポーツ活動を支援するため、校友会・本会とで構成される体育後援会に対して、本部拠出金として支援することとするが、運営方法については、別途協議する。(400万円)

(5) 井上円了が志したものは「」に対する援助

実行委員会を構成、その運営費の一部を援助する。(200万円)

(6) 卒業記念品

毎年度、卒業記念品購入代金として大学・校友会・本会の三者負担による分担金を援助する。記念品目については、関係部署と事前に協議する。(180万円)

(7) 全学的な行事に対する援助

大学祭(白山祭・こもれび祭(川越)・朝華祭・雷祭(板倉))の4校舎に(230万円)援助する。

さらに、スポーツ大会(川越・朝霞・板倉)の3校舎に(35万円)援助する。

(8) 留学生団体等に対する援助

大学の国際化が求められている今日、大学の活性化にも繋がる留学生連合会等団体の活動に対し広く援助する。(10万円)

(9) 学部行事等に対する援助

学生を対象とした学部行事・コンクール等において、優秀者に「雨水会会長賞」を授与することを通して、大学行事の振興及び学生に対する支援を目的とし援助する。(100万円)

(10) 「東洋大学教育・研究協力資金」募金に対する協力

創立150周年に向けて国際的に評価される大学を目指した、①育英事業の展開、②教育・研究活動支援、③学生課外活動の充実、④教育研究施設・設備の拡充に係る募金の取り組みに対して、平成27年度に引き続き、平成28年度についても本部予算(案)としての寄付を行うとともに、各支部及び会員に対して大学への協力を促す。(1,000万円)

(11) 会長施策重点支援事業費

学生により近いところへの支援事業として、会長が考案した内容について、常任理事会での承認を得て支出するものとする。(100万円)

6. 大学・校友会行事等に対する協力

大学・校友会が年間行事として実施する祭事等に、雨水会代表者を派遣・協力する。

7. 広報活動

会員相互間の連絡を密にすることを目的として広報活動を実施する。

①新入会員対象の「会員のしおり」……年1回(平成29年1月発行予定)

- ②全会員対象の「会報東洋」……………年1回
(平成28年12月発行予定)
- ③本部役員及び支部長対象の「浦水会ジャーナル」
……………年2回(平成28年4月・10月発行予定)

「会員のしおり」及び「会報東洋」の発送は、大学の送付物に同封する。

- ④東洋大学ホームページにリンクした浦水会ホームページの有効活用。特に、各支部におけるニーズを踏まえ、浦水会ホームページの充実を図るとともに、浦水会本部ならびに各支部活動をアピールするための予算として計上する。(100万円)

- ⑤新会員(新入生のご父母)向けのリーフレット作成(新規)

新入生の父母向けのリーフレットを作成して送付し、浦水会活動の目的及び行事に参加することのメリットをアピールすることにより、浦水会活動を身近なものと感じて頂く。

このことにより、1年生に浦水会行事に参加していただくことで、次年度以降にもつながり結果として、円滑な役員確保につながることを期待する。(146万円)

8. 会員情報管理システム

浦水会本部では、大学の教務部門の情報を利用し、会費納入処理等を行っている。

会員情報管理システムは、平成26年度からは、卒業生・浦水会連携推進室に依頼することとなっている。また、支部要請の宛名ラベルを本部で作成提供できるようになっている。

情報の使用・管理については、「個人情報保護法」に基づき適切に管理されるよう、引続き支部でのご協力をお願いする。

大学と「個人データの提供に伴う個人情報の機密保持及び安全管理に関する契約書」を締結し、申請に基づき取り扱っている。なお、ホームページについては、大学側ホームページにリンクし、最新データを随時加えることによって、情報化を促進する。

9. 会員の満足度向上と帰属意識昂揚のための施策

本部で実施する諸行事への出席者に配布するための浦水会グッズを作成する。(100万円)

支部事業関係

各支部が中心になって主催する行事等については「支部主催行事援助金」支給基準により、支援・協力する。

- (1) 支部総会

平成27年度より実施の大学主催の父母懇談会開催に伴い、関東地区以外の支部については、原則として支部総会開催は、大学主催の父母懇談会開催日と同日の同じ会場で実施する。(一部都合により父母懇談会と別日程で支部総会を開催せざるを得ない場合は、浦水会本部と相談のうえ別途支部において、別日程で支部総会を開催する場合がある。)

また、関東地区の支部については、従来通り支部総会は別途、別日程で独自で開催する。

- (2) 就職説明(懇談)会

各支部において、独自で就職説明(懇談)会を計画した場合は、「浦水会支部関係業務等処理手順」に基づき、9月末日までに浦水会事務局へ申請書を提出する。支部からの開催要望に基づき、日程及び派遣者依頼願いについて大学側と調整し支部へ報告することになっている。

- (3) 大学施設設備校舎見学会

校舎案内者を派遣依頼要請する関係から、就職説明(懇談)会同様の手順で申請して頂く。なお、4校舎の父母懇談会時にはそれぞれのキャンパスで校舎見学を実施し、本部主催事業の「会員の集い・就職フォーラム」では、白山キャンパスの校舎見学を実施する。

- (4) 講演・研修会等

講演・研修会等の講師について本学教員を希望する場合、本部からの紹介を含め協力する。

浦水会収支関係

- (1) 収入について

①浦水会費5,000円については、「大学に委託徴収を依頼」している。
第1部の入学生及び在学生から徴収する。なお、留学生は除く。

第2部の入学生及び在学生は、任意加入として本部が徴収する。

②雑収入については、学生総合補償制度の事務費収入等がある。

- (2) 支出について

【事業費】

①本部関連事業の主要行事である、支部総会、会員の集い・就職フォーラム、就職説明(懇談)会、会報発行等については大学と協働のうえ、予算を執行する。

②支部関連事業の支部主催行事についても規程に準じて援助し、各支部の活性化を図る。

③学生協力費については、前年度通り本会の目的に基づき、大学祭、スポーツ大会、クラブ・サークル等の援助を学生部と連携して交付する。

④人件費は、事業費関連事務に伴う人件費を労働契約書に基づき支出する。

⑤平成28年度新規施策事項については、必要な経費を計上した。

【管理費】

①会議費は、各会議等に要する旅費交通費等である。

②通信費、印写費、支払手数料、備品費等事務に要する費用を科目ごとに計上している。

③人件費は、事業費関連事務以外の事務に伴う人件費を労働契約書に基づき支出する。

④平成28年度新規施策事項については、必要な経費を計上した。

⑤予備費については、緊急支出として措置する。

【特定資産取得支出】

①浦水会記念事業積立金は、浦水会60周年記念事業(平成31年度)に向けての準備積立金を計上している。(100万円)

以上

平成28年度予算書

平成28年度予算は、理事会・評議員会に於いて、事業計画書と共に提出、報告されました。

一般会計収支予算書

自平成28年4月1日～至平成29年3月31日

(単位:千円)

収入の部		支出の部	
甫水会費収入	130,000	事業費	127,719
雑収入	846	管理費	25,532
投資活動収入	0	投資活動支出	1,000
前年度繰越金	88,479	予備費	1,500
		次期繰越収支差額	63,574
合計	219,325	合計	219,325

以上の説明、報告を受け「平成28年度一般会計予算書」については、審議の結果、承認されました。

平成28年度父母懇談会・支部総会報告

首都圏

首都圏15支部

父母懇談会出席者数

支部名	6月18日(土) 板倉校舎	6月18日(土) 朝霞校舎	6月26日(日) 白山校舎	6月19日(日) 川越校舎	合計
茨城	31	7	33	26	97
栃木	35	0	16	13	64
群馬	19	3	16	21	59
埼玉北	4	0	13	15	32
埼玉中	5	4	29	48	86
埼玉東	10	5	33	8	56
埼玉南	14	7	65	56	142
千葉東	0	4	103	7	114
千葉西	4	6	67	17	94
城東	3	4	42	1	50
城西	1	11	51	8	71
中央	2	4	31	3	40
城北	4	14	45	16	79
多摩	4	11	70	19	104
神奈川	2	12	97	13	124
出席者合計	138	92	711	271	1,212

※出席人数は複数出席者を含む

首都圏15支部

支部総会出席者数

支部名	会員数	※出席者	※出席者 %
茨城	1,649	57	3.5
栃木	778	43	5.5
群馬	789	66	8.4
埼玉北	502	56	11.2
埼玉中	1,657	27	1.6
埼玉東	1,452	19	1.3
埼玉南	2,680	39	1.5
千葉東	1,845	54	2.9
千葉西	1,888	24	1.3
城東	1,133	13	1.1
城西	664	12	1.8
中央	508	17	3.3
城北	1,768	23	1.3
多摩	1,773	21	1.2
神奈川	1,975	37	1.9
合計	21,061	508	2.4

6月時点会員数

※出席者は受付名簿による

首都圏以外41支部

支部総会・父母懇談会(成績・履修出力数)

支 部 名	父母懇談会 開催場所	会員数	支部総会 参加者数	申込会員数 (学生数)	父母懇談会 参加者数
札幌・函館	札幌市	150	16	21	20
旭川		26	0	1	1
北見		33	7	4	7
室蘭		9	5	4	2
釧路		31	3	2	3
青森	釧路市	47	6	4	6
岩手	青森市	105	12	15	18
宮城	盛岡市	87	12	18	17
秋田	仙台市	198	28	29	33
山形	秋田市	111	21	20	23
福島	山形市	137	21	23	25
新潟	郡山市	401	23	26	31
富山	新潟市	731	36	62	81
石川・福井	富山市	133	14	13	24
山梨	金沢市	97	17	16	21
長野		28	0	1	0
静岡	甲府市	143	14	13	13
岐阜	長野市	622	44	47	66
愛知	静岡市	611	31	57	64
三重	名古屋市	54	11	10	14
京都・滋賀		167	13	20	25
大阪・奈良		55	8	8	8
和歌山	大阪市	37	3	2	3
兵庫		17	0	1	2
岡山		100	12	13	20
鳥取		18	8	6	6
島根	姫路市	175	21	21	24
広島		27	6	4	6
山口	米子市	30	8	6	10
徳島		19	9	7	7
香川	山口市	91	9	7	10
愛媛		42	6	9	8
高知	徳島市	20	7	7	8
福岡		34	8	6	8
佐賀	松山市	44	7	5	7
大分		51	6	4	6
長崎		125	19	18	25
熊本	福岡市	15	10	6	10
鹿児島		23	2	1	2
宮崎		40	4	6	4
沖縄	熊本市	61	21	27	30
		36	10	9	10
	宮崎市	32	12	11	13
	那覇市	57	5	6	5
合 計		5,070	535	596	726

6月時点会員数

平成29年度 東洋大学父母懇談会及び雨水会支部総会実施スケジュール(案)

平成28年度(当初)				
会場	開催県等	会場	月 日	曜日
1	静岡県	○	6月25日	土
2	岐阜県		6月26日	日
	愛知県	○		
	三重県			
3	福島県	○	6月26日	日
4	兵庫県	○	7月 2日	土
	岡山県			
5	阪奈	○	7月 3日	日
	京都・滋賀			
	和歌山県			
6	新潟県	○	7月 3日	日
7	熊本県	○	7月 9日 (9月11日に変更)	土
	鹿児島県			
8	宮崎県	○	7月10日	日
9	島根県	○	7月10日	日
	鳥取県			
10	秋田県	○	7月16日	土
11	岩手県	○	7月17日	日
12	沖縄県	○	7月17日	日
13	石川・福井	○	7月23日	土
14	富山県	○	7月24日	日
15	長野県	○	7月24日	日
16	山形県	○	7月30日	土
17	宮城県	○	7月31日	日
18	山梨県	○	7月31日	日
19	徳島県	○	8月20日	土
	香川県			
20	愛媛県	○	8月21日	日
	高知県			
21	山口県	○	8月21日	日
	広島県			
22	長崎県		8月27日	土
23	福岡県	○	8月28日	日
	大分県			
	佐賀県			
24	北海道釧路	○	8月28日	日
25	北海道札幌・函館	○	9月 4日	日
	北海道室蘭			
	北海道旭川			
	北海道北見			
26	青森県	○	9月 4日	日



平成29年度(案)				
会場	開催県等	会場	月 日	曜日
1	静岡県	○	6月24日	土
2	岐阜県		6月25日	日
	愛知県	○		
	三重県			
3	福島県	○	6月25日	日
4	兵庫県	○	7月 1日	土
	岡山県			
5	阪奈	○	7月 2日	日
	京都・滋賀			
	和歌山県			
6	新潟県	○	7月 2日	日
7	熊本県	○	7月 8日	土
	鹿児島県			
8	宮崎県	○	7月 9日	日
9	島根県	○	7月 9日	日
	鳥取県			
10	秋田県	○	7月15日	土
11	岩手県	○	7月16日	日
12	沖縄県	○	7月16日	日
13	石川・福井	○	7月22日	土
14	富山県	○	7月23日	日
15	長野県	○	7月23日	日
16	山形県	○	7月29日	土
17	宮城県	○	7月30日	日
18	山梨県	○	7月30日	日
19	徳島県	○	8月 5日	土
	香川県			
20	愛媛県	○	8月 6日	日
	高知県			
21	山口県	○	8月 6日	日
	広島県			
22	長崎県		8月19日	土
23	福岡県	○	8月20日	日
	大分県			
	佐賀県			
24	北海道釧路	○	8月27日	日
25	北海道札幌・函館	○	8月27日	日
	北海道室蘭			
	北海道旭川			
	北海道北見			
26	青森県	○	8月27日	日

平成29年度 実施スケジュール(案)	
時間	内 容
12:30	受付開始
13:00	父母懇談会開始
	【概要】 ・大学現況説明(30分) ・就職講演(50分) ・個別面談等(90分)
16:00	終了
16:15	雨水会支部総会開始
17:15	終了
17:30	雨水会支部総会懇親会開始
19:00	終了

※会場については、未定。
※実施スケジュールは、平成28年度に準ずる。

平成28年度甫水会

「会員の集い・就職フォーラム」を開催して

東洋大学甫水会副会長 阿部 雅道

10月30日(日)白山キャンパスに於いて「平成28年度甫水会会員の集い・就職フォーラム」を開催しました。当日は初冬かと思われるような肌寒さを感じる気候でしたが10時の受付開始前から多くの会員の皆さまにご来場頂き、当初10時半、11時半開始予定のキャンパスツアーは待機場所としていた5号館1階ホールが予定時刻前に一杯になってしまい予定を繰上げ10時から開始しました。参加された皆さまも大学の各校舎設備を見学し案内を担当する学生の説明に熱心に聞き入っていました。評判の良い学生食堂での昼食を楽しまれた方々も多かったようです。

13時10分よりメイン会場である「井上円了ホール」を開場。東洋大学／ブルービーサウンズ・ジャズオーケストラの演奏とともに皆さまをお迎えしました。演奏プログラム後半に入ると早くもホールは満席状態となってしまう、サブ会場である6101号室にも同時上映しながらの進行となりました。

13時35分、午後のプログラムを開始。冒頭は竹村学長からご挨拶と東洋大学の現況について説明をいただきました。茲許の社会環境の変化を踏まえた上で改めて「哲学教育」「グローバル教育」「キャリア教育」の三本柱に基づく学修プログラムを充実させていくとの力強いメッセージがあり父母の一員として大変心強く感じました。

続いて甫水会の唐木会長から会長挨拶として会員の皆さまに対し甫水会事業各活動に対する日頃のご理解・支援に対する御礼を申し上げた上で事業報告がなされました。引き続き大学と協働し大学の発展・ブランド力の向上に向けた取り組みを進めていきたいことと同時に学生・父母の充実した大学生活に資する活動にも取組んでゆきたい旨が説明され、会員の皆さんも聞き入っておられました。

後半の就職フォーラムでは第一部として唐木会長を講師とし「就職活動に際して、父母の苦勞と果たすべき役割について」と題し就職講演が行われました。仕事柄長く採用活動を担当された経験に基づく、採用する側からの学生・父母に向けたアドバイスと今年親として4年生のご息女の就職活動を支えられた経験談を中心とした内容でした。ご自身の実話に基づく講演は参加者の皆さまから幅広く共感を得ていたようです。熱心に聴き入る方、投影された資料を写真に収められる会員の方々が会場の各所に数多くみられました。

第二部は今回初の試み、「就職に際して学生が父母に望むこと、父母が学生に望むこと」と題し前年度就職の卒業生4名と甫水会員によるパネルディスカッションを実施しました。卒業生は国際地域学部卒の北原舞さん、ライフデザイン学部卒の河野聖さん、理工学部修士課程卒の名嘉英仁さん、生命科学部卒の田代麻菜美さん、聴衆代表は

甫水会唐木会長、櫻井副会長、司会は私阿部が務めました。会の冒頭は満場の聴衆を前に緊張した面持ちであった卒業生の皆さんも発言を重ねるにつれそれぞれ就職活動において苦労したこと、工夫をしたこと、両親とのかかわりなど学生目線での様々な経験を自分の言葉で話してくれました。舞台上から皆さまの様子を拝見していましたが、真剣なまなざしで卒業生の話に熱心に聴き入り、随所で笑いが巻き起こるなど温かくも大きな共感が会場内に広がっているのを感じました。90分の予定時間はあつという間に過ぎてしまい、その後就職・キャリア支援部の中村課長も加わり質疑応答を実施。卒業生の皆さんへの温かい感謝の拍手とともに閉会いたしました。

今回も多くの会員の皆さまをお迎えしました。皆さまから東洋大学や甫水会に寄せられている信頼と期待を目の当たりにし、事業に携わる関係者各位にとっても大きな勇気づけになったのではと思います。改めて大学と甫水会の更なる発展を確信しております。

最後に、今回の企画運営に関してお力添えをいただいた皆様方に深く感謝、御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

東洋大学雨水会

学生総合補償制度のご案内

(学生・こども総合保険団体契約)

中途加入
できます

学生生活が安心であるのには理由があります。

自転車事故、地震などの天災によるケガ等も補償
(傷害補償、個人賠償責任危険補償、育英費用補償、学資費用補償)

学生生活の中で起こる
こんなトラブルに対応できる
保険です!

お問い合わせ先:大東京保険サービス(株)

総合補償制度コンタクトセンター

0120-00-8426

[受付時間 平日9:00~17:00]

携帯電話・PHSなどをご利用の場合は下記の番号をご利用ください。

03-6912-0550

全タイプセット



アルバイト
クラブ活動中
のケガ

課外活動を含めた
日常生活での
学生ご本人のケガへの備え

お支払い例(全タイプ共通)

飲食店でアルバイト中に誤って鍋をひっくり返し、学生本人が火傷を負い10日間入院した。

お支払保険金:50,000円
(通院保険金10日間×5,000円)(傷害補償)

全タイプセット



扶養者
の万が一

扶養者が事故などによる
ケガで亡くなった場合の備え

お支払い例(全タイプ共通)

扶養者が交通事故により亡くなった。

お支払保険金:2,000,000円(一時金として)
(育英費用補償)※タイプA、Eは4,000,000円

下宿生向けのみセット



暮らし
の事故

慣れない借家での
一人暮らしで
発生する事故への備え

お支払い例(タイプE・F・G・Hの場合)

借家で火災を起こしてしまい、借戸室と自分の家財が全焼した。

お支払保険金:3,800,000円
(生活用動産補償、借家人賠償責任補償)

全タイプセット



自転車
で事故

示談交渉サービス付き
(国内での賠償事故)

示談交渉サービスとは、被保険者であるお子さま、または親権者に代わって、被害者の方と賠償額の決定などの示談へ向けた交渉を行うサービスです。

自転車運転中を含む
日常生活における賠償責任への備え

お支払い例(全タイプ共通)

通学中に自転車で歩行者と接触し、相手が転倒。治療費や通院交通費などを弁済した。

お支払保険金:640,000円(個人賠償責任補償)
※上記事故例でも法律上の損害賠償責任が発生しない等、お支払いの対象とならないことがありますので、ご注意ください。

このチラシは概要を説明したものです。ご契約にあたっては必ずパンフレット(「2016年度東洋大学雨水会(父母会)の学生総合補償制度(学生・こども総合保険)」)および「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をご覧ください。

【取扱幹事代理店】株式会社キャンパスサービス

【引受保険会社】あいおいニッセイ同和損害保険(株)、損害保険ジャパン日本興亜(株)

(2016年10月)B16-102573

イラスト制作:東洋大学第1部 漫画研究会

白山キャンパス

文・経済・経営・法・社会・国際地域学部
イブニングコース(2部)
大学院

〒112-8606

東京都文京区白山 5-28-20

PHOTO



敷地: 3万4,892㎡ / 校舎: 10万2,763㎡

MAP



ACCESS

- JR巣鴨駅から浅草雷門行バスで6分、東洋大学前下車。
- 都営地下鉄三田線で白山駅下車、徒歩5分。
- 都営地下鉄三田線で千石駅下車、徒歩7分。
- 東京メトロ南北線本駒込駅下車、徒歩5分。

テレホンガイド

ご案内事項	取扱い窓口	電話番号
●キャンパス代表	総務課	03-3945-7224
●教務関係		
授業・成績等	文学部	03-3945-7595
	経済学部	03-3945-8421
	経営学部	03-3945-7247
	法学部	03-3945-8450
	社会学部	03-3945-8538
	国際地域学部	03-3945-7683
	大学院	03-3945-7250
証明書音声ガイド	各学部共通	03-3945-7225
●学生生活関係		
奨学金	学生支援課	03-3945-7809
サークル活動		03-3945-7262
運動部関係		03-3945-7270
アルバイト・下宿・アパート		03-3945-7124
学生相談室		03-3945-7265
医務室(健康管理)		03-3945-7278
●就職関係		
進路・就職相談	就職・キャリア支援部	03-3945-7280
●国際交流関係	国際センター／国際部	03-3945-7558
●納付金関係		
納付金(学費等)	財務課	03-3945-7305
寄付金		03-3945-7304
●入試関係	入試課	03-3945-7272
●図書関係		
図書館	図書事務課	03-3945-7325

川越キャンパス

〒350-8585

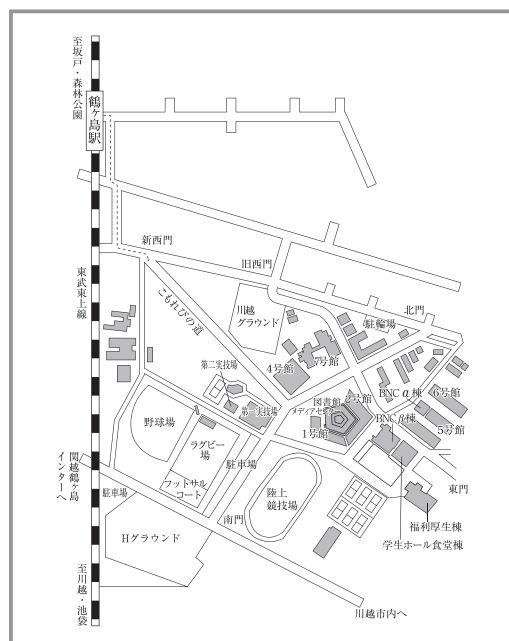
埼玉県川越市鯨井 2100

PHOTO



敷地：28万6,981㎡／校舎：7万6,300㎡

MAP



ACCESS

- 池袋駅から東武東上線で急行38分、鶴ヶ島駅下車、徒歩10分。

理工学部・総合情報学部
大学院理工学研究科
大学院総合情報学研究科
大学院学際・融合科学研究科

テレホンガイド

ご案内事項	取扱い窓口	電話番号
●キャンパス代表	総務課	049-239-1300

●教務関係

履修・成績・試験・学籍 教職・各種証明書	教 学 課	049-239-1312
-------------------------	-------	--------------

●学生生活関係

奨学金・クラブ・サークル活動	教 学 課	049-239-1314
アルバイト ※	(株)ナジック・アイ・サポート	03-5466-1236
下宿・アパート ※	(株)ミニミニ城北	049-228-8832
学生相談室	教 学 課	049-239-1544
医務室(健康管理)		049-239-1317

※川越キャンパスでは業務委託をしております。

●就職関係

求人受付	教 学 課	049-239-1641
就職相談		

●学費・入試関係

学費	総 務 課	049-239-1303
入試関係	教 学 課	049-239-1392

●図書関係

図書館	川 越 図 書 館	049-239-1321
-----	-----------	--------------

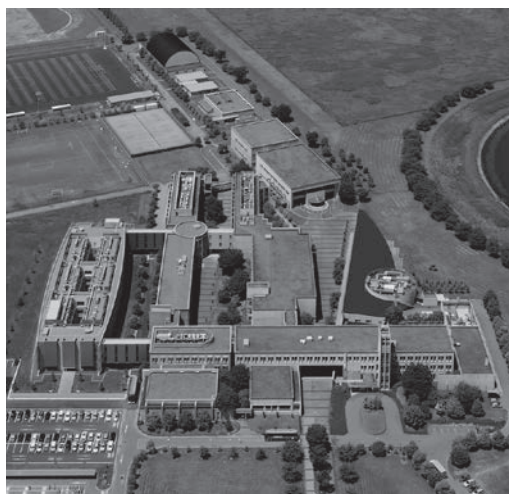
板倉キャンパス

生命科学部・食環境科学部
大学院(生命科学研究科・食環境科学研究科)

〒374-0193

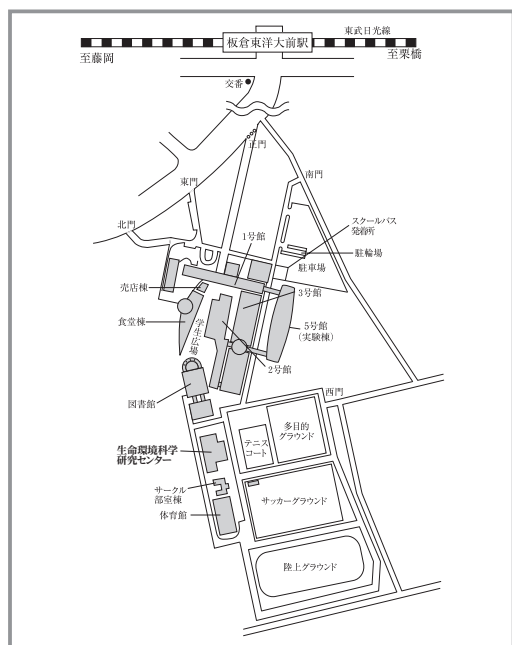
群馬県邑楽郡板倉町泉野 1-1-1

PHOTO



敷地11万2,125㎡／校舎3万497㎡

MAP



ACCESS

- 池袋駅からJR宇都宮線(湘南新宿ライン)、東武日光線で79分。浅草駅から東武日光線で快速60分、北千住駅から50分。板倉東洋大前駅下車、徒歩10分。

テレホンガイド

ご案内事項	取扱い窓口	電話番号
キャンパス代表	板倉事務課	0276-82-9111

●教務関係

生命科学部	板倉事務課	0276-82-9118
食環境科学部		0276-82-9111
大学院		0276-82-9119

●学生生活関係

奨学金	板倉事務課	0276-82-9114
サークル活動		0276-82-9114
アルバイト		0276-82-9114
学生相談室		0276-82-9132
医務室(健康管理)		0276-82-9123

●就職関係

求人受付	板倉事務課	0276-82-9172
就職相談		0276-82-9172

●国際交流関係

海外留学	板倉事務課	0276-82-9139
------	-------	--------------

●学費等関係

学費	板倉事務課	0276-82-9119
----	-------	--------------

●入試関係

学部入試	板倉事務課	0276-82-9103
大学院入試		0276-82-9119

●図書関係

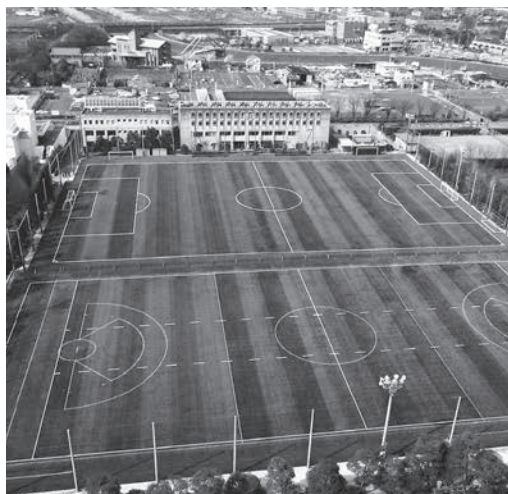
図書館	図書事務課(板倉)	0276-82-9061
-----	-----------	--------------

朝霞キャンパス

ライフデザイン学部

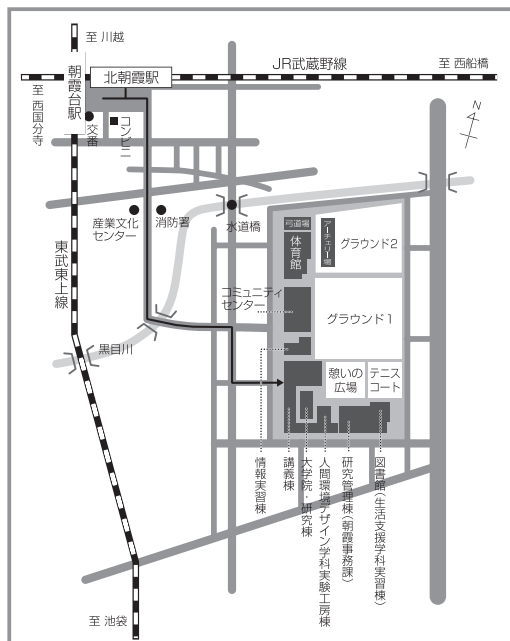
〒351-8510
埼玉県朝霞市岡 48-1

PHOTO



敷地 6万9,774㎡ / 校舎3万2,797㎡

MAP



ACCESS

- 池袋駅から東武東上線で急行15分、朝霞駅下車、徒歩10分。
- JR武蔵野線北朝霞駅下車、徒歩10分。

テレホンガイド

ご案内事項	取扱い窓口	電話番号
●キャンパス代表	朝霞事務課	048-468-6311

●教務関係

履修・成績・試験 学籍・証明書	朝霞事務課	048-468-6451
--------------------	-------	--------------

●学生生活関係

サークル活動	朝霞事務課	048-468-6461
奨学金		048-468-6457
学生相談室		048-468-6462
医務室(健康管理)		048-468-6607

●キャリア形成支援関係

キャリア形成支援(就職)	朝霞事務課	048-468-6408
--------------	-------	--------------

●学費等関係

学費	朝霞事務課	048-468-6311
----	-------	--------------

●入試関係(ライフデザイン学部)

入試	朝霞事務課	048-468-6457
----	-------	--------------

●図書関係

図書館	図書事務課	048-468-6331
-----	-------	--------------

事務局へご質問・ご相談等ありましたら、ご遠慮なく各キャンパスのテレホンガイドによりお尋ねください。担当部課室の電話は、すべて直通になっております。

〈お電話受付時間〉

平日 9:30-12:45、14:15-16:45

土曜 9:30-12:45

なお、電話の場合は、必ずご自分の姓名と「学生の学科・学籍番号・名前」を申し出てください。申し出のない場合は、お断りする場合もございます。また、内容によってはお電話ではお答えしかねる場合がございますことを合わせてご了承ください。

東洋大学体育後援会だより

甫水会のみなさまには、日ごろから体育後援会および校友会の諸活動にご支援ご協力を賜っており、厚くお礼を申し上げます。

今年はリオデジャネイロオリンピックをはじめ、国内外で開催されてきた多くの学生スポーツイベントで、体育会所属の選手たちの活躍が目覚ましく、例年以上に際立っていたのはうれしい限りです。

2014年には、文部科学省から大学の国際化を重点支援する「スーパーグローバル大学」に東洋大学が採択されましたことはご承知のとおりです。今まさに東洋大学には、ハイレベルの文武両道大学として内外から大きな注目が集まっております。

東洋大学体育後援会は、学生スポーツ活動を支援するために、甫水会と校友会からの拠出金をもとに共同で運営されてきました。しかしながら、校友会は昨27年度から準会員の大学による代理徴収が途絶えたため、運営は大きな転換期に立たされています。未来を見つめた体質改善などに取り組み、大学側との話し合いも継続しておりますが、現段階で校友会は体育後援会への拠出金が捻出できなくなりました。体育後援会が、学生のスポーツ振興に対して役割を担い続けるためには、援助金の確保が必要になってきます。もともと校友会は拠出金とは別に、全国61支部の会員に呼びかけ、校友個人からの募金を集めておりますが、本年度も支部総会や『校友会報』などをとおして、機会あるごとに募金への依頼を強力に呼びかけ、校友会の募金目標額500万円を達成するように努力しております。甫水会員のみなさまにも、一層の温かいご理解とご協力をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

体育後援会の活動によって、勉強はもとより東洋大学のスポーツ活動が、今後も目ざましい活躍を見せてくれることに大きな期待を寄せております。

なお、平成28年度の強化・準強化部(17部)と第一部体育会・第二部体育会・川越体育会の各部への援助金一覧は、下記のとおりです。

平成28年10月20日

東洋大学体育後援会・東洋大学校友会

会長 羽島知之

〈強化・準強化部〉

部 名	部員数	援助金額
硬式野球部	124	1,000,000
陸上競技部(長・短距離)	114	2,000,000
陸上競技部・女子長距離部門	36	50,000
アイススケート部(ホカース・スピード・フィギュア)	56	300,000
レスリング部	48	150,000
空手道部	29	150,000
スキー部	28	200,000
相撲部	22	700,000
ボクシング部	32	200,000
サッカー部	67	300,000
サッカー部・女子部	-	40,000
水泳部	53	600,000
柔道部(準)	43	200,000
ラグビー部(準)	85	50,000
バスケットボール部(準)	56	50,000
剣道部(準)	71	100,000
卓球部・女子(準)	※28年度より準強化部	
小 計	864	6,090,000

〈2部体育会〉

部 名	部員数	援助金額
空手道部	12	40,000
柔道部	9	20,000
バスケットボール部	13	40,000
陸上競技部	35	60,000
剣道部	23	60,000
合気道部	12	40,000
小 計	104	260,000

〈1部体育会〉

部 名	部員数	援助金額	部 名	部員数	援助金額
バレーボール部	16	40,000	ローバースカウト部	20	60,000
ソフトテニス部	35	60,000	アーチェリー部	32	60,000
ゴルフ部	12	40,000	アメリカンフットボール部	34	60,000
弓道部	25	60,000	パワーリフティング・ウェイトトレーニング部	6	20,000
卓球部	39	60,000	キックボクシング部	15	40,000
合気道部	11	40,000	射撃部	23	60,000
日本拳法部	9	20,000	硬式テニス部	25	60,000
少林寺拳法部	25	60,000	ラクロス部	153	80,000
準硬式野球部	40	80,000	ハンドボール部	29	60,000
ローラースケート部	11	40,000	応援指導部	12	40,000
ヨット部	10	40,000	軟式野球部	36	60,000
山岳部	8	20,000	小 計	626	1,160,000

〈川越体育会〉

部 名	部員数	援助金額	部 名	部員数	援助金額
アメリカンフットボール部	41	80,000	少林寺拳法部	9	20,000
空手道部	5	20,000	スキー部	15	40,000
弓道部	44	80,000	卓球部	16	40,000
剣道部	19	40,000	軟式庭球部	29	60,000
硬式庭球部	16	40,000	バスケットボール部	19	40,000
ゴルフ部	11	40,000	バドミントン部	18	40,000
サッカー部	14	40,000	バレーボール部	23	60,000
自転車部	14	40,000	ボディビル部	15	40,000
自動車部	32	60,000	ワンダーフォーゲル部	65	80,000
			小 計	405	860,000

※総援助金配分額 合計8,370,000

平成28年度 体育会強化部の活動状況

部名	月 日	大会	場 所	成 績 等
硬 式 野 球	4月5日～5月20日	平成28年度東都大学野球春季リーグ戦(1部)	明治神宮球場	3位(勝点4、8勝4敗、勝率0.667)
陸 上 競 技	11月1日	秩父宮賜杯第47回全日本大学駅伝対校選手権大会	愛知・熱田神宮～三重・伊勢神宮	優勝
	1月2日～3日	第92回東京箱根間往復大学駅伝競走	東京～箱根	総合2位(往路2位、復路2位)
	5月19日～22日	第95回関東学生陸上競技対校選手権大会 (関東インカレ)	神奈川 日産スタジアム	男子100m優勝: 桐生(法3) 男子400m優勝: ウォルシュ(ラ2) 男子10000mW優勝: 松永(理工4) ※日本学生新記録、関東学生新記録、大会新記録、準優勝: 及川(済3) 男子4×400mリレー準優勝 松原(法1)、櫻井(総情2)、富樫(文4)、ウォルシュ
	6月3日～6日	第17回アジアジュニア陸上競技選手権大会	ベトナムホーチミン	10000m優勝: 渡邊(済1) 5000m準優勝: 相澤(済1)
	6月10日～12日	2016日本学生陸上競技個人選手権	神奈川ShonanBMW スタジアム平塚	男子100m優勝: 桐生 男子400m優勝: ウォルシュ
	6月24～26日	第100回日本陸上競技選手権	愛知 瑞穂公園陸上競技場	男子400m優勝: ウォルシュ
	8月5日～20日	第31回オリンピック競技大会 (2016/リオデジャネイロ)	ブラジル	桐生 男子4×100mリレー: 銀メダル 男子100m: 29位 松永 男子20kmW 7位: 松永 ウォルシュ 男子400m: 38位 男子4×400mリレー: 13位
	9月2日～4日	天皇賜盃第85回日本学生 陸上競技対校選手権大会	熊谷	男子100m(大会新記録)・200m優勝: 桐生 大会新記録 男子400m優勝: ウォルシュ 男子4×400mリレー: 優勝 松原、桐生、櫻井、ウォルシュ 男子10000mW準優勝: 及川
陸上競技(女子長距離部門)	9月25日	第22回関東大学女子駅伝対校選手権大会	千葉 印西	3位
ホッケー部門	4月9日～29日	秩父宮杯第64回関東大学アイスホッケー選手権大会	ダイトードリコアイスアリーナ	団体 3位
フィギュア部門	6月18日	第44回関東学生フィリースケーティング選手権大会	東大和スケートセンター	シニアクラス女子団体 1位
レスリング	6月23日～24日	東日本学生春季新人選手権・ 東日本学生女子選手権	駒澤体育館	女子53kg級優勝: 宮原(社4) 大会MVP 女子69kg級優勝: 鈴木、準優勝: 朝野(ラ3) 男子フリースタイル74kg級準優勝: 川畑(法1) 男子フリースタイルB70kg級優勝: 高橋(文2)
ス キ ー	3月25日～27日	秩父宮杯・秩父宮妃杯第89回 全日本学生スキー選手権大会	北海道札幌市	アルペン女子回転 優勝: 安藤(法1) アルペン女子大回転 優勝: 安藤
相 撲	4月29日	第33回全日本大学選抜相撲宇和島大会	宇和島市営体育館特設土俵	団体優勝
	5月03日	第56回全日本選抜相撲宇佐大会	大分県宇佐市総合運動場宇佐相撲場	団体優勝 個人準優勝: 白石(法2)
	5月07日	第67回東日本学生相撲新人選手権大会	靖国神社相撲場	個人優勝: 城山(法1) 準優勝: 深井(法1)
	7月17日	第5回全日本大学選抜相撲金沢大会	金沢市卯辰山相撲場	団体準優勝 個人優勝: 城山
	7月24日	第43回東日本学生相撲個人体重別選手権大会	靖国神社相撲場	135kg以上級優勝: 村田(法4)、準優勝: 西野(法2)
	9月18日	第41回全国学生相撲個人体重別選手権大会	宇和島市営体育館特設土俵	135kg以上級トーナメント優勝: 村田、準優勝: 西野 115kg級トーナメント 優勝: 宇佐見
	9月24日～25日	第64回東日本学生相撲リーグ戦	靖国神社相撲場	団体 3位
ボクシング	5月14日～7月9日	第68回関東大学ボクシングリーグ戦(1部)	後楽園ホール	3位
サ ッ カ ー	4月3日～6月11日	Jリーグカップ2016第90回関東大学サッカーリーグ戦(前期)	味の素フィールド西が丘 他	3位
サ ッ カ ー 女 子 部 門	7月3日～24日	第32回群馬県女子サッカー選手権大会	東洋大学板倉キャンパス 他	優勝
	10月22～12月25日	第38回皇后盃全日本サッカー選手権大会	フクダ電子アリーナ 他	初出場
水 泳 部	4月4日～10日	第92回日本選手権水泳競技大会	辰巳国際水泳場	男子200m(日本新記録)・400m個人メドレー・200m自由形優勝: 萩野(文4) 女子50m・100m自由形(日本新記録)優勝: 内田(営4)
	5月20日～22日	ジャパンオープン2016(50m)	辰巳国際水泳場	男子200m自由形・200m個人メドレー・400m個人メドレー優勝: 萩野 女子50m自由形・100m自由形優勝: 内田 女子800m自由形準優勝: 菊池(営3)
	8月5日～20日	第31回オリンピック競技大会 (2016/リオデジャネイロ)	ブラジル	萩野 男子400m個人メドレー金メダル 男子200m個人メドレー銀メダル 男子4×200mフリーリレー銅メダル 男子200m自由形7位 内田 4×100mフリーリレー8位 4×100mメドレーリレー10位 100m自由形 14位

水 泳 部	9月2日～4日	第92回日本学生選手権水泳競技大会 (インカレ)	辰巳国際水泳場	女子 総合優勝(480.5点) 男子 総合 6位(253.0点) 女子200m・400m個人メドレー優勝:大橋(国3) 男子200m・400m個人メドレー優勝:萩野 女子50m・100m・400m自由形優勝:内田 男子200m・400m自由形優勝:天井(文4) 女子100m・200m平泳ぎ優勝:青木(営4) 女子100mバタフライ優勝、200mバタフライ準優勝:中野(文1) 女子100mバタフライ準優勝:藪(営2) 女子400mフリースタイル優勝(大会新記録) 内田、岩本(済2)、大橋、宮本(法4) 女子800mフリースタイル優勝 宮本、露内(文3)、内田、大橋 女子400mメドレーリレー準優勝 大橋、青木、中野、内田 男子400mメドレーリレー準優勝 萩野、毛利(営3)、三好(営3)、天井 男子800mフリースタイル準優勝 萩野(大会新記録)、天井、山本(法2)、中村(文1)
-------	---------	-----------------------------	---------	---

平成28年度学生クラブ・サークル活動状況

団体名	月 日	企画名称	場 所
グルービーサウンズ ジャズオーケストラ	H27 12月23日	第44回リサイタル	江古田Buddy
	H28 7月 5日	トライアングルコンサート	白山キャンパス井上円了ホール
ギターアンサンブル	H27 12月19日	第52回定期演奏会	八王子市芸術文化会館
	H28 6月12日	第51回関東学生ギター連盟定期演奏会	三鷹市公会堂 光のホール
吹奏楽研究部	H27 12月 6日	第54回定期演奏会	朝霞市民会館ゆめばれす
	H28 6月19日	第55回定期演奏会	朝霞市民会館ゆめばれす
	H28 8月20日	平成28年度東京都大学吹奏楽コンクール	江戸川区総合文化センター
東洋大学管弦楽団	H27 12月21日	東洋大学「第九」演奏会	東京文化会館
	H28 6月11日	第77回定期演奏会	和光市民文化センター
白山グリークラブ	H27 12月 5日	第53回定期演奏会	サンシティ越谷市民ホール
	H28 9月13日	越路小学校依頼演奏	越路小学校

「箱根駅伝で優勝させる会」入会のお願い

東洋大学陸上競技部(長距離部門)を箱根駅伝で優勝させるために同部の育成、強化と会員相互の親睦を図ることを目的としており、これを達成するために必要な援助、事業を行うものであります。つきましては、本会の趣旨にご賛同いただき、是非、会員としてご入会いただきご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 会 費:原則として年間 10,000円以上
2. 郵便振替口座 口座番号 00190-2-187937番
口座名称 箱根駅伝で優勝させる会
3. お問合せ先:白山キャンパス 学生部内 「箱根駅伝で優勝させる会」事務局
Tel:03-3945-7270

東洋大学南水会報「東洋」通巻一五六
発行日 平成28年12月15日
発行人 南水会会長 唐木 重典
発行所 東洋大学南水会
東京都文京区白山5-28-20
郵便番号 112-8606 8号館中2階
電 話 (03)3945-1012・3
FAX (03)3942-1761・2
印刷所 株式会社エフエムディービー



★東洋大学父母ホットライン (ご父母を含む保証人各位に対する電話相談窓口)

東洋大学では、大学としてのご父母含む保証人各位に対するホットライン(電話相談窓口)を開設しています。学生各位に関することで保証人各位が、大学のどこの部署に相談したらよいかわからない等、お困りのことがございましたら、この相談窓口まで、電話にてお問合わせください。

なお、このホットラインは、甫水会事務室設置のホットラインと兼用となっております。

電話番号:03-3945-7883

受付時間:9:30～16:30(月曜日～金曜日)

※大学へのご連絡に際して

授業運営や事務手続きに関する質問等につきましては、学生各位が関連窓口へ直接申し出ていただくようお願いしています。学生各位の自主性を尊重し、学修を実質化する意味において、保証人各位におかれましても学生各位にご助言いただきますようお願い申し上げます。

甫水会からのお願い 保証人住所変更手続きについて

転居等により保証人住所・電話番号を変更される場合には、ご子女に東洋大学ホームページサイト『ToyoNet-G』(とよねっとじー)で変更手続きを行うようにお伝え下さい。

この手続きで「父母懇談会」・「支部総会」・「会員の集い・就職フォーラム」・「会報 東洋」等、甫水会 及び 会員の皆様が所属する支部からのすべての送付物のあて先に反映されます。

なお、甫水会では、電話・FAX・メール等による変更手続きは受け付けられませんので、ご了承のほどお願い申し上げます。

教務担当窓口へ提出 もしくは 『ToyoNet-G』からの変更をお願い致します。

東洋大学雨水会

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20(8号館中2階)
TEL.03-3945-0123 FAX.03-3942-7612
メールアドレス hosui@toyo.jp

発行日 平成28年12月15日 編集・発行 東洋大学雨水会